

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 施工は必ず専門の工事業者の方が行なってください。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

警告

- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガの原因になります。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行い、救助を第一に心がけてください。

<電気配線工事について>

警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
取付けに不備があると、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vを直接接続しないでください。
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

ポイント


- トランス電源ユニットの設置方法および取扱い方法は、別途トランス電源ユニット取付説明書（Z546）、取扱説明書（UZ278）を参照してください。

INDEX

1	梱包明細表	4
2	施工例	6
3	各部の名称	8
4	納まり図	12
5	施工制限	12
	1. 照明設備の施工制限	16
	2. 照明取付け位置の制限	17
6	配線	18
7	照明取付け前の事前作業	19
	1. 照明取付け位置の決定	19
	2. 照明配線計画	22
8	後枠の配線用穴加工	24
9	配線カバーの施工	27
	1. 取付け前の加工作業	27
	2. 配線カバーの取付け	29
	3. 後枠の配線	32
10	ダウンライトの施工	33
	1. 部材の加工	33
	2. ダウンライトの取付け	35
	3. 後端部カバーの取付け	38
11	天井納まり スリット照明の施工	41
	1. 部材の加工	41
	2. 照明枠の組立て(天井納まり、アーチ納まり共通)	45
	3. スリット照明の取付け	47
	4. 後端部カバーの取付け	52
12	アーチ納まり スリット照明の施工	54
	1. 部材の加工	54
	2. 照明枠の組立て	55
	3. スリット照明の取付け	56

1 梱包明細表

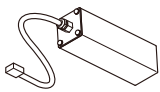
【1】 柱用配線カバーセット

名 称	略 図	員数
配線カバー		1
配線カバー受け材		1
ケーブル固定バンド		2
上端部パッキン		1
配線カバー-C		1
配線カバー端部キャップA		1
配線カバー端部キャップB		1
【1-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種D=8		2
【1-2】 φ4×10 サラタッピンネジ3種D=6		4
【1-3】 φ4×10 ナベドリルネジD=8		2
【1-4】 φ4×15 ナベタッピンネジ2種G=5		2
【1-5】 φ4×8 ナベタッピンネジ3種		9

【2】 ダウンライト用部品セット

名 称	略 図	員数
配線隠し部品		3
【2-1】 φ4×10ナベドリルネジD=8		11
取付説明書<D558>	—	1

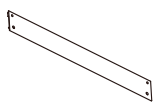
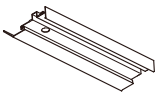
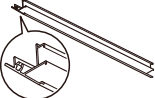
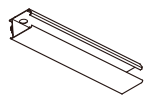



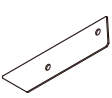





【3】 スリット照明本体セット

名 称	略 図	員数
LEDスリット照明 光源ユニット		1


【4】 スリット照明枠 (天井用) セット

名 称	略 図	員数
光源カバー		1
スリット照明取付枠 (天井材用)		1
スリット照明枠 化粧材		1
スリット照明枠		1
光源カバー固定部品		1
光源カバー端部材L		1
光源カバー端部材R		1
照明枠端部キャップL		1
照明枠端部キャップR		1
【4-1】 φ4×8ナベタッピンネジ3種		6
【4-2】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種D=8		11
【4-3】 φ4×10ナベドリルネジ		7
取扱説明書<UF009>	—	1
取付説明書<D558>	—	1

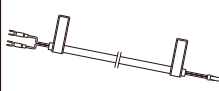
【5】スリット照明枠（アーチ用）セット

名 称	略 図	員 数	
		L30	L50・60
光源カバー		1	1
スリット照明取付枠（標準用）		1	1
スリット照明枠 化粧材		1	1
スリット照明枠		1	1
光源カバー固定部品		1	1
光源カバー端部材L		1	1
光源カバー端部材R		1	1
照明枠取付枠端部キャップ		1	1
照明枠端部キャップL		1	1
照明枠端部キャップR		1	1
【5-1】φ4×8 ナベタッピンネジ3種		6	6
【5-2】φ4×10 ナベドリルネジD=8		4	7
【5-3】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		12	12
取扱説明書<UF009>	-	1	1
取付説明書<D558>	-	1	1

【6】LEDダウンライト 灯具

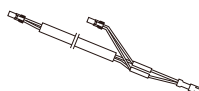
名 称	略 図	員 数
LEDダウンライト		1
取付説明書 LEDダウンライト<Z536>	-	1

【7】電源ケーブル


名 称	略 図	員 数
電源ケーブル （片側Y端子、 片側防水コネクタ付き）		1

※電源ケーブルの長さは10m、20mがあります。

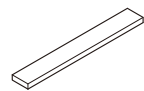
【8】渡り配線ケーブル

名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

【9】電源ケーブルセット

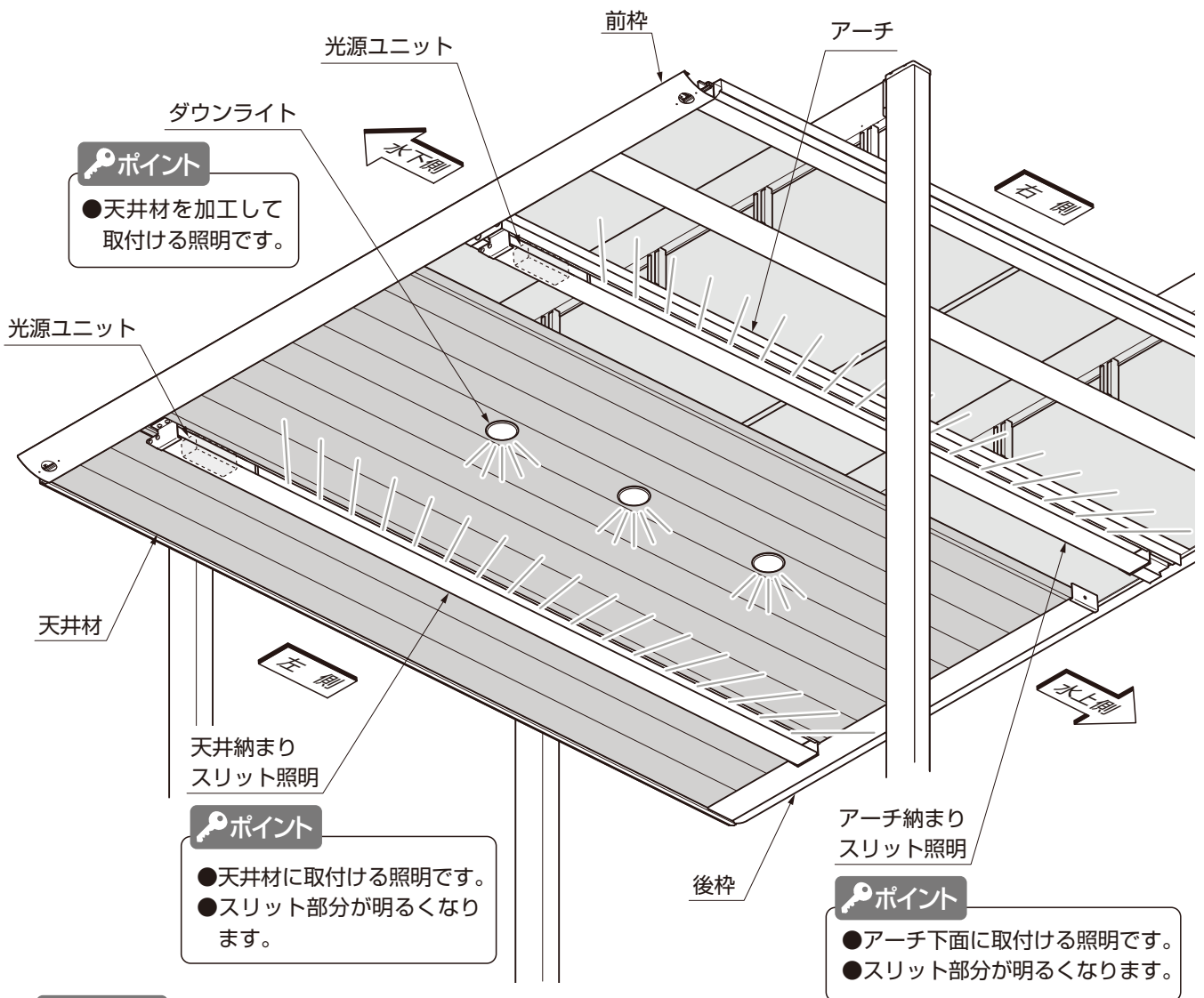
名 称	略 図	員数
電源ケーブル 20m 両端防水コネクタ仕様		1

【10】配線隠し（汎用形材）セット

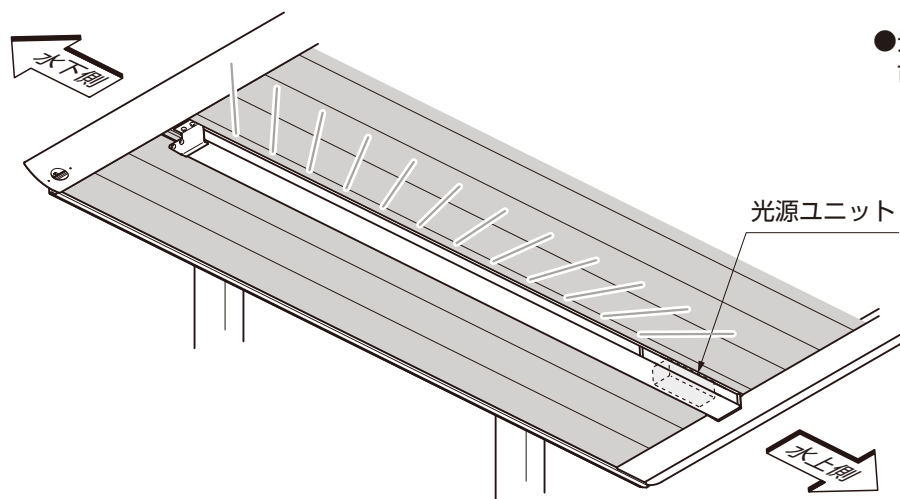
名 称	略 図	員数
配線隠し		2

2 施工例

1-1 施工例 1 ※下図は、スリット照明を【照射方向-右側】で施工する場合を示します。

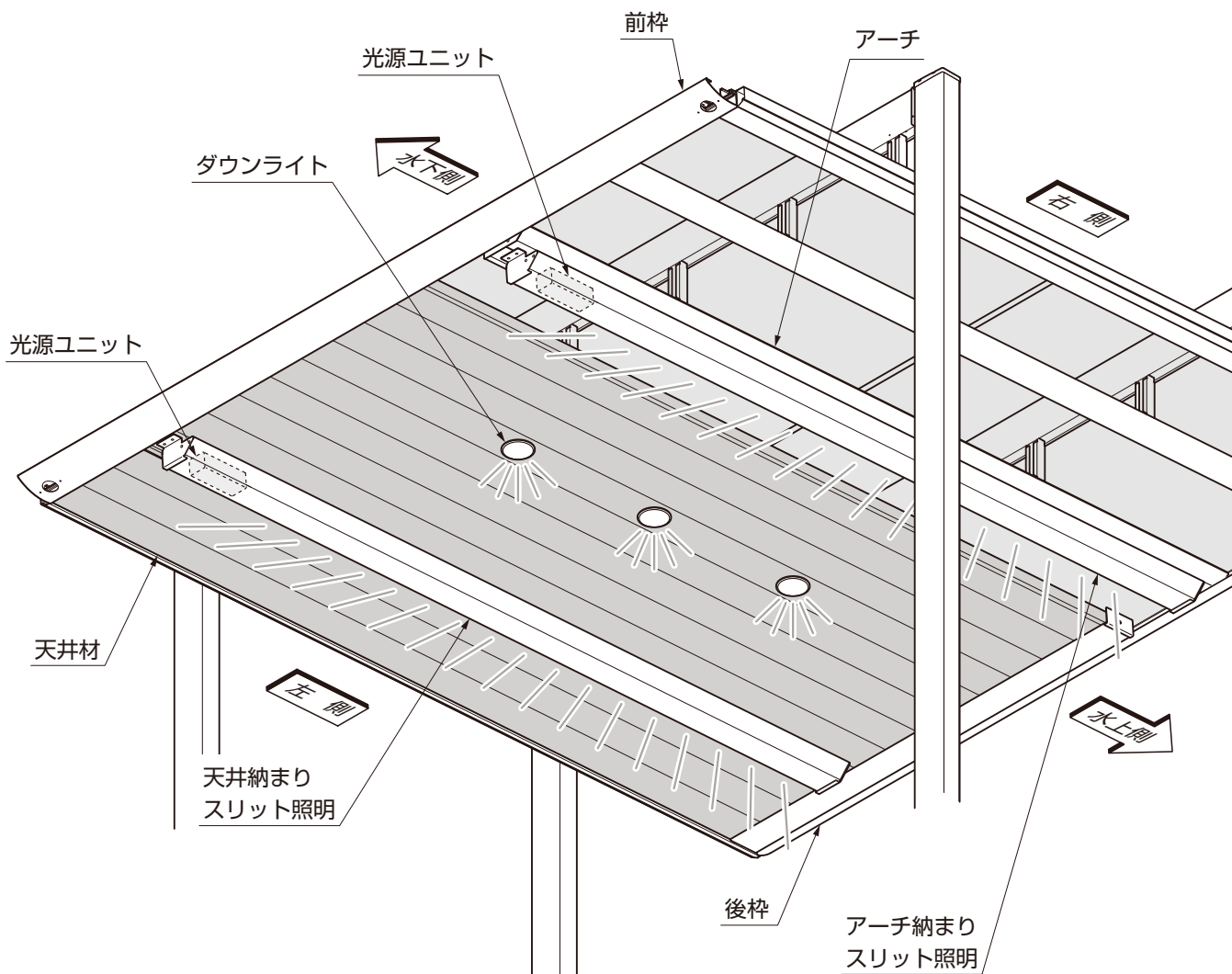


ポイント

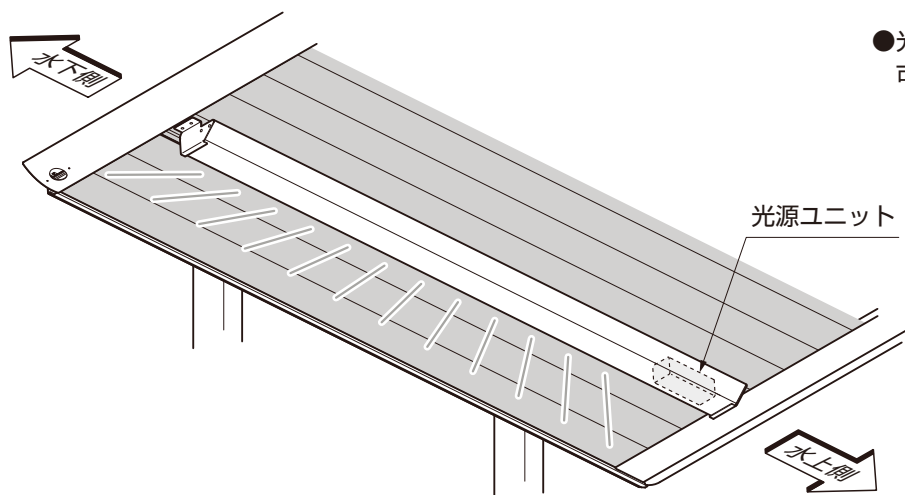


●光源ユニットは水上側にも取付け可能です。

1-2 施工例 2 ※下図は、スリット照明を「照射方向-左側」で施工する場合を示します。



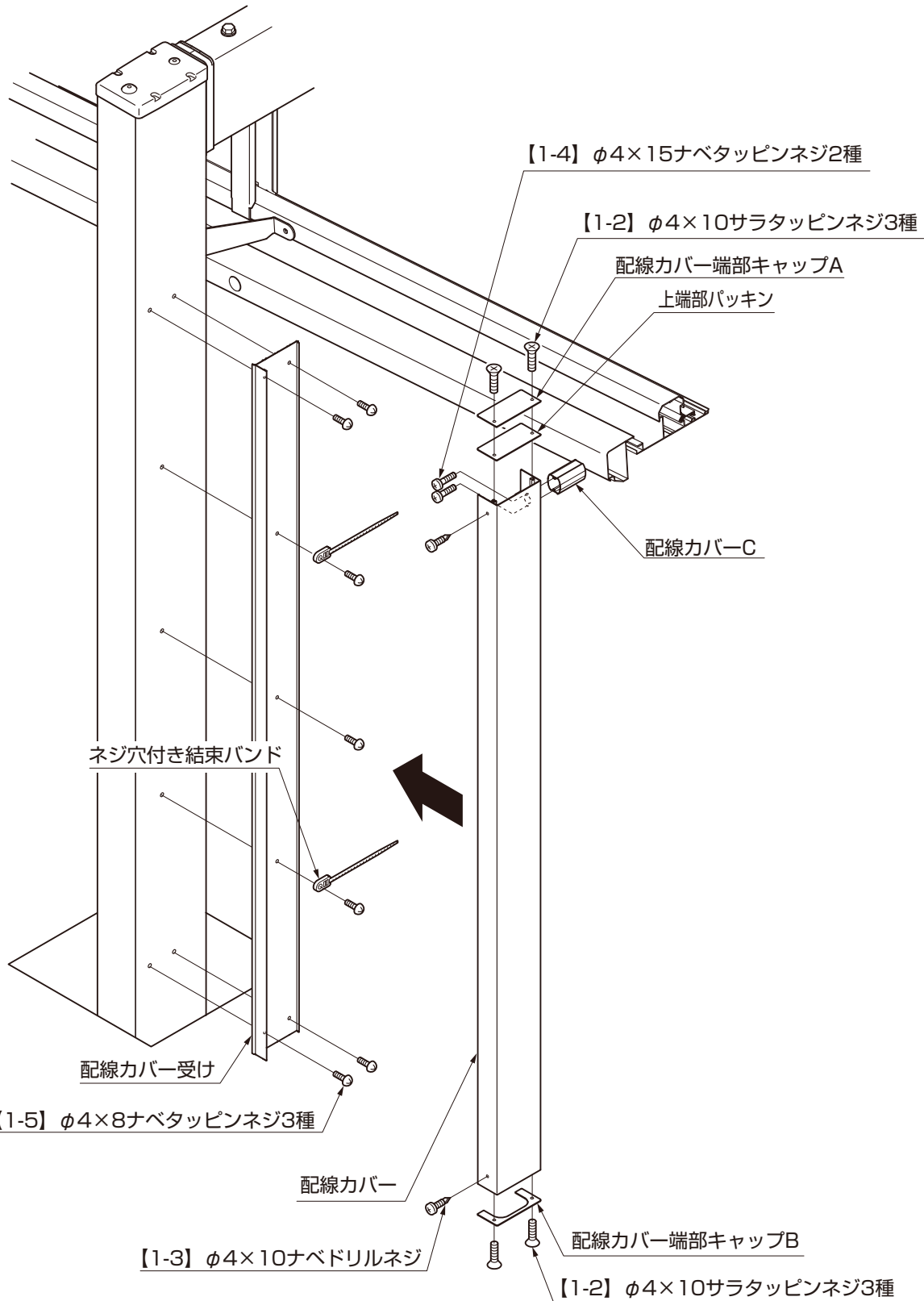
ポイント



●光源ユニットは水上側にも取付け可能です。

3 各部の名称

1-1 配線カバー 取付工程：P.27～P.32参照



1-2 ダウンライト
 取付工程：P.33～P.41参照

天井材（ダウンライト取付用）

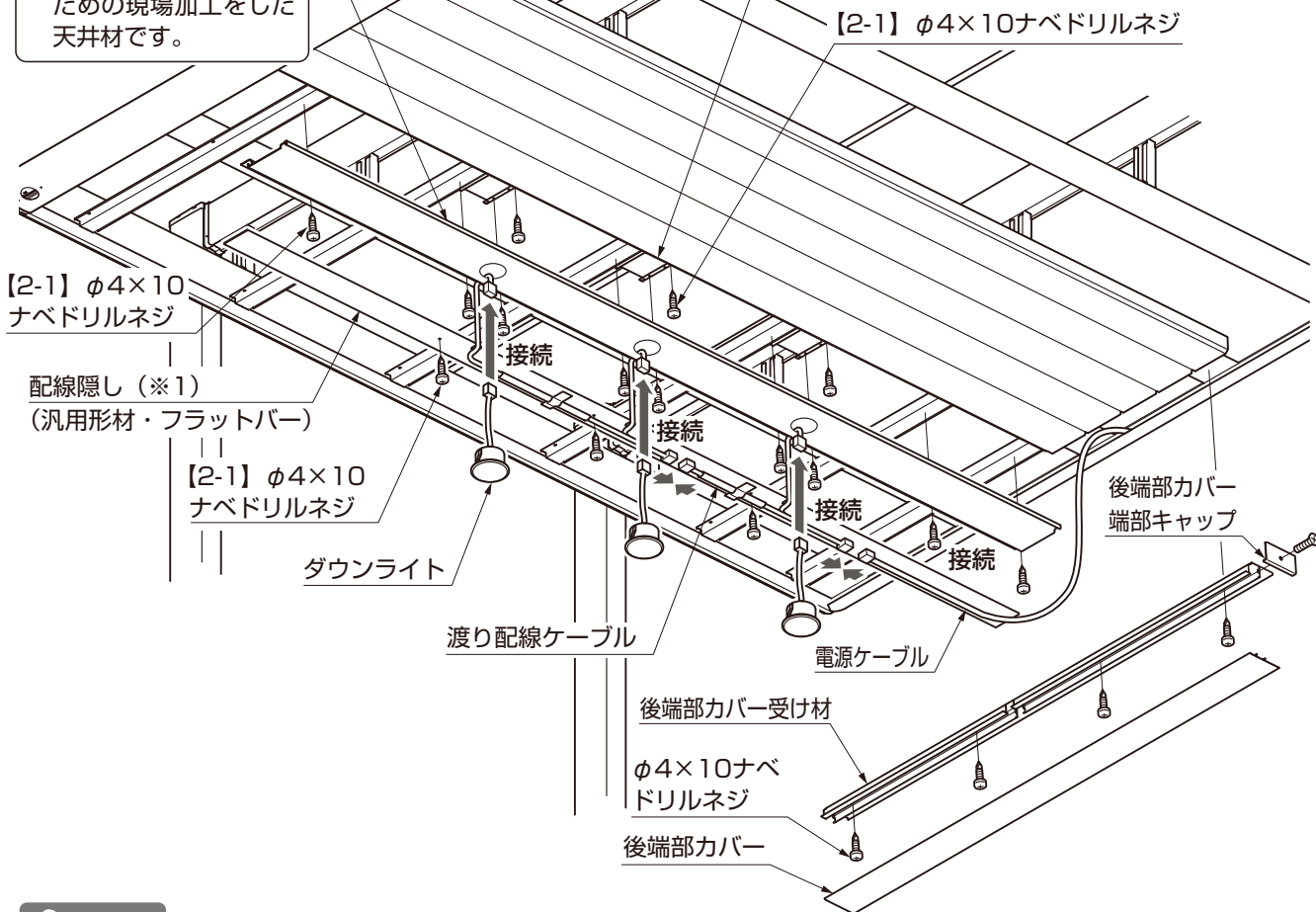
ポイント

●ダウンライト取付けのための現場加工をした天井材です。

ダウンライト配線隠し部品

ポイント

●アーチ下の天井材にダウンライトを取付ける場合、必要ありません。



ポイント

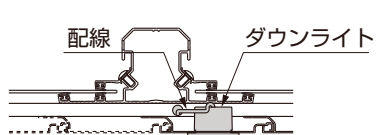


図1-1 中間アーチ真下の右側

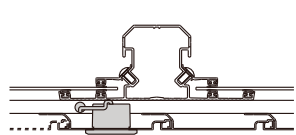


図1-2 中間アーチ真下の左側

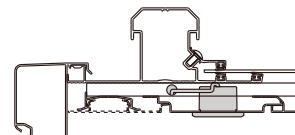


図1-3 端部アーチ真下の右側

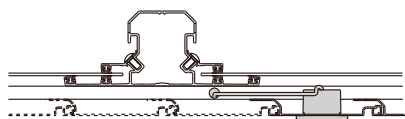


図1-4 中間アーチ真下の1列前

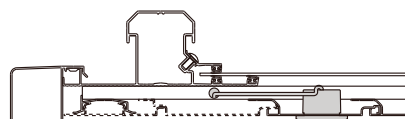


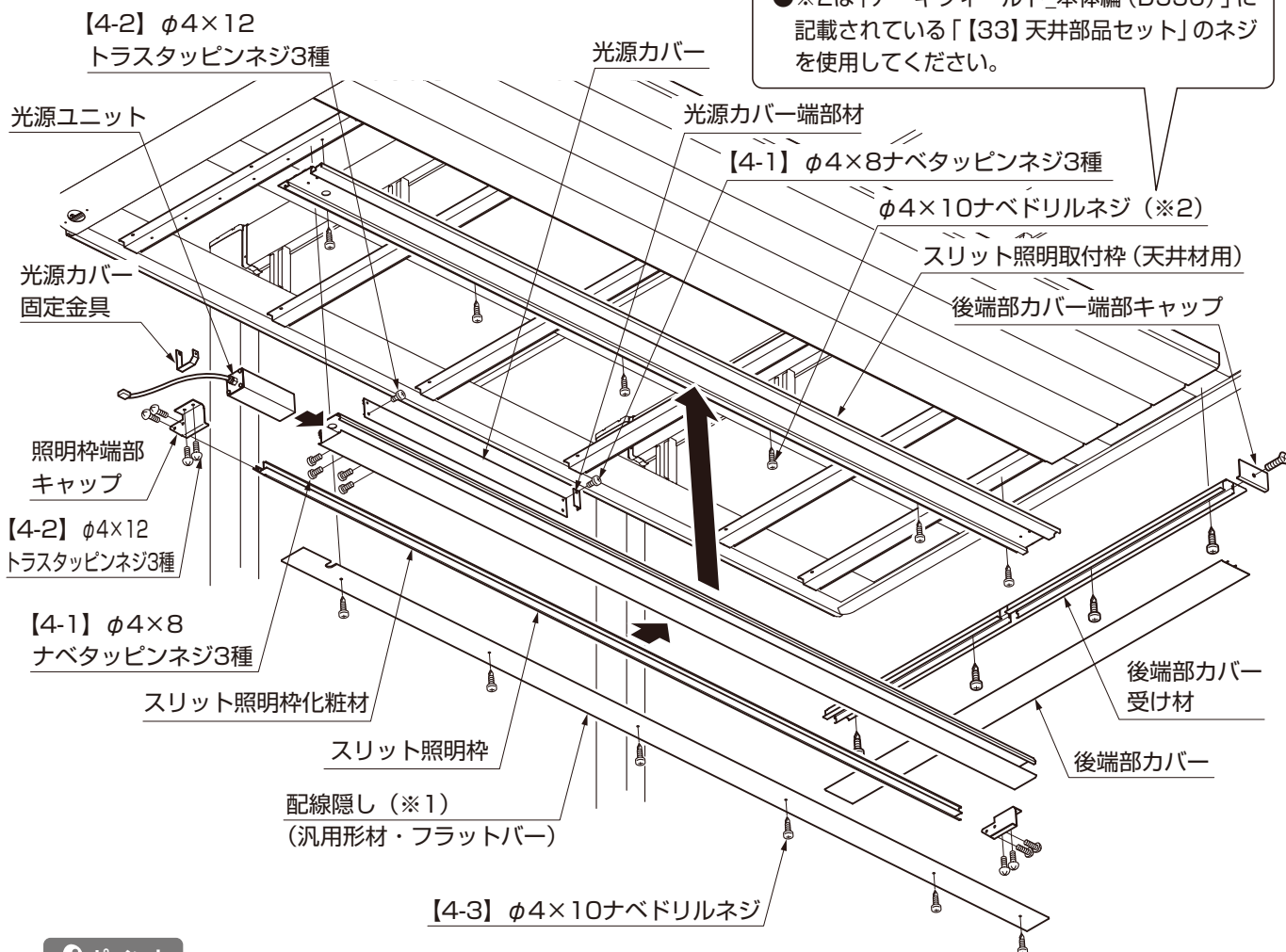
図1-5 端部アーチ真下の1列前

- 配線隠し（※1）は、上図の天井材箇所にダウンライトを取付ける場合、必要ありません。
- 図は水下側矢視を示します。
- 図は天井材貼付パターンA・Bの場合です。天井材貼付パターンCの場合は左右対称になります。（貼付パターン詳細は「アーキフィールドー本体編ー取付説明書（D556）」を参照してください。）

1-3 天井納まり スリット照明 ※図は[照射方向-右側][光源ユニット-水下側]の場合を示します。
取付工程：P.41～P.53参照

ポイント

●※2は「アーキフィールド_本体編 (D556)」に記載されている「[33] 天井部品セット」のネジを使用してください。



ポイント

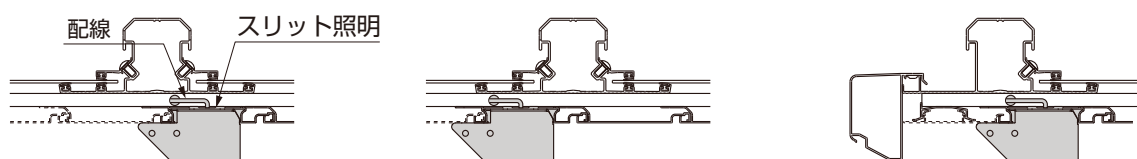


図1-6 中間アーチ真下の右側

図1-7 中間アーチ真下の左側

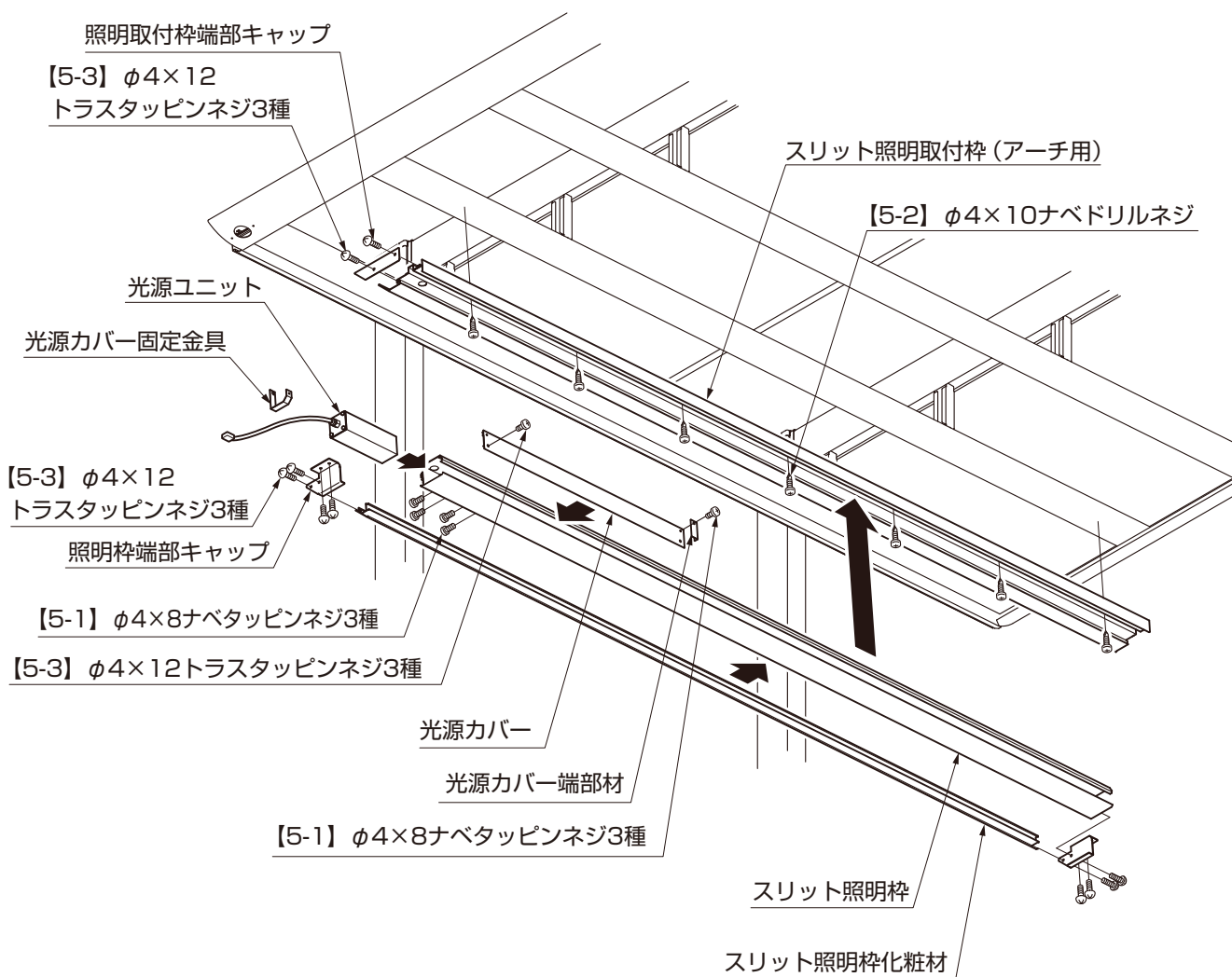
図1-8 端部アーチ真下の右側

図1-9 中間アーチ真下の1列前

図1-10 端部アーチ真下の1列前

- 配線隠し(※1)は、上図の天井材箇所にスリット照明を取付ける場合、必要ありません。
- 図は水下側矢視を示します。
- 図は天井材貼付パターンA・Bの場合です。天井材貼付パターンCの場合は左右対称になります。(貼付パターン詳細は「アーキフィールド_本体編 - 取付説明書 (D556)」を参照してください。)

1-4 アーチ納まり スリット照明 ※図は[照射方向-右側] [光源ユニット-水下側]の場合を示します。
取付工程：P.54～P.57参照



4 納まり図

1-1 配線カバー ※図はW30・W52L30-50を示します。

表1-1

幅	取付位置	奥行き	a	b
W30 W52 W57	水上柱 (水上側)	L30・L50 L60	368	2
	水上柱 (水下側)	L30・L50 L60	376	
	水下柱 (水上側)	L30・L50 L60	368	
	水下柱 (水下側)	L30・L50 L60	376	
W79 W90	水上柱 (水上側)	L30・L50 L60	447	2.5
	水上柱 (水下側)	L30・L50 L60	461	
	水下柱 (水上側)	L30・L50 L60	447	
	水下柱 (水下側)	L30・L50 L60	461	

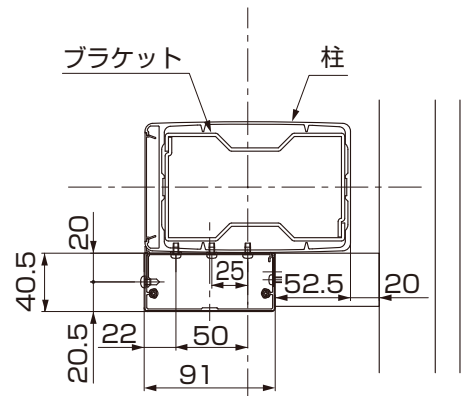
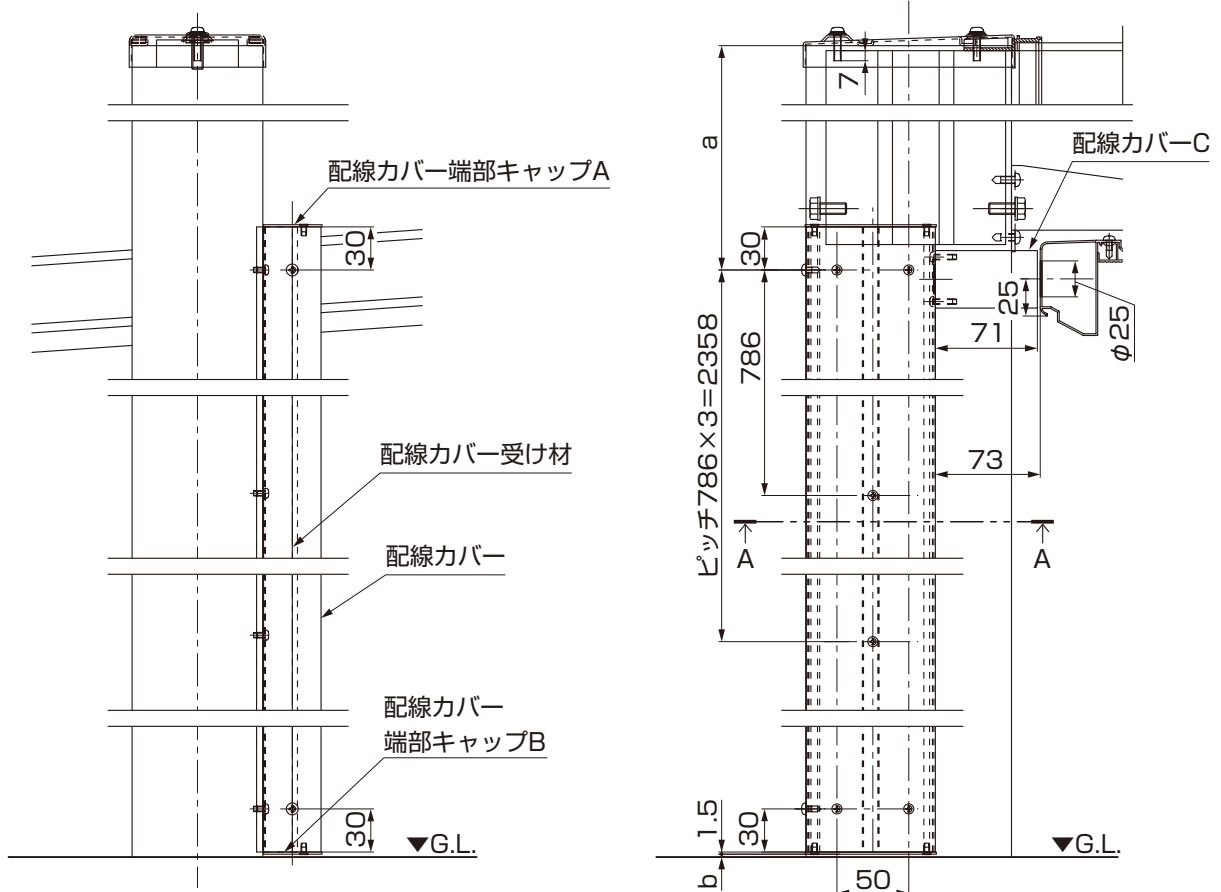


図1-1 A-A断面図



1-2 ダウンライト

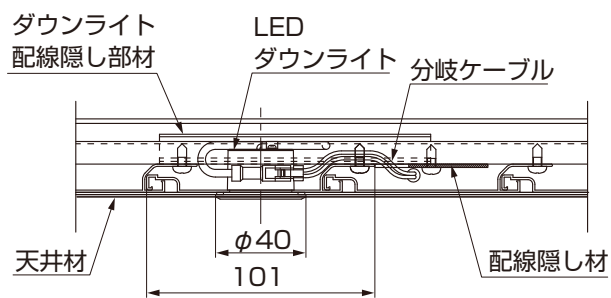


図1-2 A-A断面図 (拡大図)

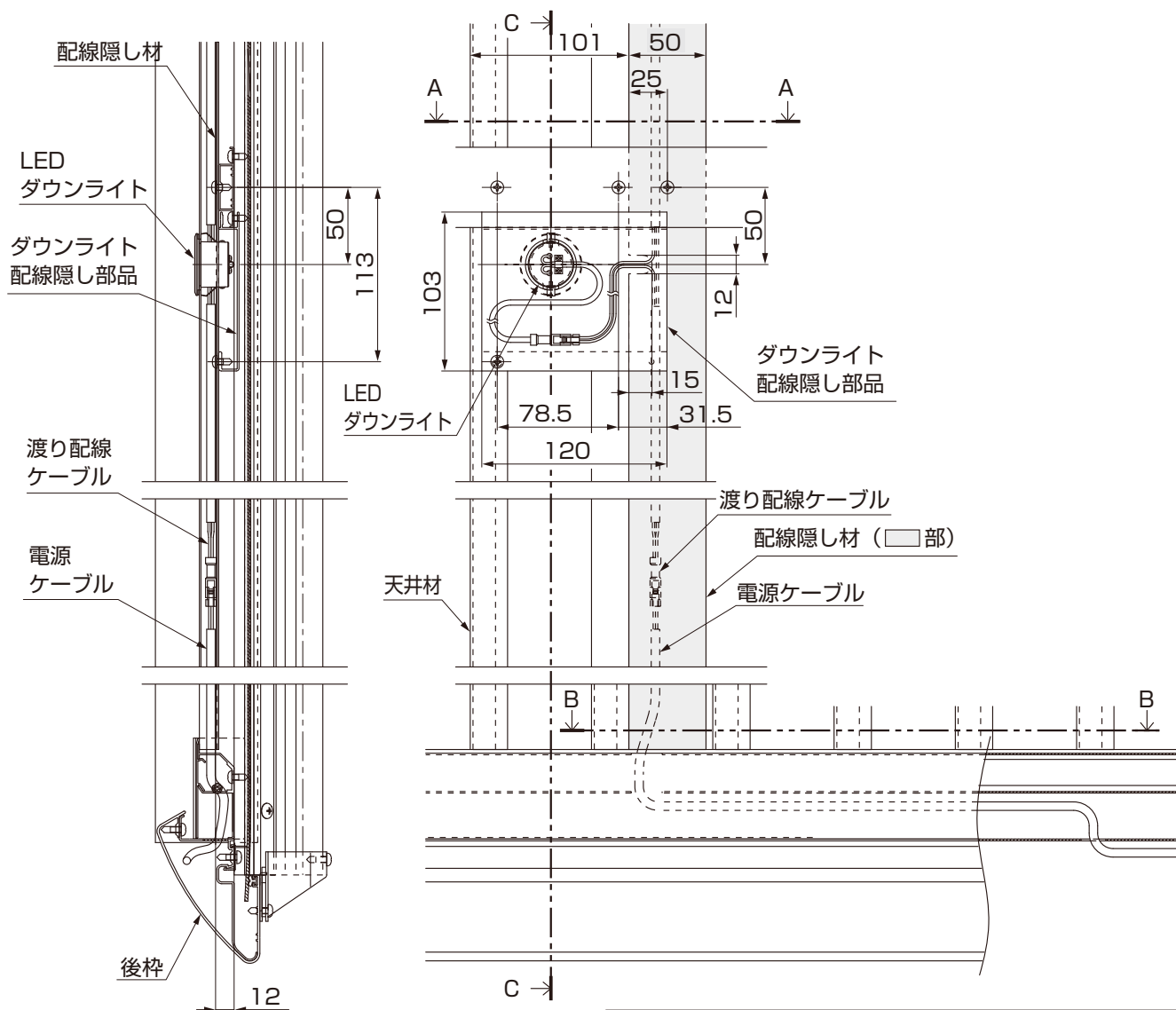


図1-4 C-C断面図

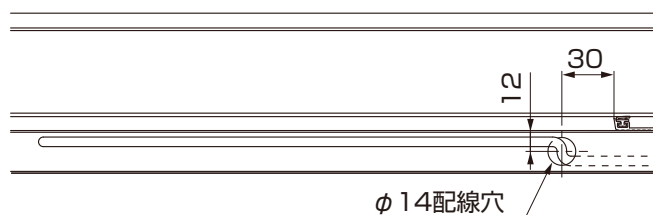


図1-3 B-B断面図

1-3 天井納まり スリット照明

ポイント

● 図は水下側照明の場合です。水上側照明の場合は、光源ユニット、光源カバー、光源カバー固定部品は水上側となります。

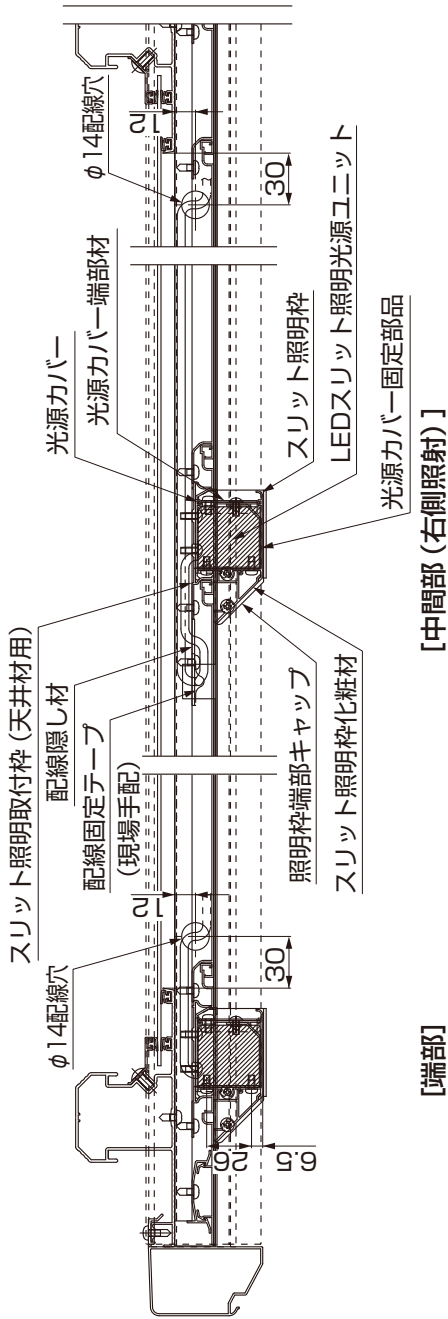


図1-5 間口方向断面図

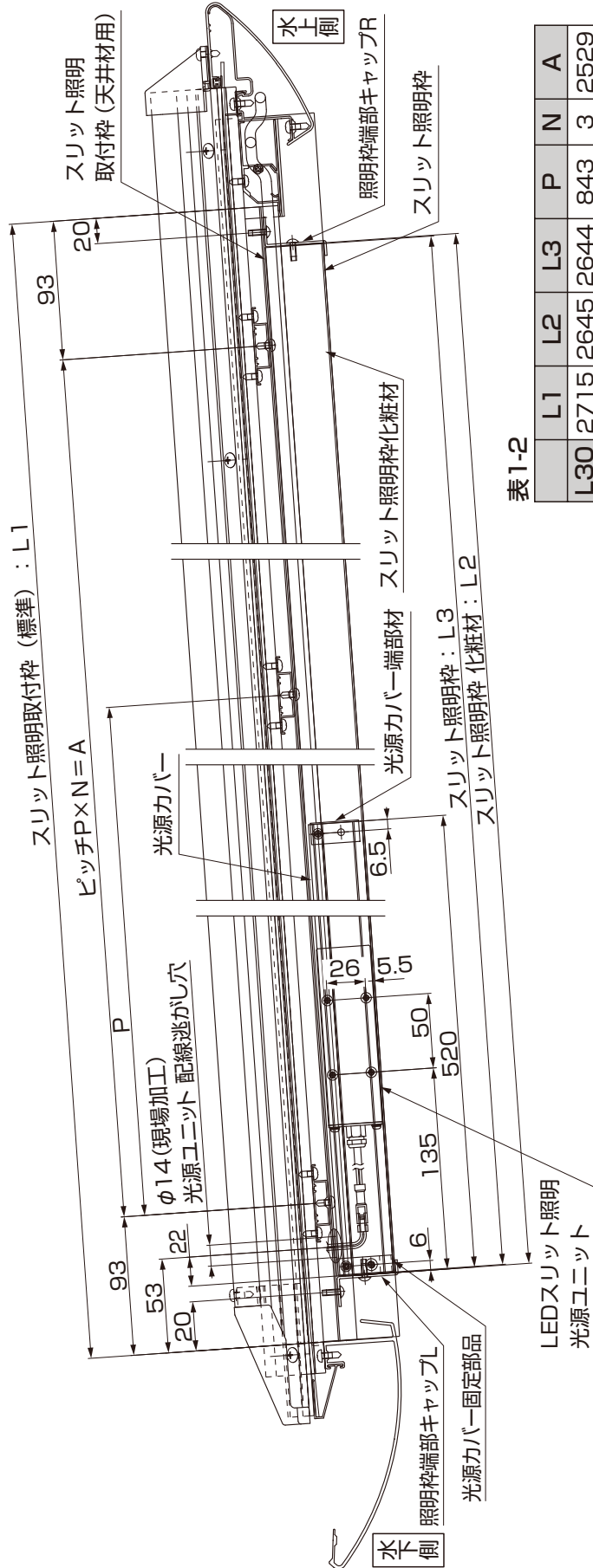


図1-6 奥行き方向断面図

表1-2

	L1	L2	L3	P	N	A
L30	2715	2645	2644	843	3	2529
L50	4721	4651	4650	907	5	4535
L60	5724	5654	5653	923	6	4615

1-4 アーチ納まり スリット照明

ポイント

- ※1：図は照射方向・左側の場合です。右側の場合は、「93」「B」「C」の寸法が、水上・水下対称となります。(水下側がCとなります。)
- 図は水下側照明の場合です。水上側照明の場合は、光源ユニット、光源カバー、光源カバー固定部品は水上側となります。

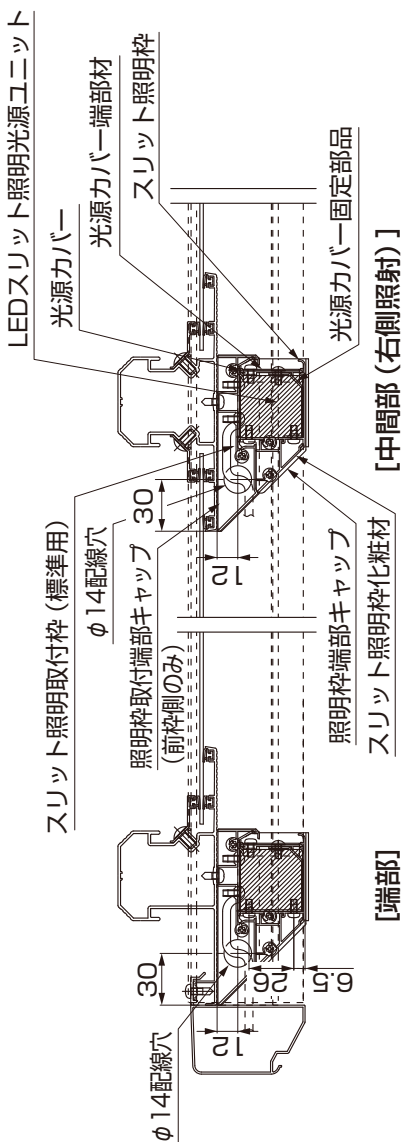


図1-7 間口方向断面図

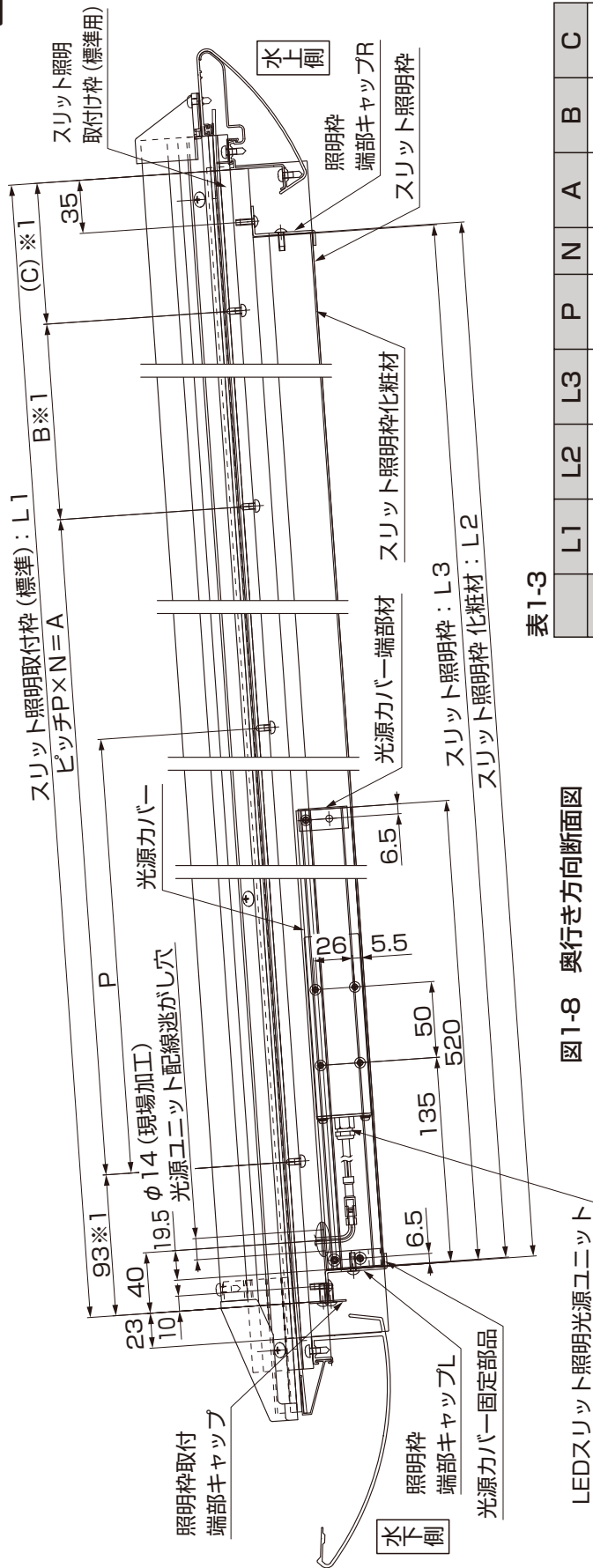


図1-8 奥行き方向断面図

表1-3

	L1	L2	L3	P	N	A	B	C
L30	2750	2685	2684	843	2	1686	878	93
L50	4756	4691	4690	923	4	3628	923	48
L60	5759	5694	5693	923	5	4615	958	93

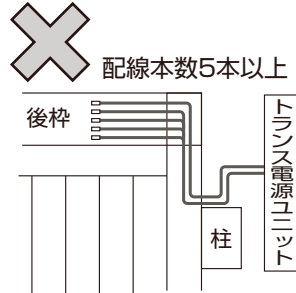
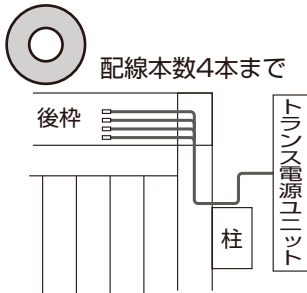
LEDスリット照明光源ユニット

5 施工制限

1. 照明設備の施工制限

■照明器具 個数制限

- スリット照明、ダウンライト照明合わせてアーキフィールド後枠内に配線できる、配線本数は4本までです。
- トランス電源ユニット1台あたりの消費電力の合計が35Wを超えないようにしてください。



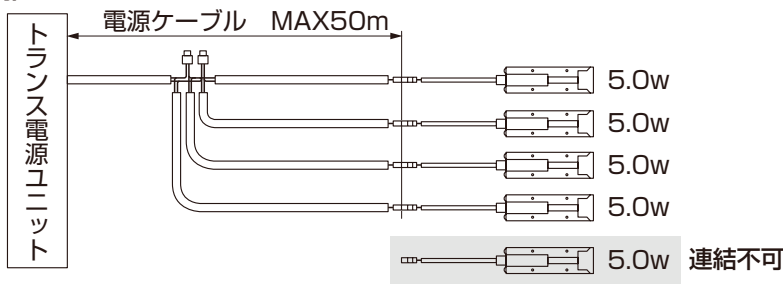
■トランス電源ユニット35Wから出力できる配線本数制限 (本体配線数)

- 2本までです。
(後コーナーキャップ部で分岐可能。1本×分岐4回路)

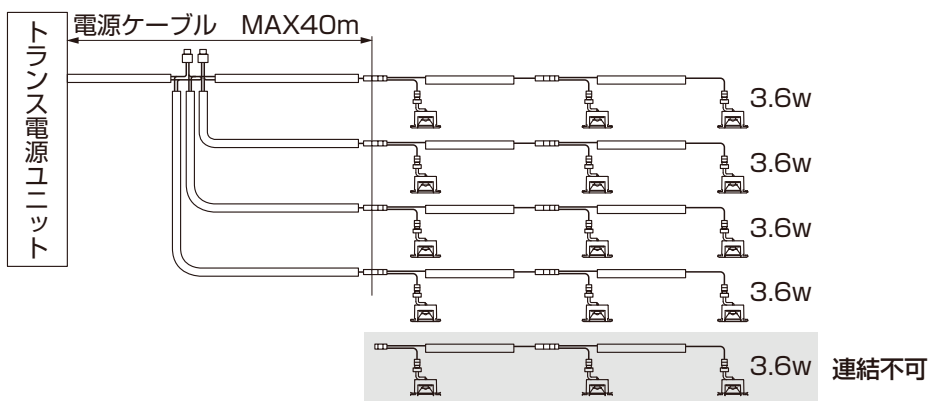
■トランス電源ユニットから照明器具までの配線距離制限

- トランス電源ユニットからスリット照明までは、50mまでです。
- トランス電源ユニットからダウンライト照明までは、40mまでです。
- ※本体配線1本に対して照明器具の連結は4台までです。

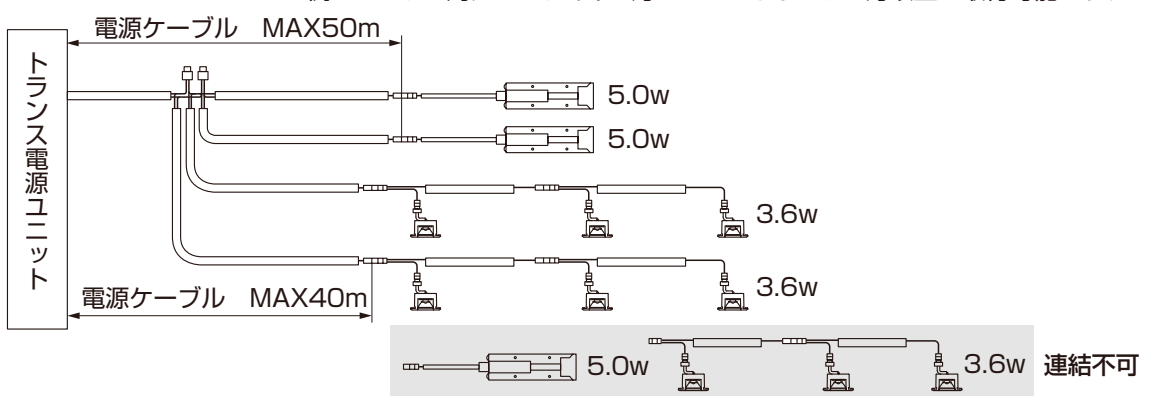
〈スリット照明〉



〈ダウンライト照明〉 ※例として、1列ダウンライト3灯としていますが、4灯以上も取付可能です。



〈スリット照明+ダウンライト照明〉 ※例として、1列ダウンライト3灯としていますが、4灯以上も取付可能です。



2. 照明取付け位置の制限

2-1 ダウンライト照明、スリット照明共通の取付制限

※天井納まりの場合のみの確認作業です。

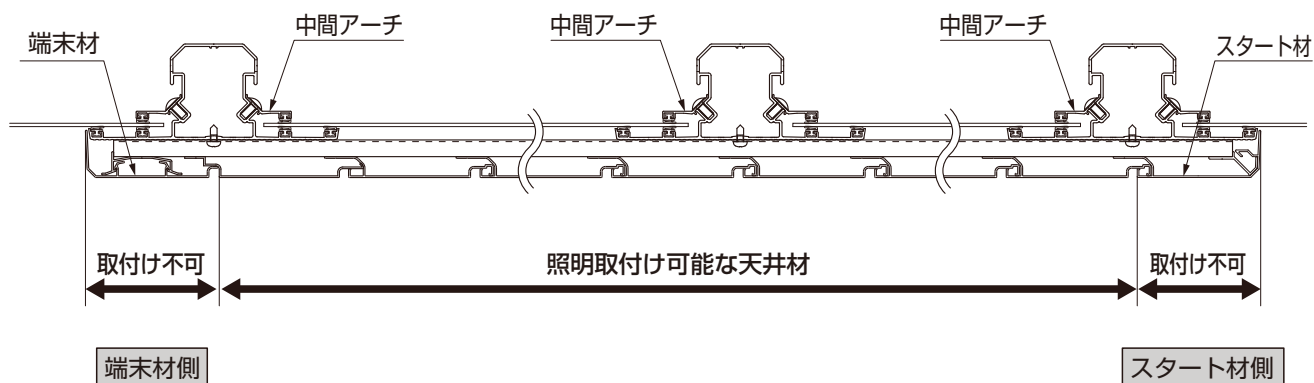


図2-1 天井材が全て中間アーチに取付く場合

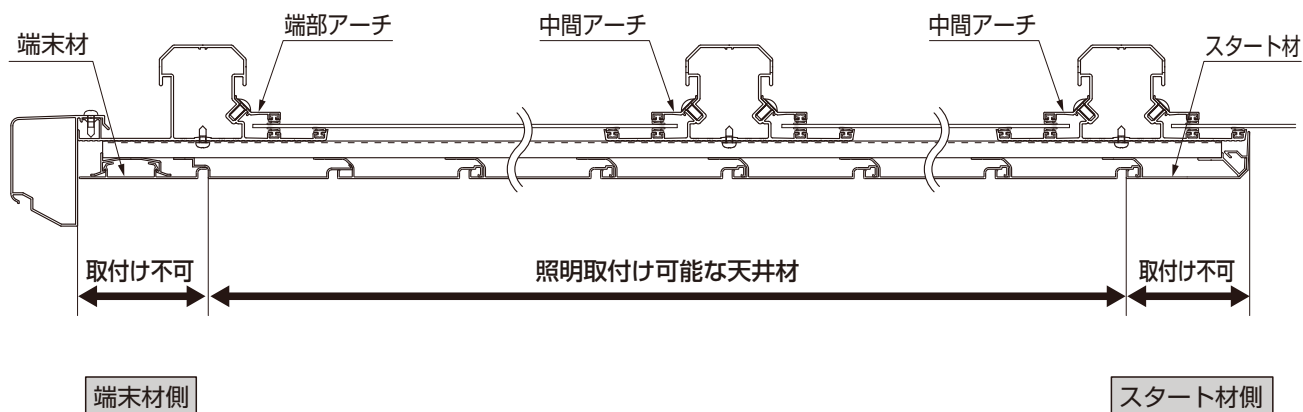


図2-2 天井材が端部アーチと中間アーチに取付く場合

①天井納まりの照明取付け可能範囲を確認してください。

ポイント

●照明は、両端列の天井材（スタート材と端末材）を除いた天井材に取付可能です。

例）1スパン天井材を施工の場合：7列の天井材に照明取付け可能

6 配線

1-1 地下埋設配線工事

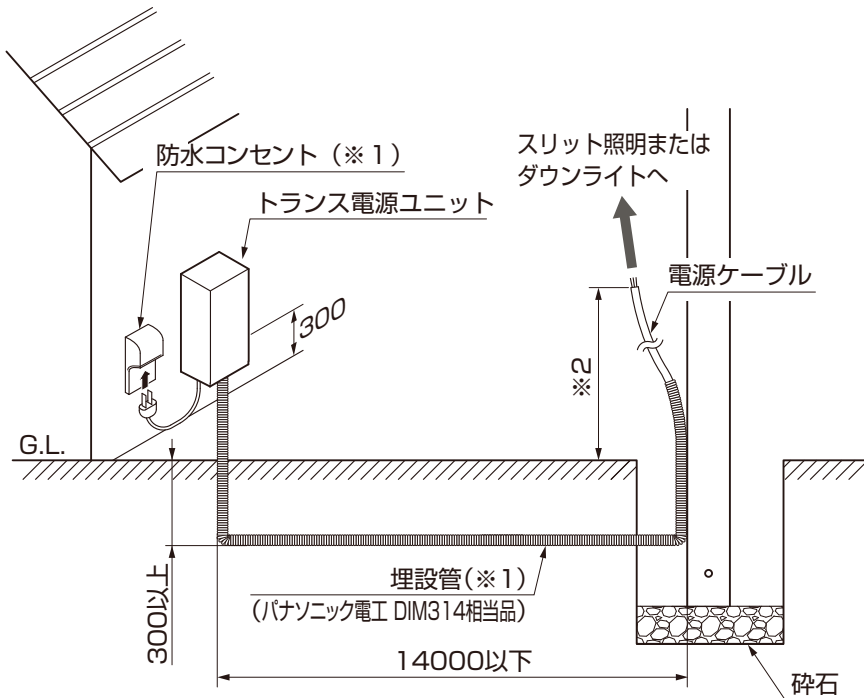


図1-1

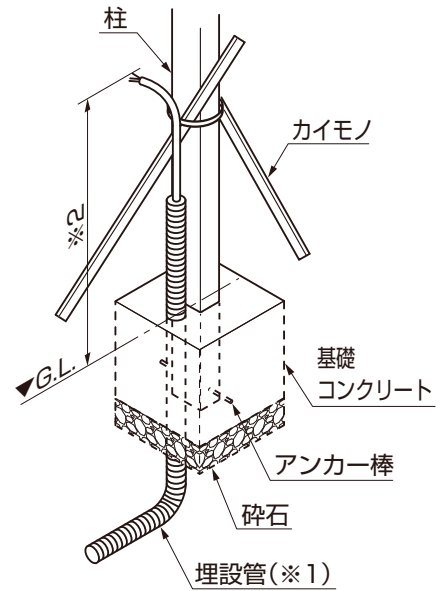


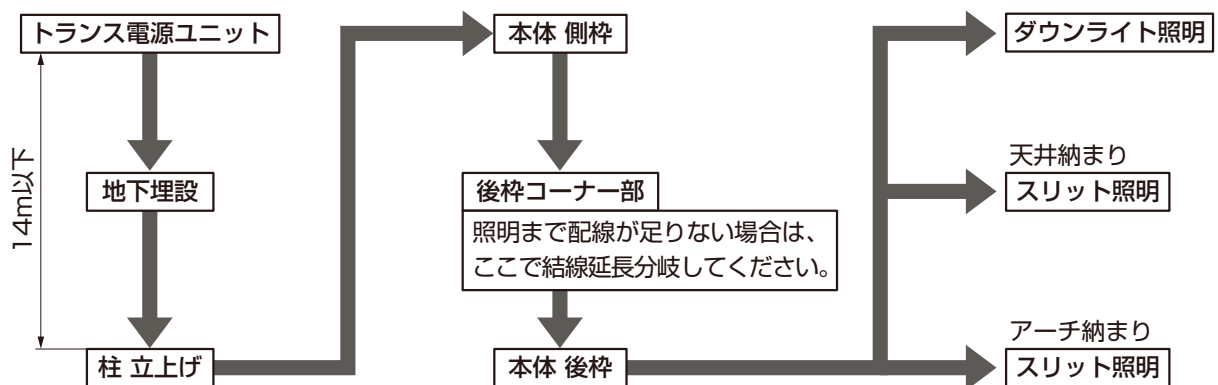
図1-2

①柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。

ポイント

- 電源ケーブルは、G.L.より十分な長さを引き抜いてください。後枠コーナー部で結線する場合は後枠までの長さ、結線しない場合は、照明までの長さを引き抜いてください。(※2)
- 電源ケーブルは、地中に埋設して配線してください。
- 防水コンセント、埋設管は別途手配してください。(※1)
- トランス電源ユニットから取り出せる電源ケーブルは1本です。必要に応じて電源ケーブルを埋設してください。

1-2 配線ルートの確認



①配線ルートを確認してください。

7 照明取付け前の事前作業

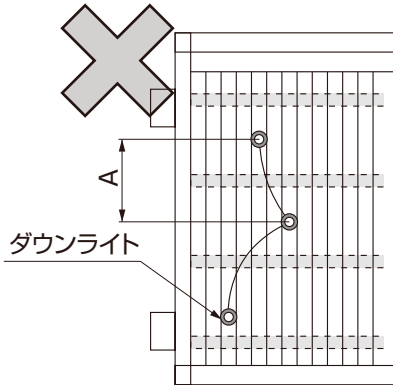
1. 照明取付け位置の決定

1-1 ダウンライトを取付ける場合

(1) 奥行方向の照明取付け位置決め

○ : ダウンライト : 中骨

ポイント



- 左記のような取付けはできません。
- ・A寸法(連続するダウンライトの芯々寸法)が1000mm以上
- ・列の違う天井材への取付け

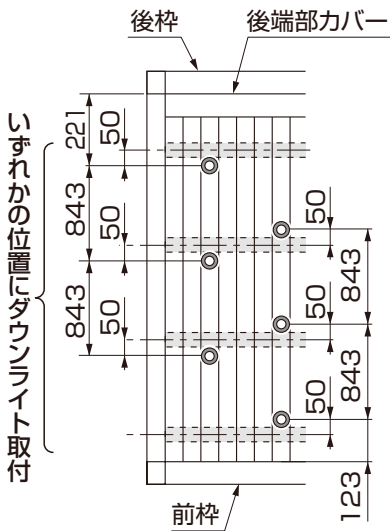


図1-1 L30 取付可能奥行き位置

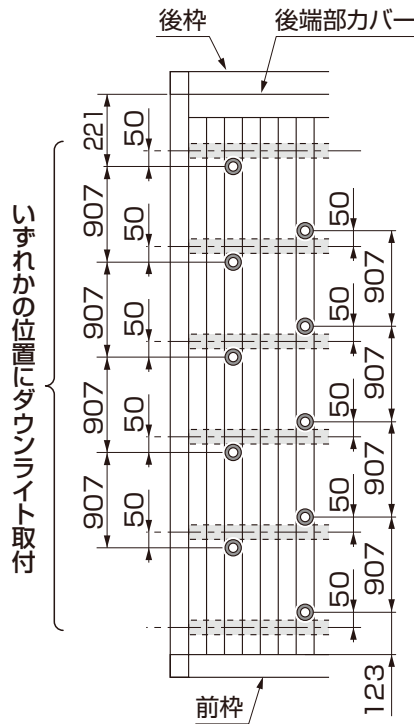


図1-2 L50 取付可能奥行き位置

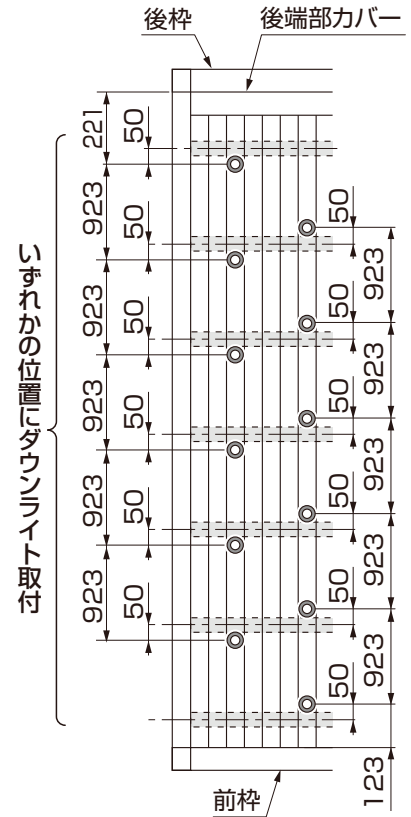


図1-3 L60 取付可能奥行き位置

①奥行方向の照明取付け位置を決めてください。

ポイント

- 取付け位置は、中骨の前後50mm位置に取付けます。

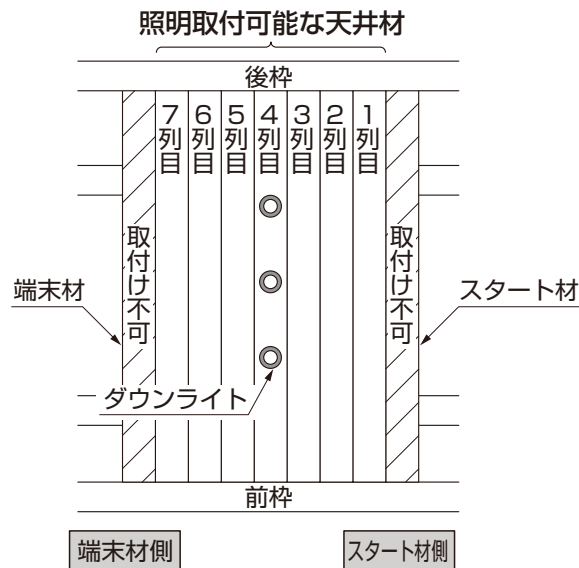
1. (つづき)

1-1 つづき

(2) 間口方向の照明取付け位置決め

ポイント

●図は天井材1スパンの場合を示します。2スパン以上の場合も、スタート材、端末材以外の任意の列に取付できます。



①照明を何列目の天井材に取付けるか決めてください。

ポイント

●照明はスタート材、端末材以外の任意の列に取付けできます。

1-2 スリット照明を取付ける場合

ポイント

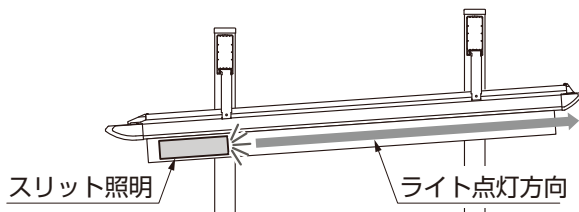


図1-4

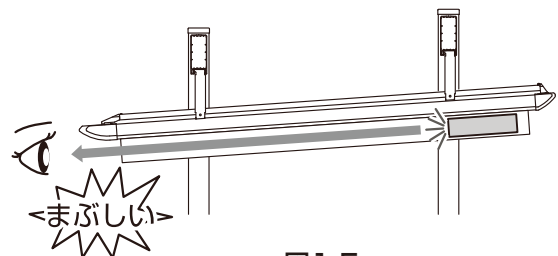


図1-5

●光源ユニットの取付け位置 (ライト点灯方向) は、周囲の住環境を配慮して決めてください。
ライト点灯方向の反対側に立つと、光が目に入りまぶしい場合があります。(図1-4、図1-5参照)

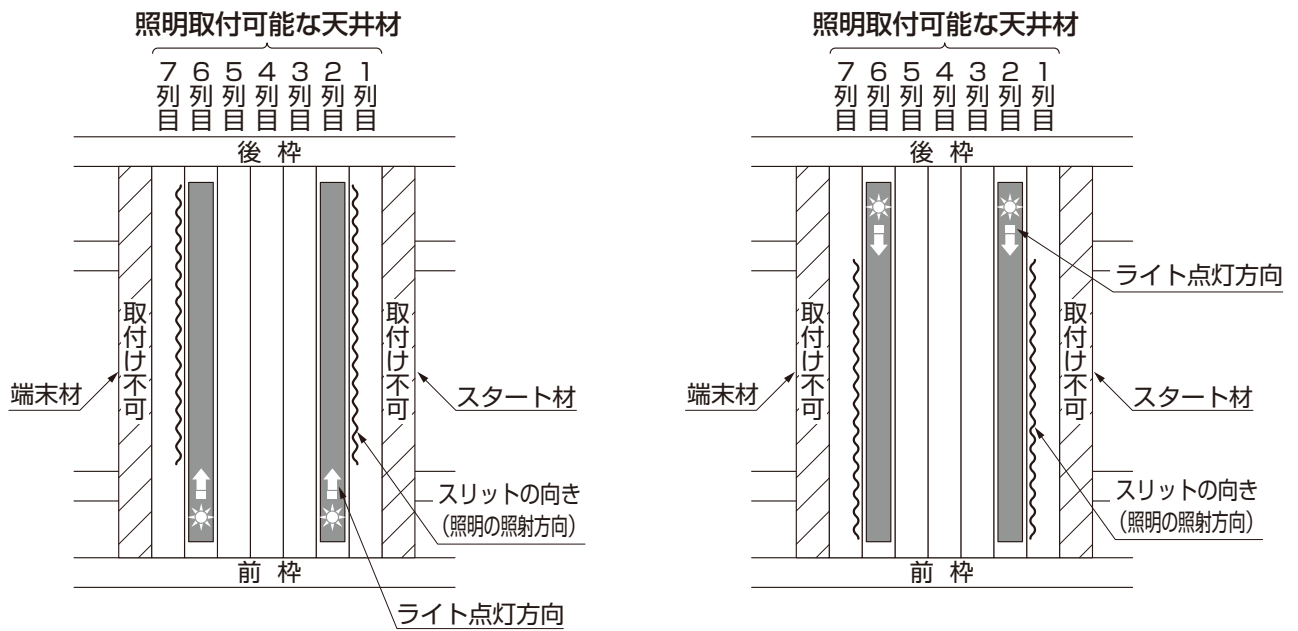


図1-6 天井納まり

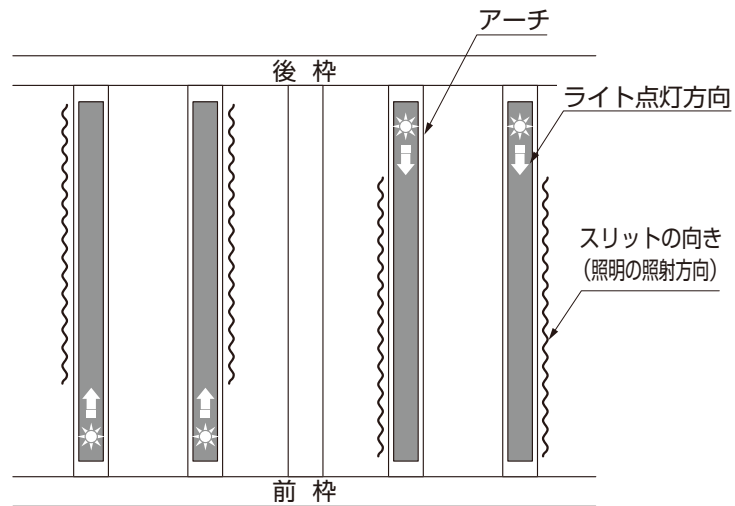


図1-7 アーチ納まり

- ①照明を何列目の天井材またはアーチに取付けるか決めてください。
- ②光源ユニットの取付け位置 (ライト点灯方向) を決めてください。
- ③スリットの向き (照明の照射方向) を決めてください。

ポイント

- 天井納まりの場合、照明はスタート材、末端材以外の任意の列に取付けできます。
- スリットの向き (照明の照射方向) は左右どちらでも設定可能です。

2. 照明配線計画

ポイント

〈記入例〉 W30

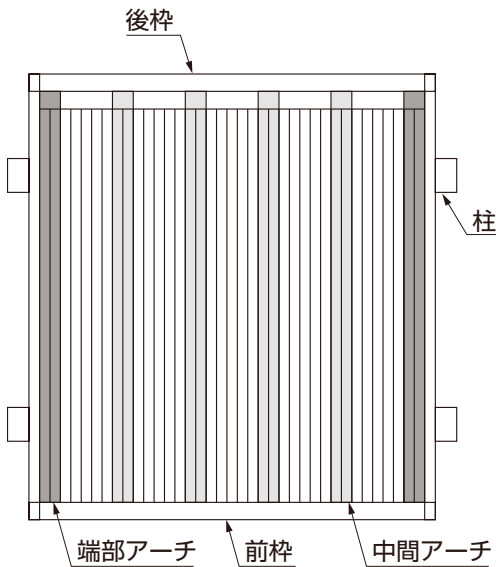
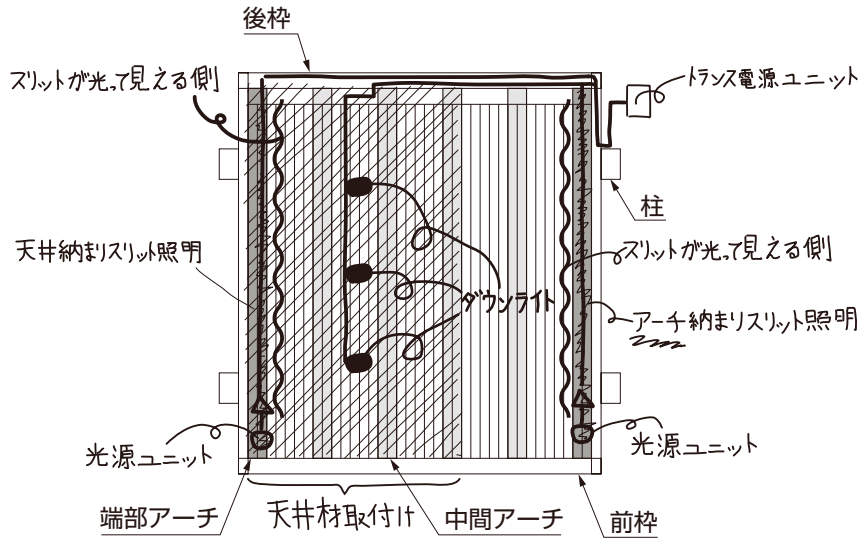


図2-1 W30

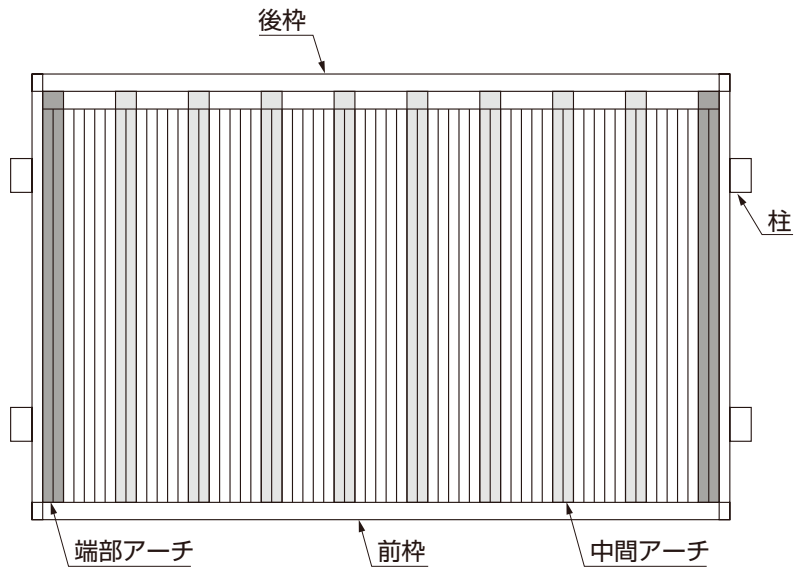


図2-2 W52

- ① 施工する屋根に対して天井材、ダウンライト、スリット照明を記入してください。
- ② トランスユニットからの配線距離を記入してください。

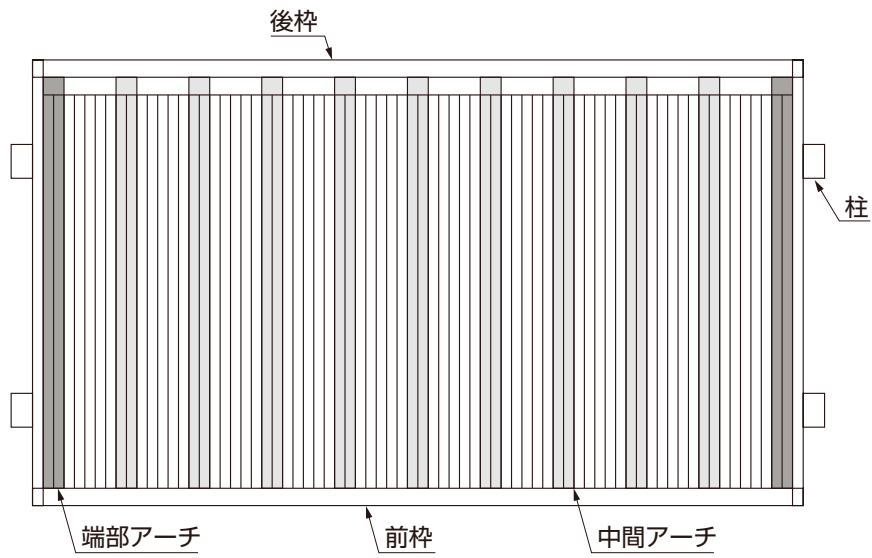


図2-3 W57

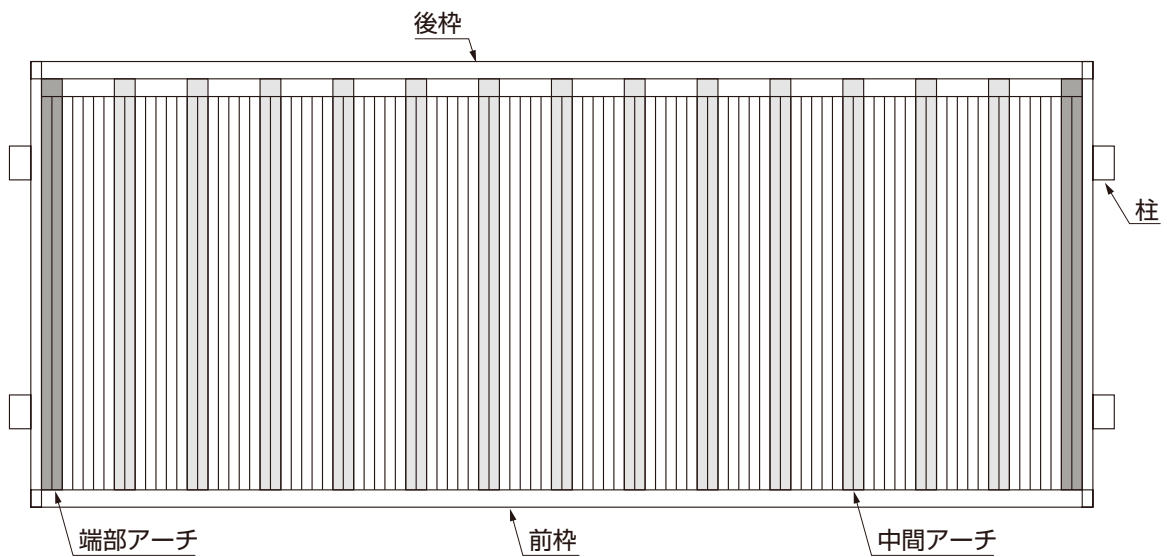


図2-4 W79

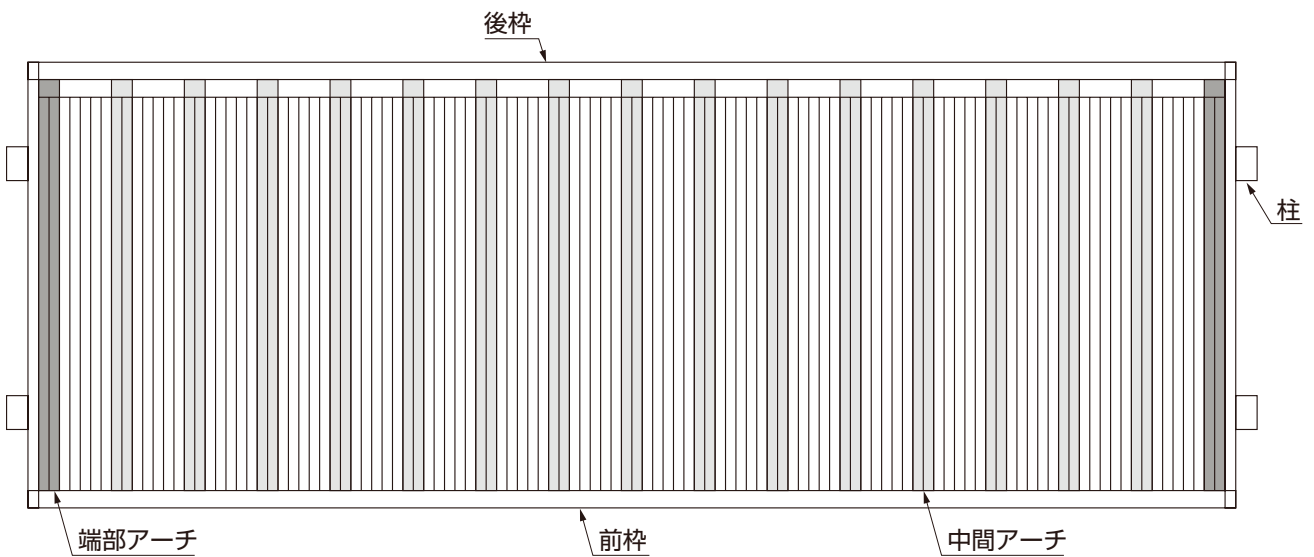
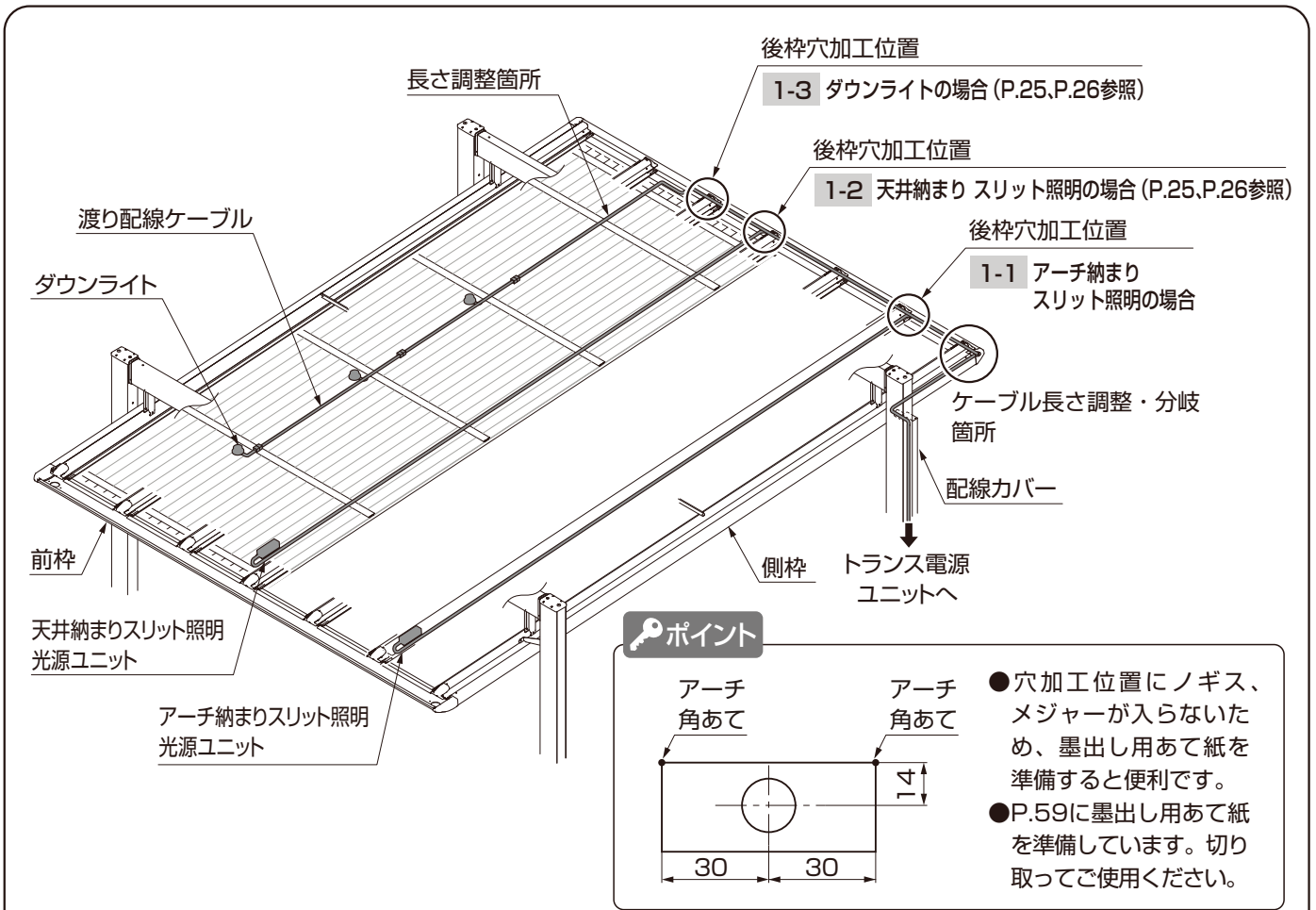
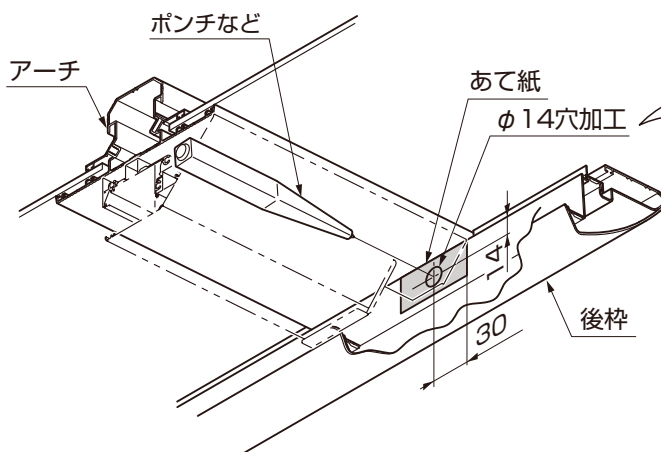


図2-5 W90

8 後枠の配線用穴加工



1-1 アーチ納まり スリット照明を取付ける場合



ポイント

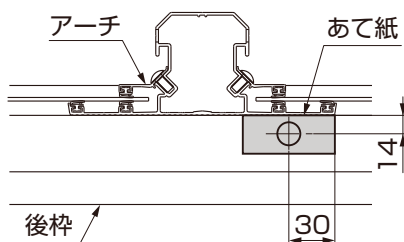
φ14穴加工

14

後枠

後枠スリーブ

- 後枠連結部 (W79・W90) に穴加工をする場合は、後枠スリーブごと穴をあけてください。



- ①あて紙を後枠に当てがい、穴の中心をポンチなどでかがいてください。
- ②後枠に本体配線用のφ14穴加工をしてください。

ポイント

- スリットの向き (照明の照射方向) を確認してから加工してください。

1-2 天井納まり スリット照明またはダウンライトを取付ける場合

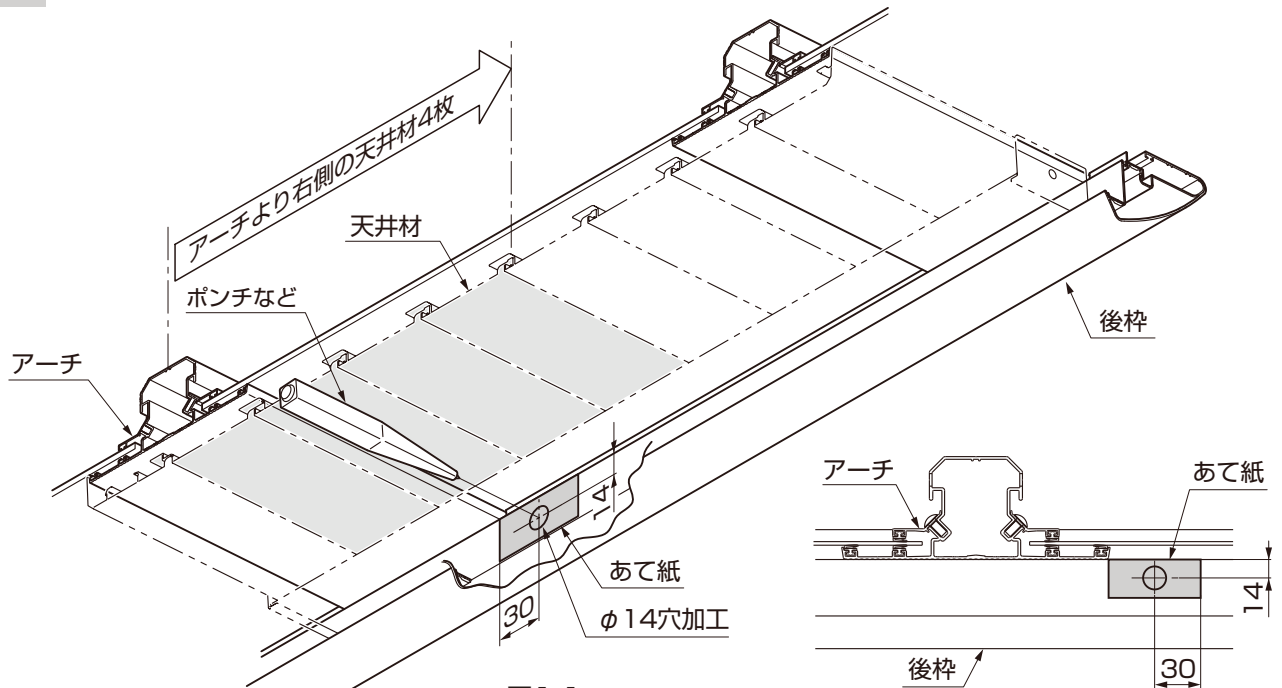


図1-1
アーチより右側の天井材4枚までに照明を取付ける場合

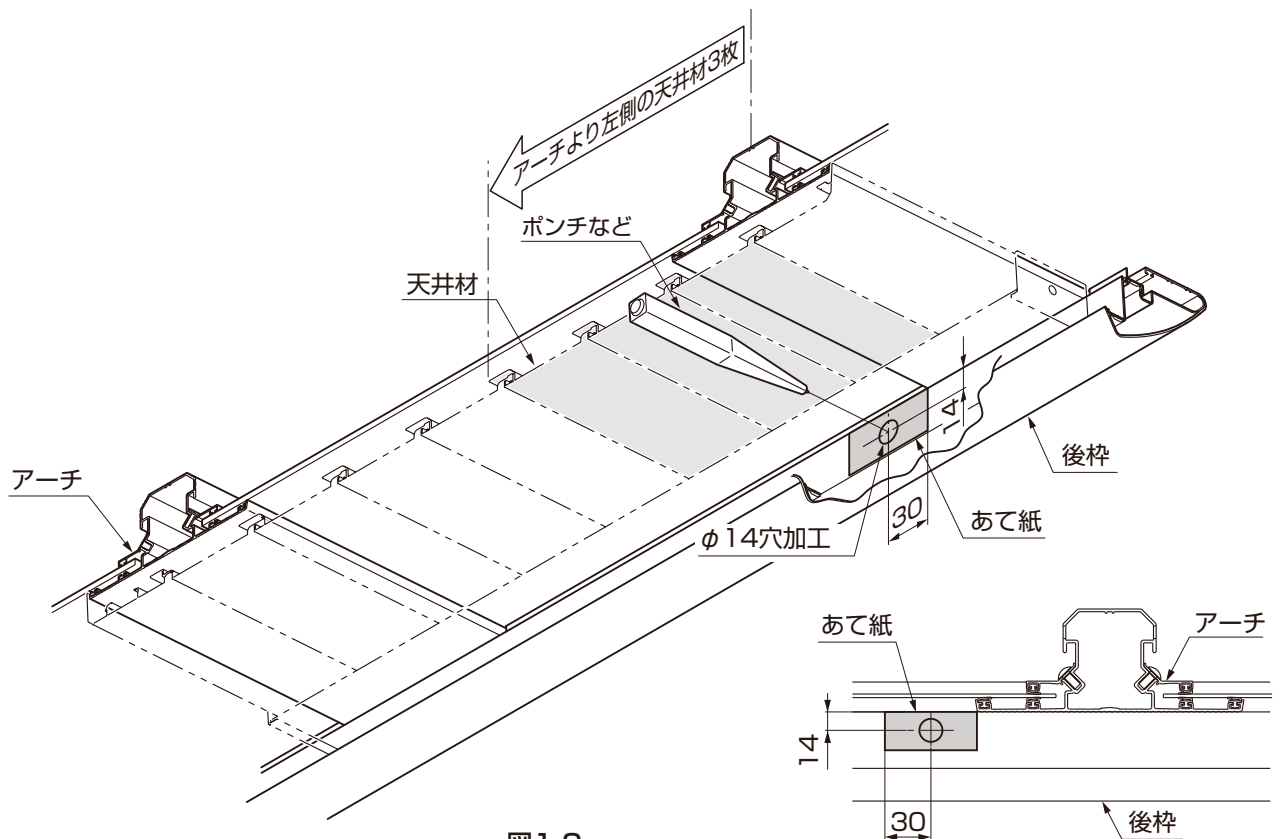


図1-2
アーチより左側の天井材3枚までに照明を取付ける場合

- ①あて紙を後枠に当てがい、穴の中心をポンチなどでけがいてください。
- ②後枠に本体配線用のφ14穴加工をしてください。

1-3 天井納まり スリット照明とダウンライトを併用する場合

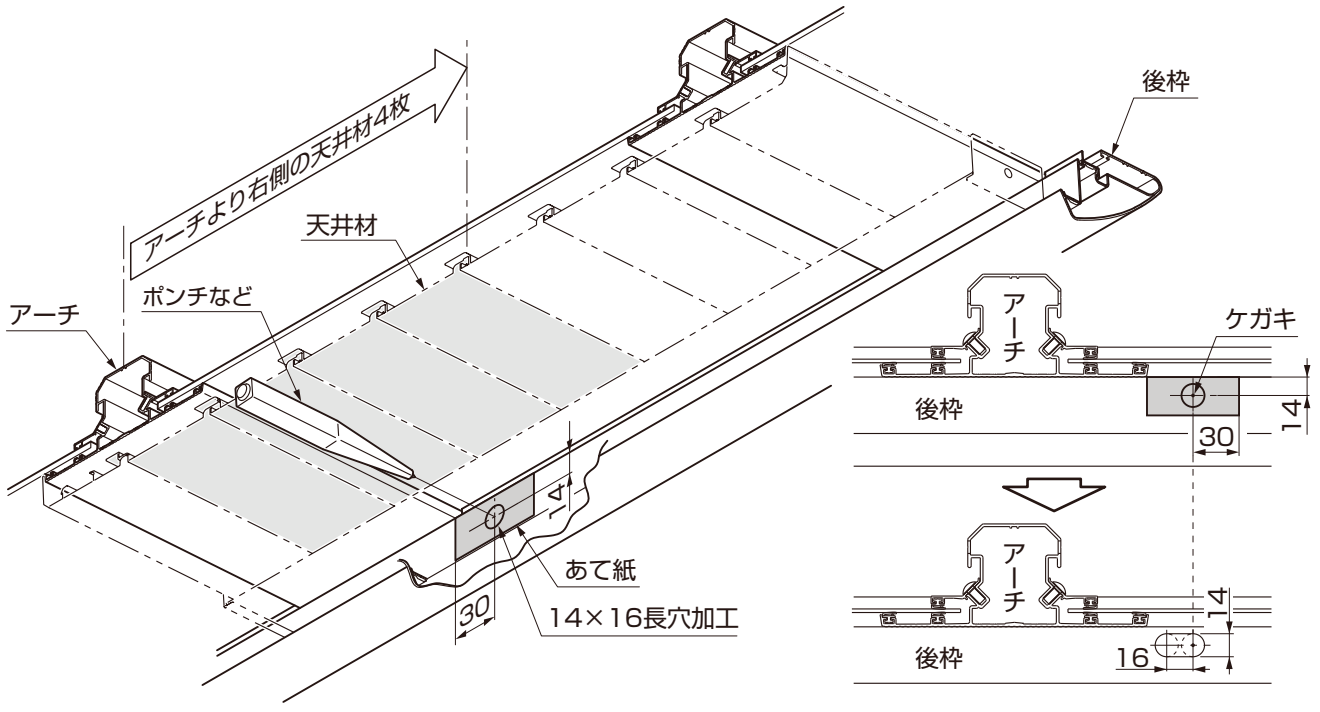


図1-3 アーチより右側の天井材4枚までに照明を取付ける場合

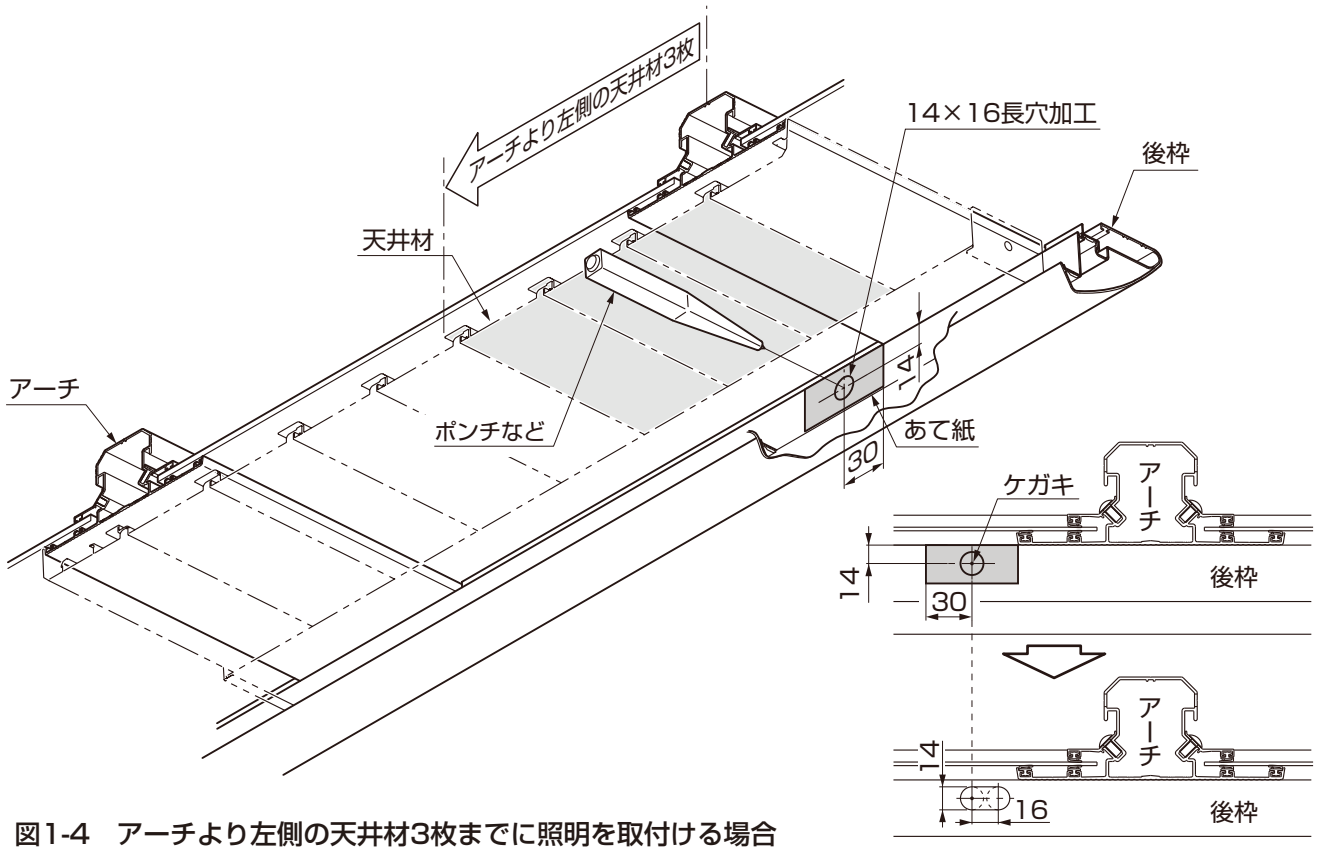


図1-4 アーチより左側の天井材3枚までに照明を取付ける場合

- ①あて紙を後枠に当てがい、穴の中心をポンチなどでけがいてください。
- ②後枠に本体配線用の14×16長穴加工をしてください。

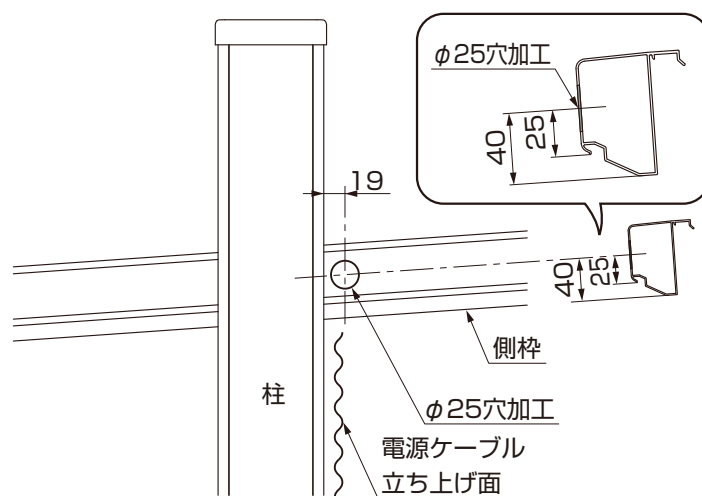
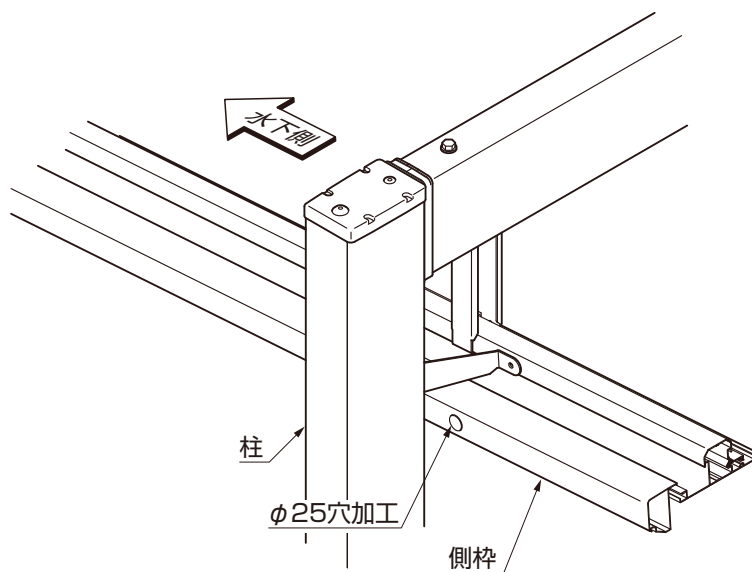
9 配線カバーの施工

1. 取付け前の加工作業

ポイント

- 「アーキフィールド -本体編- 取付説明書 (D556)」を参照して、本体の側枠取付後、作業を行なってください。

1-1 側枠への配線用穴加工



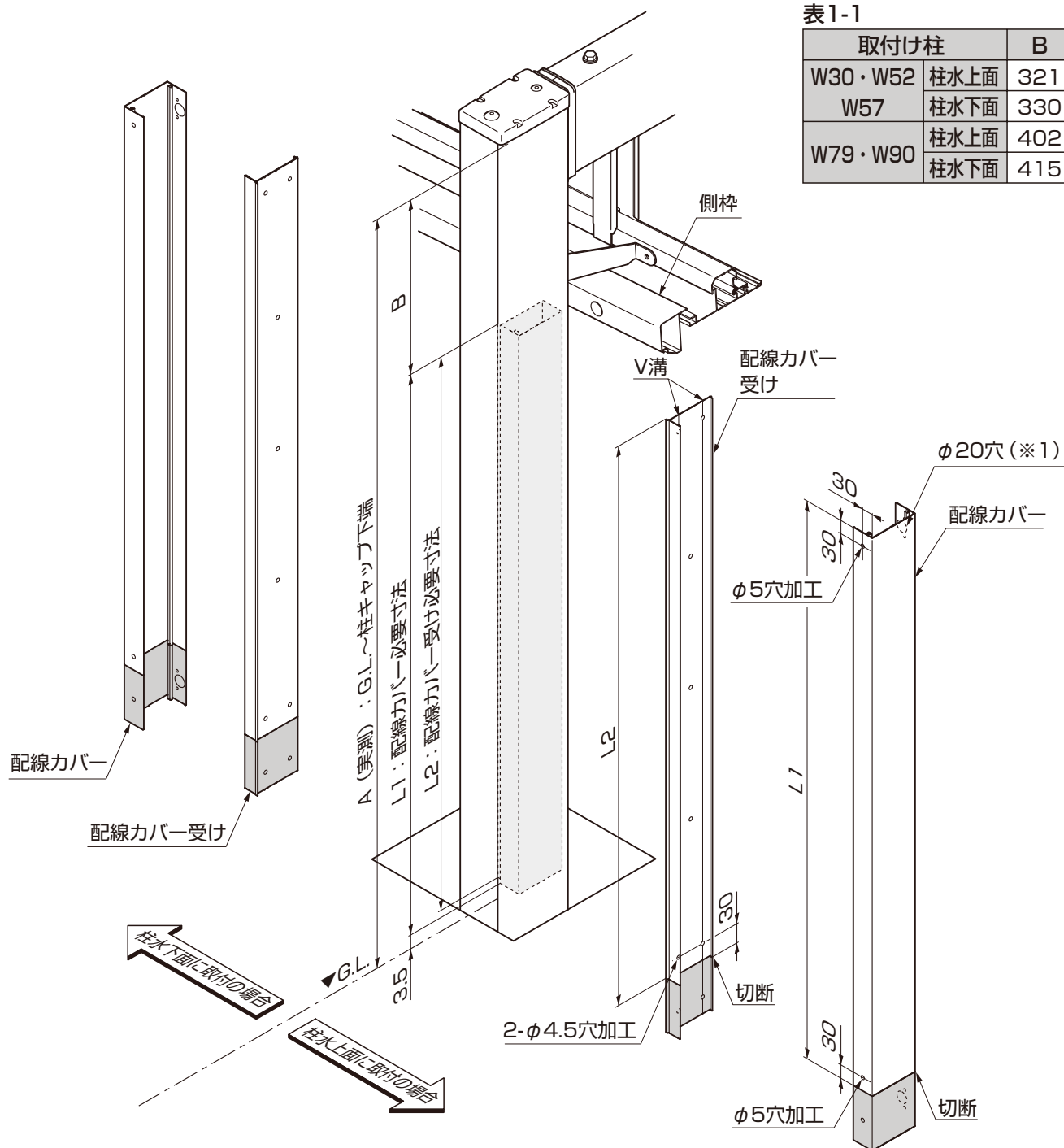
- ①トランス電源ユニットからの電源ケーブルを立ち上げる柱と交差する本体側枠に、配線用のφ25穴加工をしてください。

1. (つづき)

1-2 部材の加工

表1-1

取付け柱		B
W30・W52	柱水上面	321
W57	柱水下面	330
W79・W90	柱水上面	402
	柱水下面	415



①配線カバー、配線カバー受けを切断、穴加工をしてください。

●L1…下記計算式より算出してください。

$$\bullet L1 = A - (B + 3.5)$$

A : G.L.～柱キャップ下端の実測値

B : 柱キャップ下端～配線カバー上端 (表1-1より)

●L2…下記計算式より算出してください。

$$\bullet L2 = L1 - 6$$

ポイント

●配線カバーは、φ20穴(※1)が側枠側を向きます。

2. 配線カバーの取付け

2-1 柱への配線カバー受け取付け用穴加工

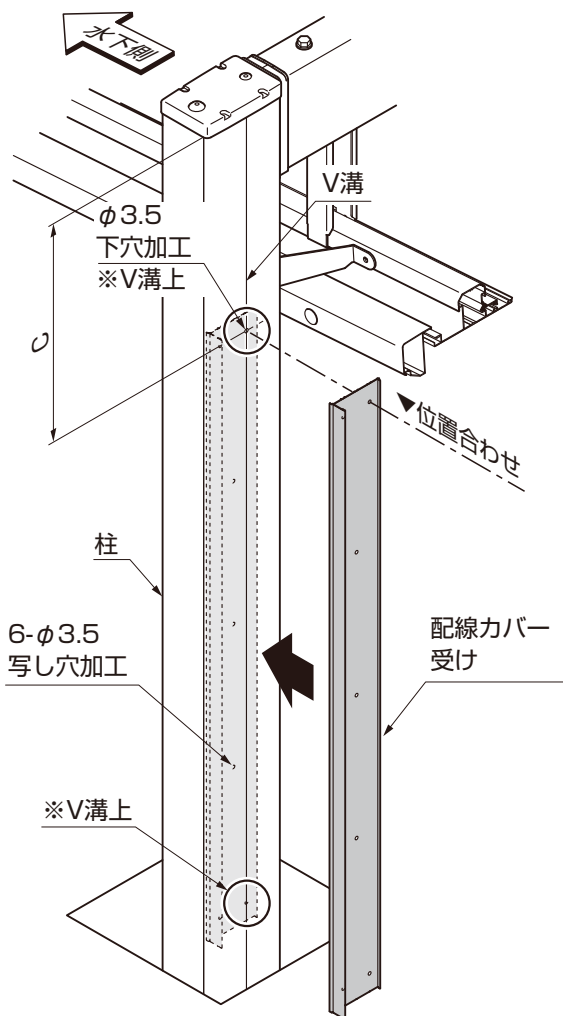
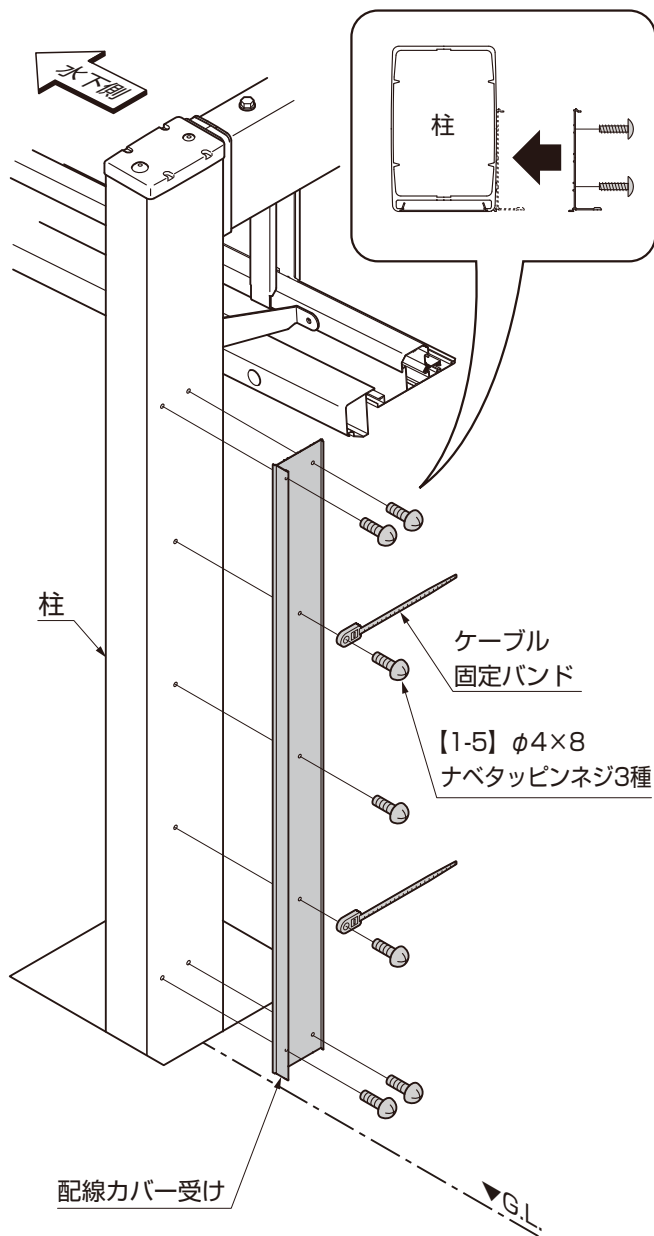


表2-1

取付け柱		C
W30・W52	柱水上面	352
W57	柱水下面	361
W79・W90	柱水上面	432
	柱水下面	445

- ① 柱キャップ下端からC寸法を測り、柱のV溝にφ3.5の穴加工をしてください。
- ② ①の加工穴位置合わせで、配線カバー受けを柱に当てがい、φ3.5の写し穴をあけてください。

2-2 配線カバー受けの取付け



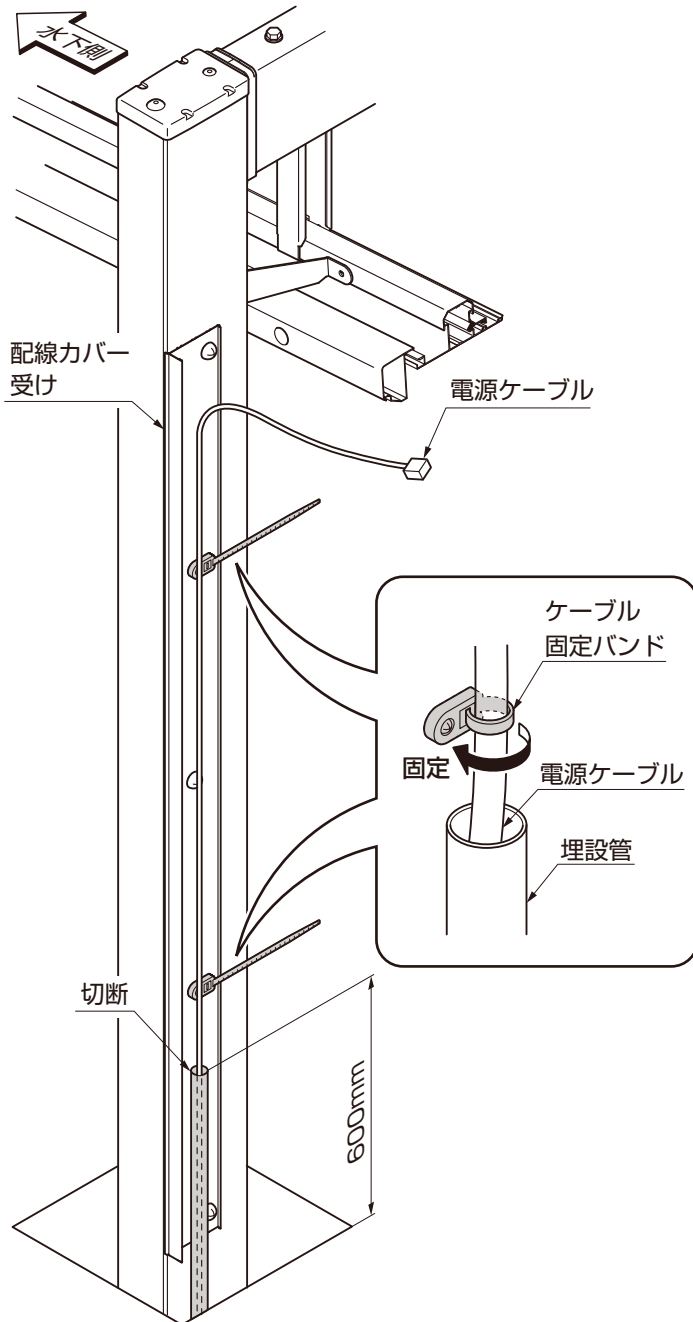
- ① 配線カバー受けを柱に【1-5】で取付けてください。

ポイント

- 上図の箇所に、ケーブル固定バンドを【1-5】と共締めしてください。

2. (つづき)

2-3 電源ケーブルの立ち上げ



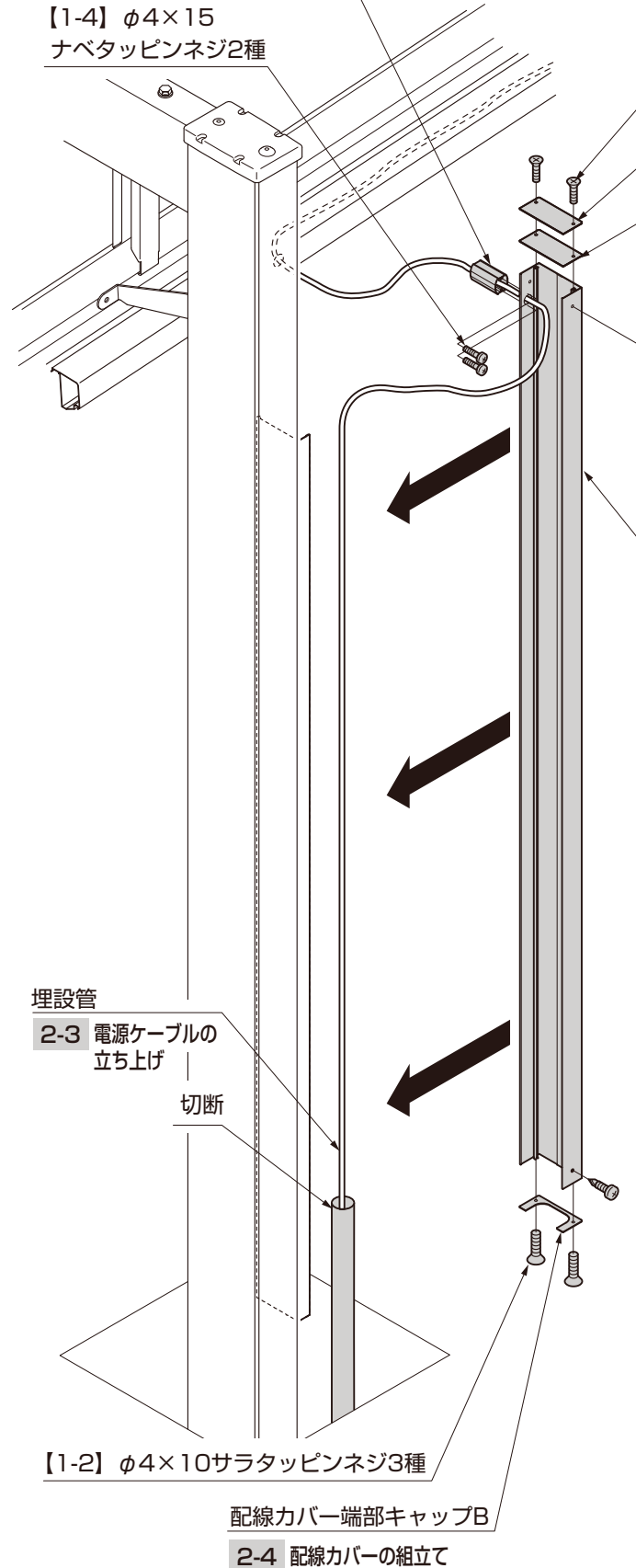
- ① 地中からの電源ケーブルを配線カバー受けに立ち上げてください。
- ② G.L.から600mm程の位置で埋設管を切断し、引き抜いてください。
- ③ 電源ケーブルをケーブル固定バンドで固定してください。

ポイント

- 切断の際は、電源ケーブルを傷つけないようにしてください。
- 引き抜いた埋設管は後枠のケーブル保護に使用します。捨てないでください。(※1)

配線カバーC

2-4 配線カバーの組立て



【1-2】φ4×10
サラタッピンネジ3種

配線カバー端部キャップA

2-5 配線カバーの取付け

上端部パッキン

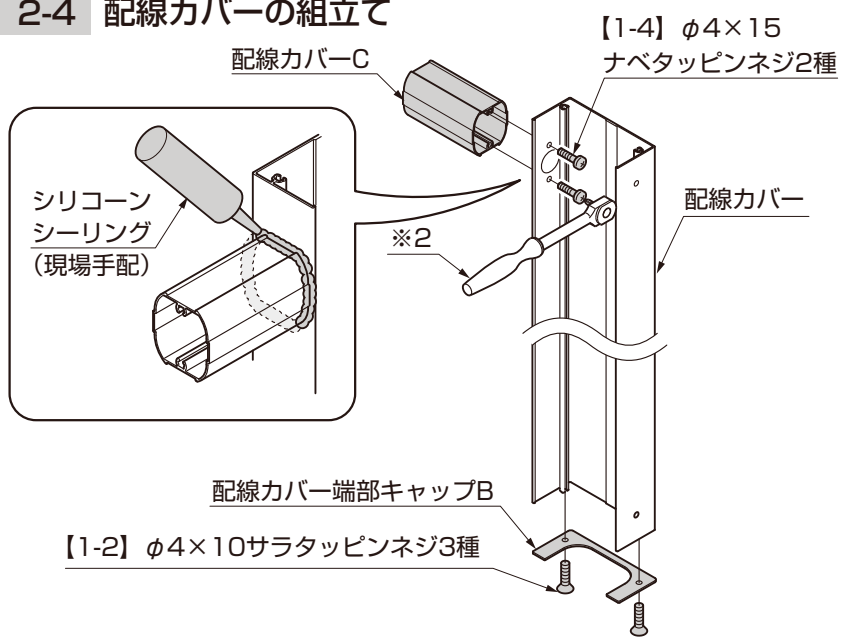
2-5 配線カバーの取付け

【1-3】φ4×10ナベドリルネジ

配線カバー

2-5 配線カバーの取付け

2-4 配線カバーの組立て

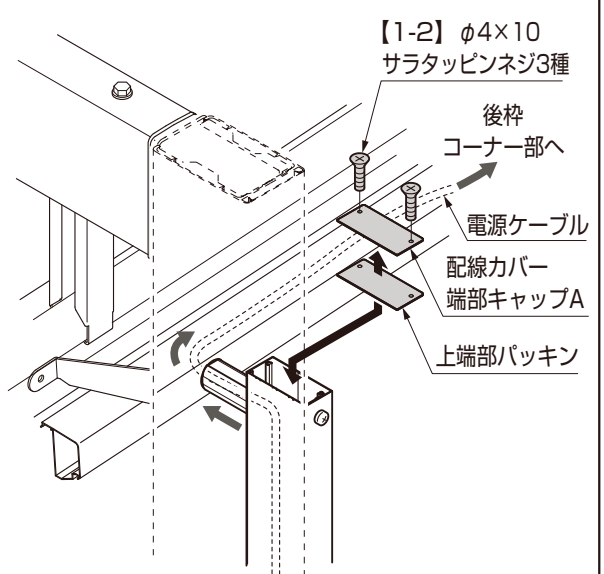
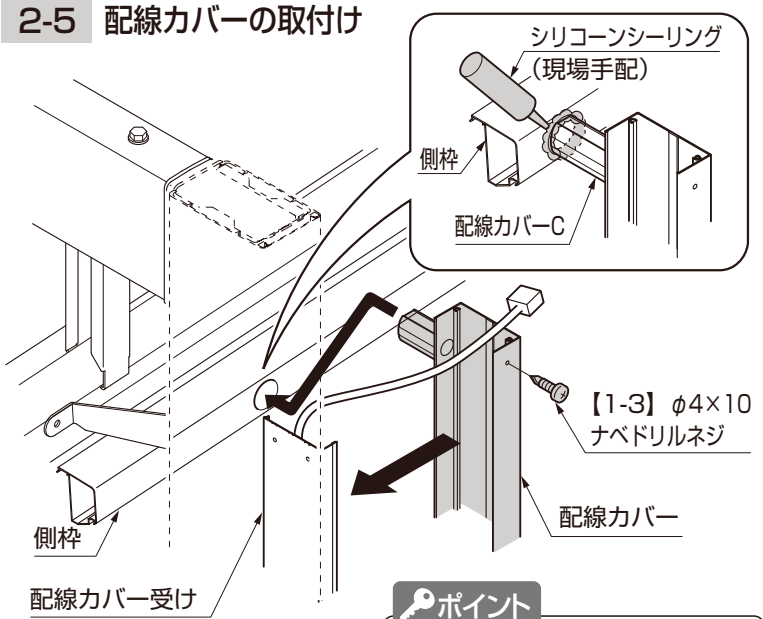


- ① 配線カバーCを配線カバーに【1-4】で取付けてください。
- ② 配線カバーCと配線カバーの継ぎ目にシーリングをしてください。
- ③ 配線カバー端部キャップBを配線カバーに【1-2】で取付けてください。

ポイント

- ラチェットドライバー等で取付けてください。(※2)

2-5 配線カバーの取付け



- ① 配線カバーを配線カバー受け、側枠にはめ込み【1-3】で取付けてください。
- ② 側枠と配線カバーCのすき間にシーリングをしてください。

ポイント



- しっかりはめ込んでください。

- ③ 電源ケーブルを配線カバーC、側枠に通してください。
- ④ 上端部パッキンを配線カバー端部キャップAに貼付けてください。
- ⑤ 配線カバー端部キャップAを配線カバーに【1-2】で取付けてください。

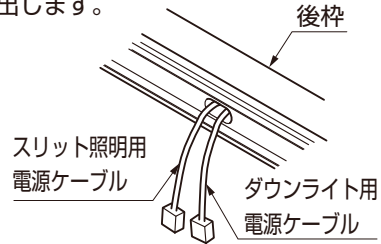
3. 後枠の配線

3-1 電源ケーブルの長さ確認と後枠の配線

補足

【天井納まり スリット照明と
ダウンライトを併用する場合】

- 後枠の長穴より各電源ケーブルを引き出します。



後枠

引き出す

ダウンライト用電源ケーブル
または
スリット照明用電源ケーブル

ポイント

- 光源ユニットまたはダウンライト用渡り配線ケーブルまで届く長さを引き出してください。

【電源ケーブルの長さ調整】

- 電源ケーブルの長さ調整は、照明器具取付後に行ないます。

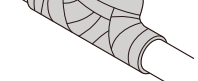
(延長・短縮)

圧着スリーブ
(現場手配)

自己融着テープ
(現場手配)

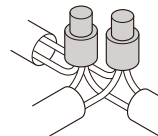


【接続】

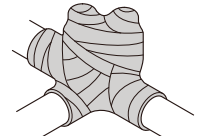


【防水処理】

(分岐)



【接続】



【防水処理】

- 電源ケーブルの長さ調整(延長・短縮・分岐)は、後枠コーナー部で行なってください。

- ①電源ケーブルが必要な長さ引き出せているか確認してください。
- ②電源ケーブルを後枠へ通し、後枠加工穴より引き出してください。

ポイント

- 電源ケーブルを後枠内に通し、加工穴から引き出す際は、電源ケーブルが傷つかないようにしてください。

10 ダウンライトの施工

1. 部材の加工

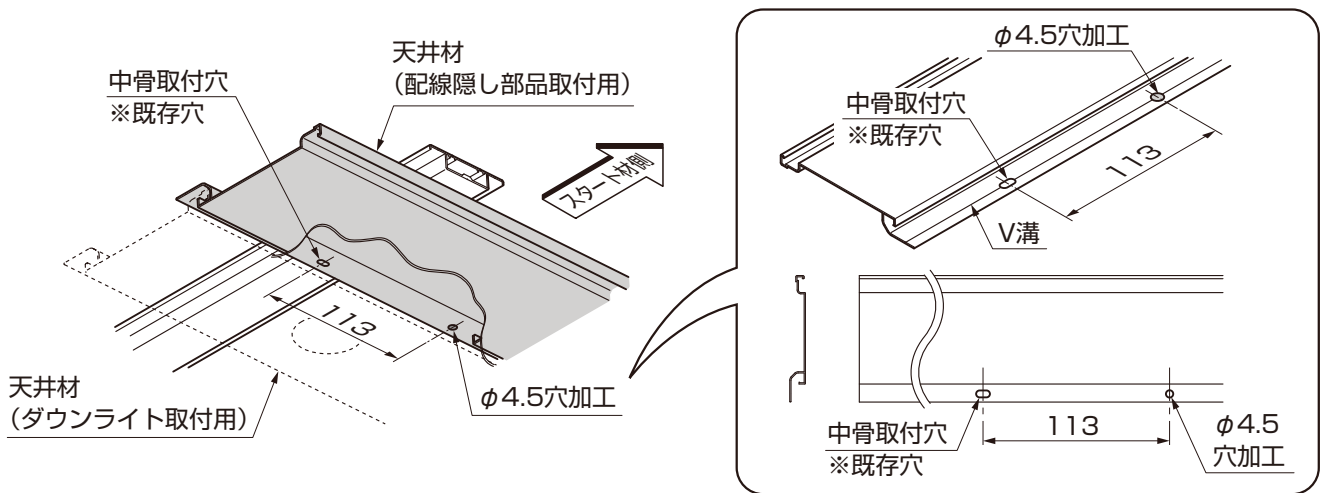
ポイント

- 「アーキフィールドー本体編ー 取付説明書 (D556)」を参照して、天井材の取付けと同時に作業を行なってください。

1-1 天井材（配線隠し部品取付用）

ポイント

- 配線がアーチの下に隠れる場合は、本手順は不要です。（詳細はP.9参照）

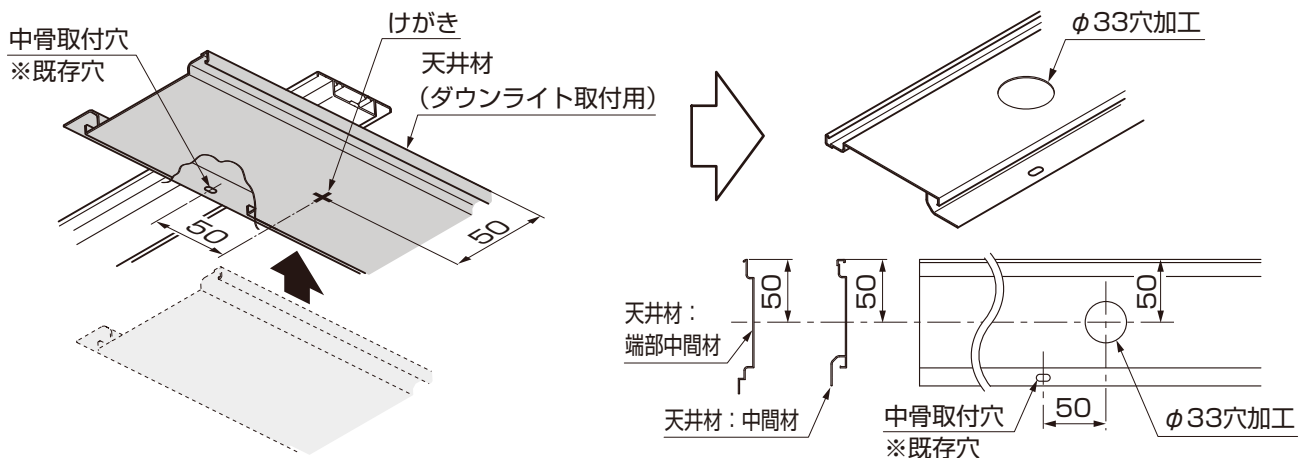


- ①天井材（配線隠し部品取付用）を中骨に当てがって、ダウンライトの取付位置と天井材の中骨取付穴位置を確認してください。
- ②天井材（配線隠し部品取付用）にφ4.5の穴加工をしてください。

ポイント

- 天井材（配線隠し部品取付用）は、天井材（ダウンライト取付用）の1列前の天井材です。
- 配線隠し部品を取付けるための加工作業です。

1-2 天井材（ダウンライト取付用）



- ①天井材（ダウンライト取付用）を中骨に当てがって、ダウンライトの取付位置と天井材の中骨取付穴位置を確認してください。
- ②上図を参照し、天井材（ダウンライト取付用）をけがいて、φ33の穴加工をしてください。

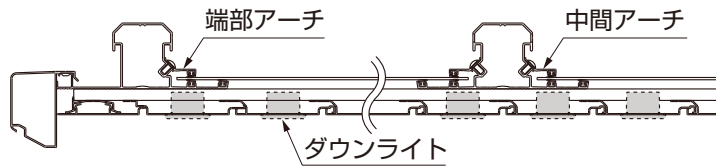
ポイント

- 天井材の中間材もしくは端部中間材へ加工する作業です。

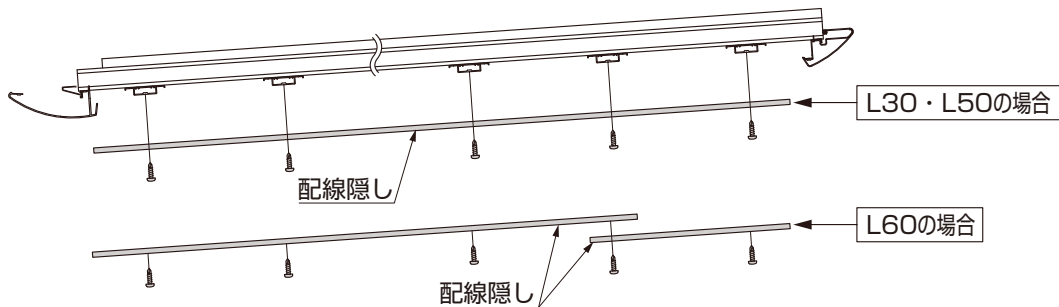
1. (つづき)

1-3 配線隠し (汎用形材・フラットバー) ※配線隠しを取付ける場合のみの作業です。

ポイント



●上図の天井材箇所にダウンライトを取付ける場合、本部品は取付けしません。



●奥行きサイズ、ダウンライト取付け位置により、配線隠しの取付け本数が異なります。

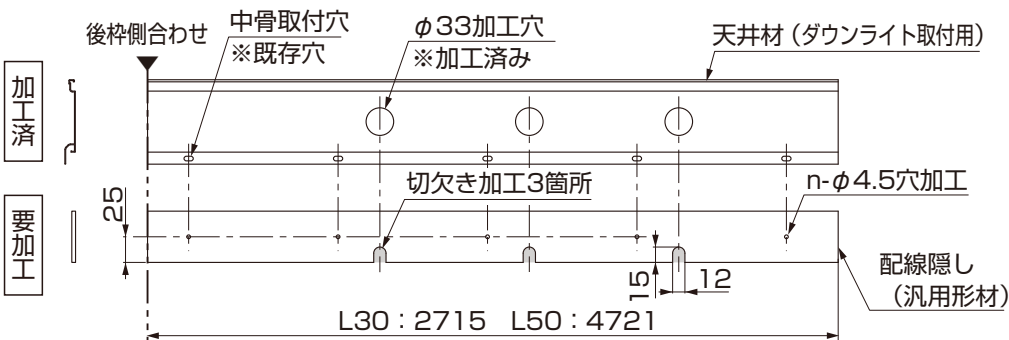


表1-1 穴個数

	n
L30	4
L50	6

図1-1 L30・L50

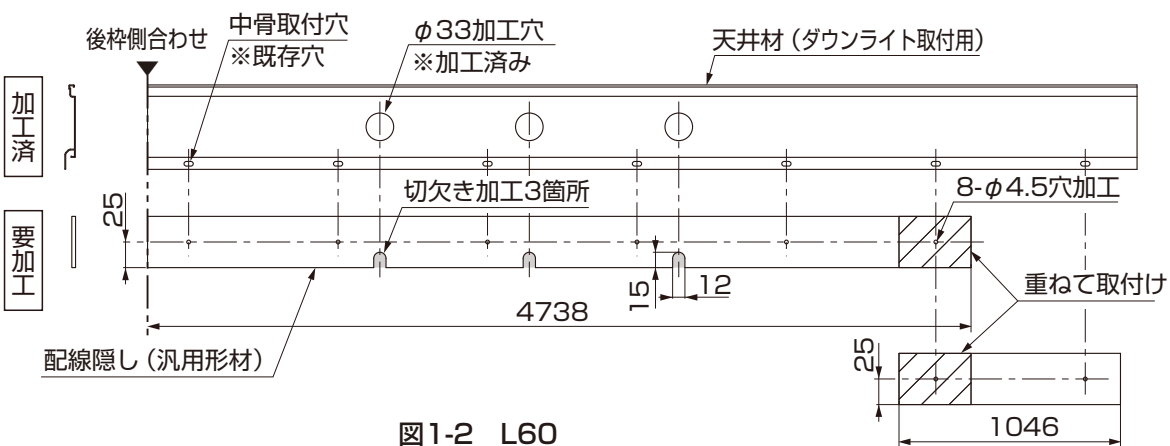


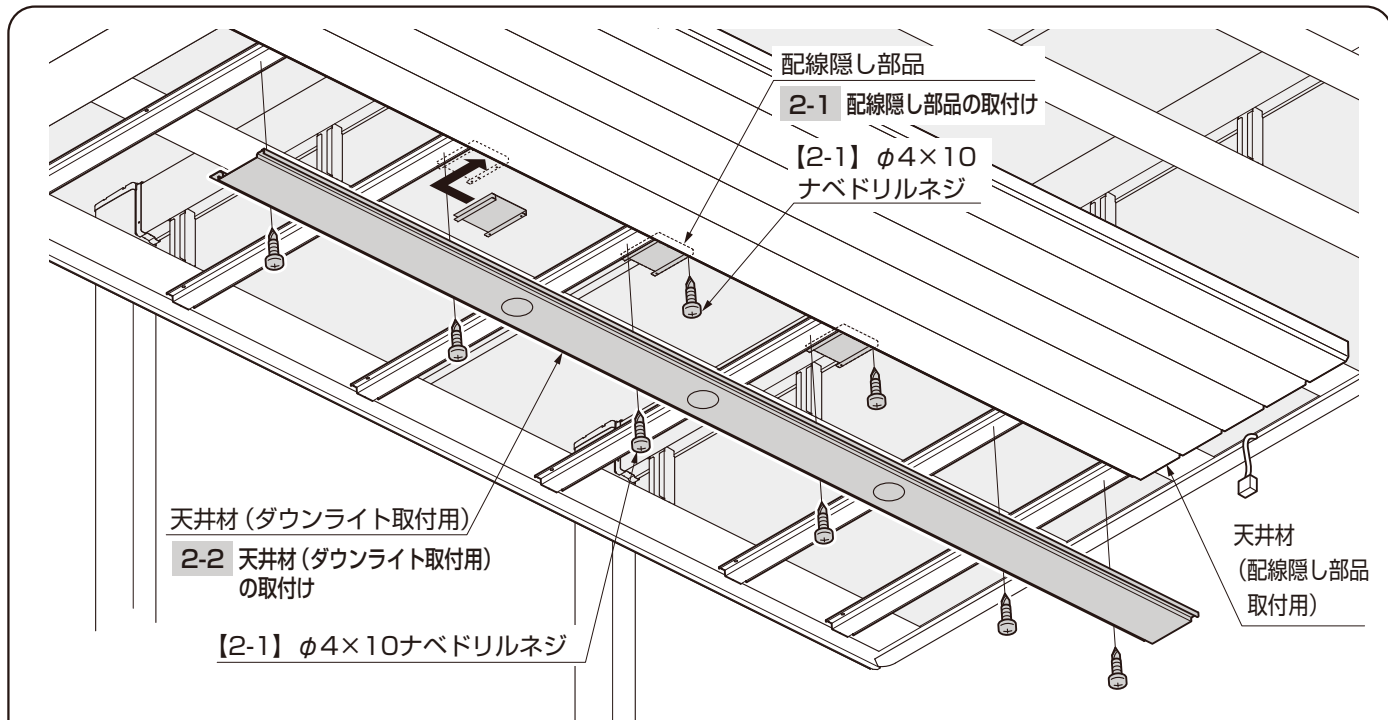
図1-2 L60

- ①天井材 (ダウンライト取付用) の中骨取付穴と同じ位置で、配線隠しにφ4.5の穴加工をしてください。
- ②天井材 (ダウンライト取付用) のφ33加工穴と同じ位置で、配線隠しに切欠き加工をしてください。

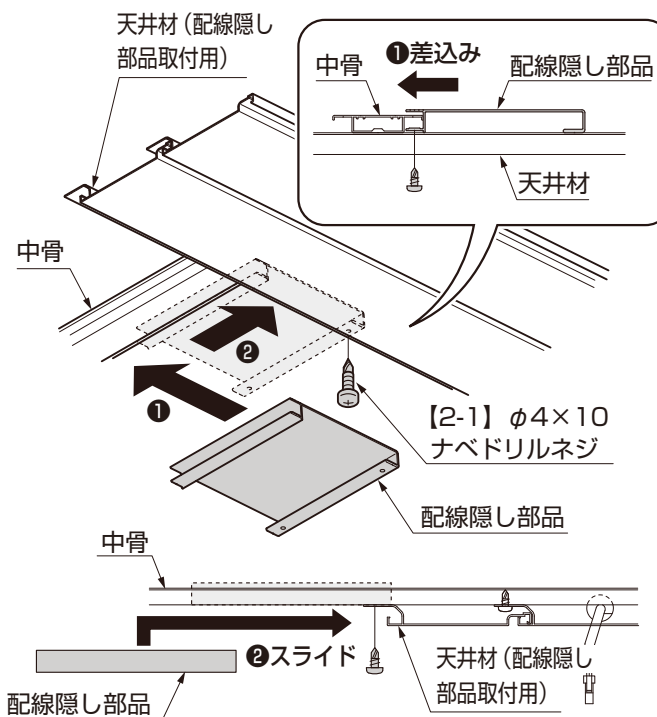
ポイント

●上図はダウンライトを3灯取付ける場合を示します。2灯または1灯の場合、穴加工と切欠きを減らしてください。

2. ダウンライトの取付け



2-1 配線隠し部品の取付け

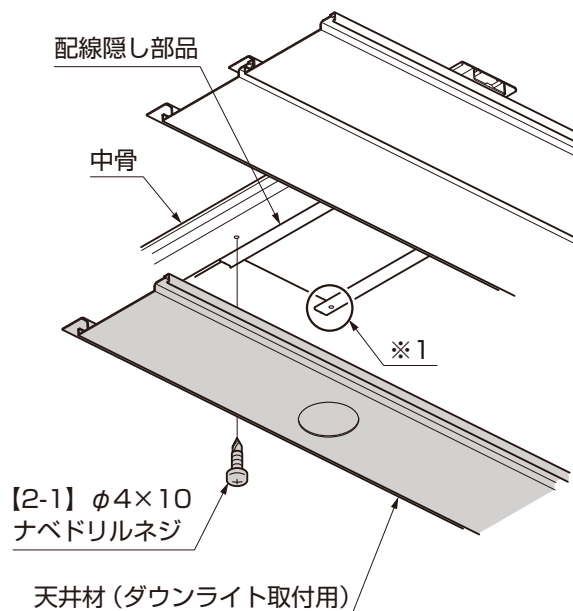


- ①配線隠し部品を中骨に差込んで、天井材(配線隠し部品取付用)へスライドし【2-1】で取付けてください。

ポイント

- 配線隠し部品は、ダウンライトの配線を隠すための部品です。
- 天井材(ダウンライト取付用)の上にアーチがある場合、取付けはしません。

2-2 天井材(ダウンライト取付用)の取付け

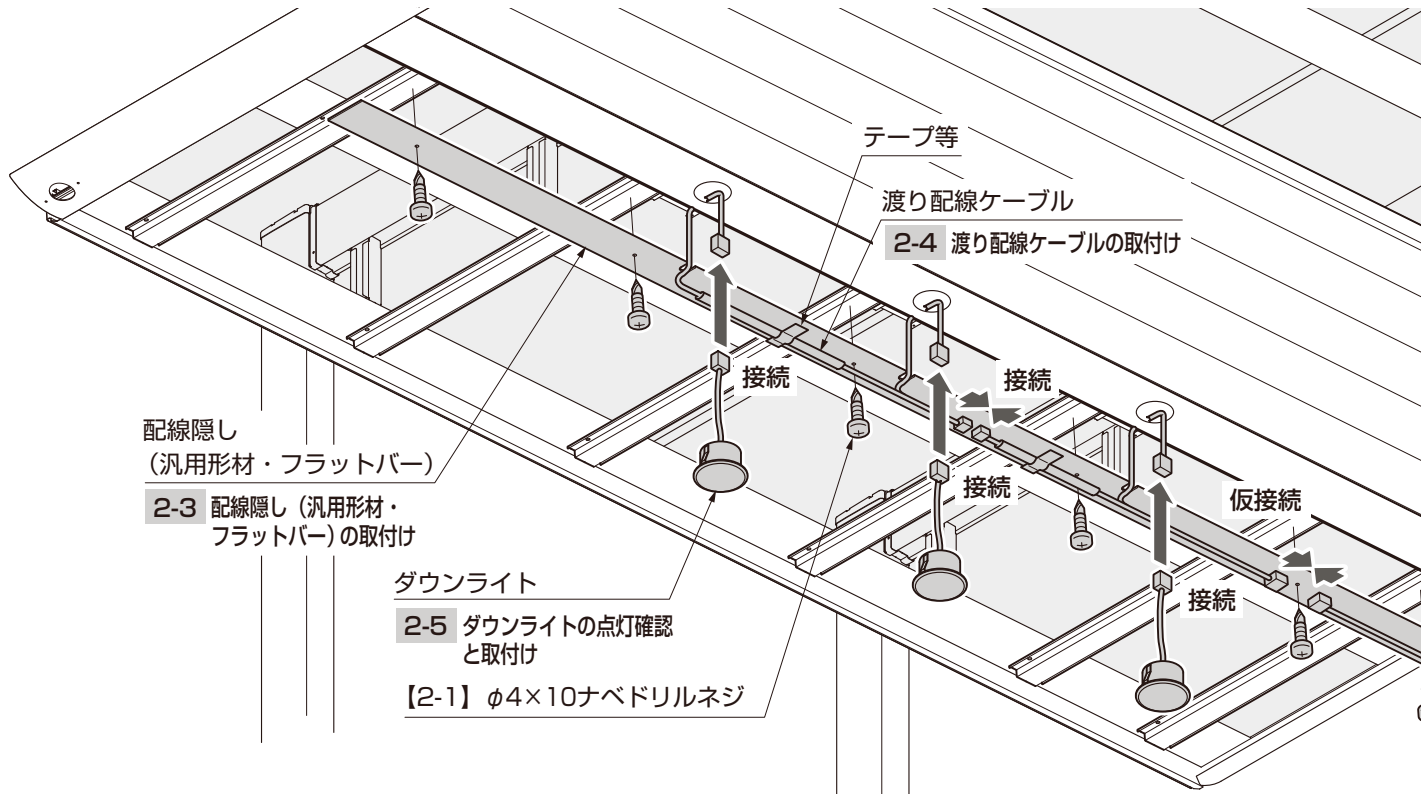


- ①天井材(ダウンライト取付用)を中骨に【2-1】で取付けてください。

ポイント

- ※1の穴は左右勝手の捨て穴です。ネジ止めの必要はありません。

2. (つづき)

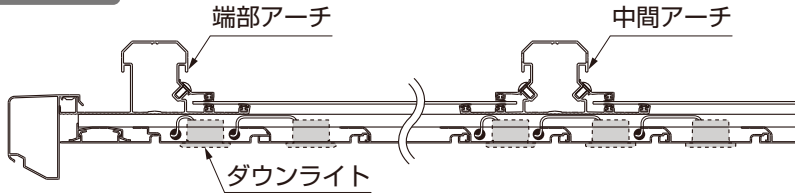


配線隠し
(汎用形材・フラットバー)
2-3 配線隠し (汎用形材・
フラットバー) の取付け

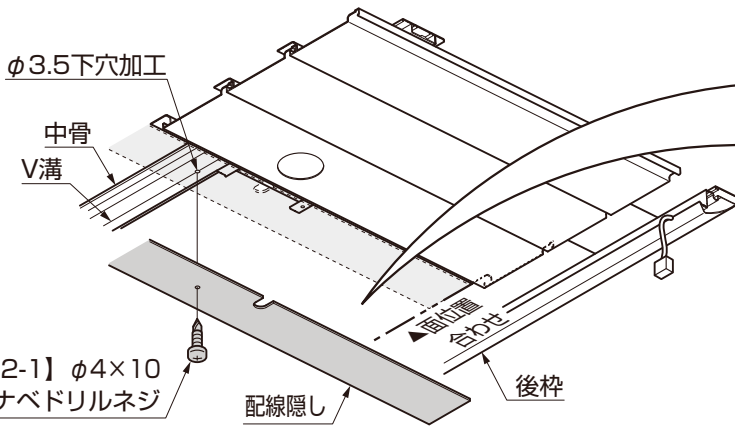
ダウンライト
2-5 ダウンライトの点灯確認
と取付け
【2-1】 $\phi 4 \times 10$ ナベドリルネジ

2-3 配線隠し (汎用形材・フラットバー) の取付け

ポイント



●左図の天井材箇所にダウンライトを取付ける場合、本部品は取付けしません。配線は左図の「●」位置で沿わせてください。



【2-1】 $\phi 4 \times 10$
ナベドリルネジ

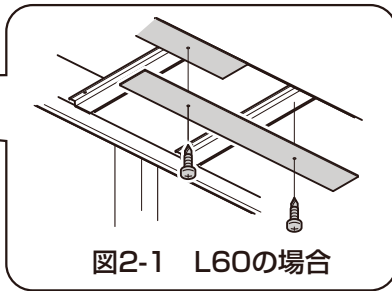
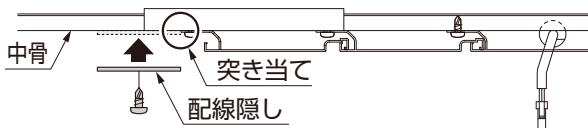


図2-1 L60の場合

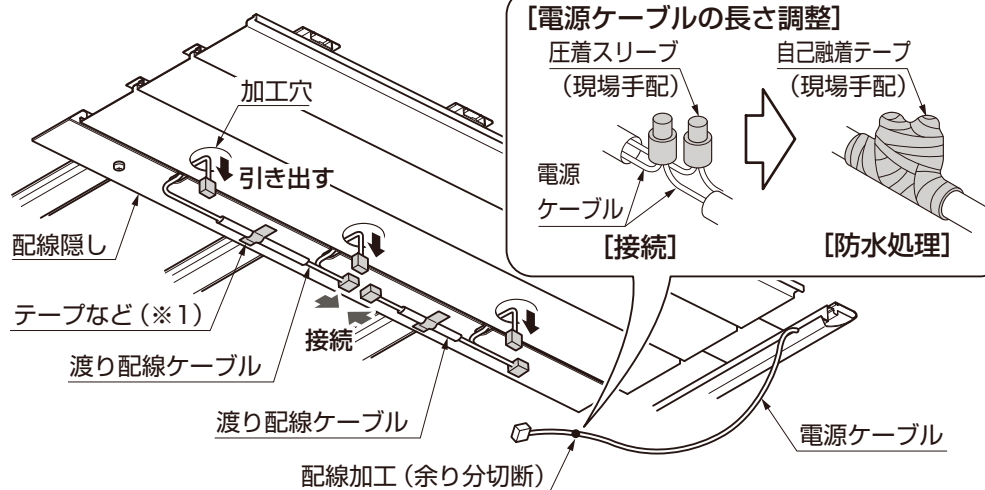
- ①中骨に $\phi 3.5$ の穴加工をしてください。
- ②配線隠しを中骨に【2-1】で取付けてください。

ポイント

●天井材の小口(後枠側)と面位置合わせで取付けてください。



2-4 渡り配線ケーブルの取付け



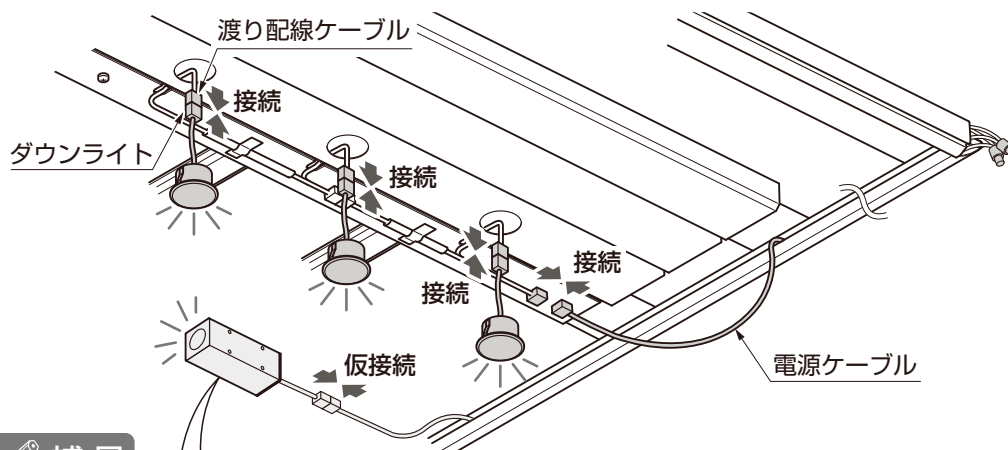
① 渡り配線ケーブル同士を接続してください。

ポイント

● 渡り配線ケーブルは、配線隠しまたはアーチ下面にテープなど(※1)で固定してください。テープは施工後はがれても問題ありません。

② 渡り配線ケーブルを配線隠しの切欠きに通し、天井材(ダウンライト取付用)の加工穴より引き出してください。

2-5 ダウンライトの点灯確認と取付け



補足

● スリット照明および他の箇所にダウンライトを併設する場合は、これらも仮接続して点灯確認を行なう必要があります。

- ① 渡り配線ケーブルとダウンライトを接続してください。
- ② 渡り配線ケーブルと電源ケーブルを接続してください。
- ③ ダウンライトの点灯確認を行なってください。
- ④ ダウンライトを天井材にはめ込んでください。

ポイント

- ここで、点灯確認を行なうと接触不良などの修正作業がしやすくなります。
- 渡り配線ケーブルの接続部を、天井材の加工穴より引き出してから、ダウンライトを接続してください。メンテナンスの際に、接続部が取り出せなくなる場合があります。
- 接続するコネクタは確実に差込んでください。

2. (つづき)

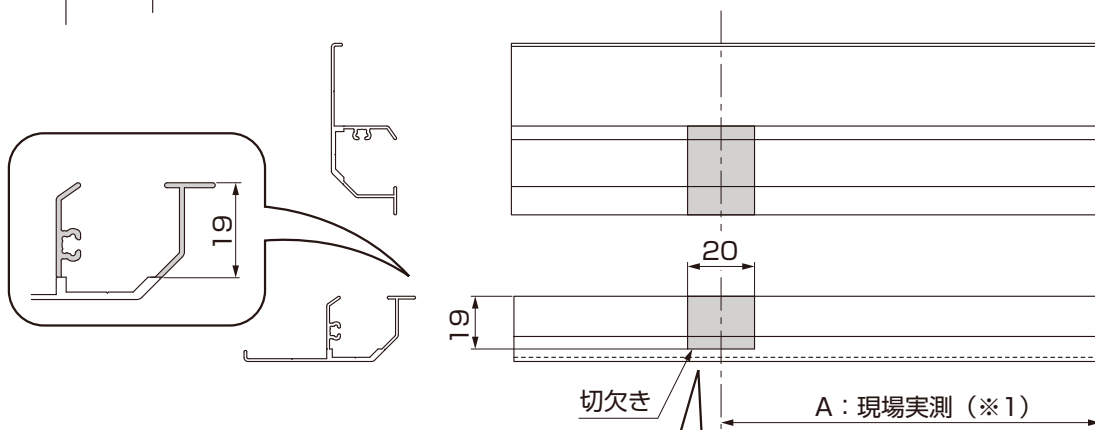
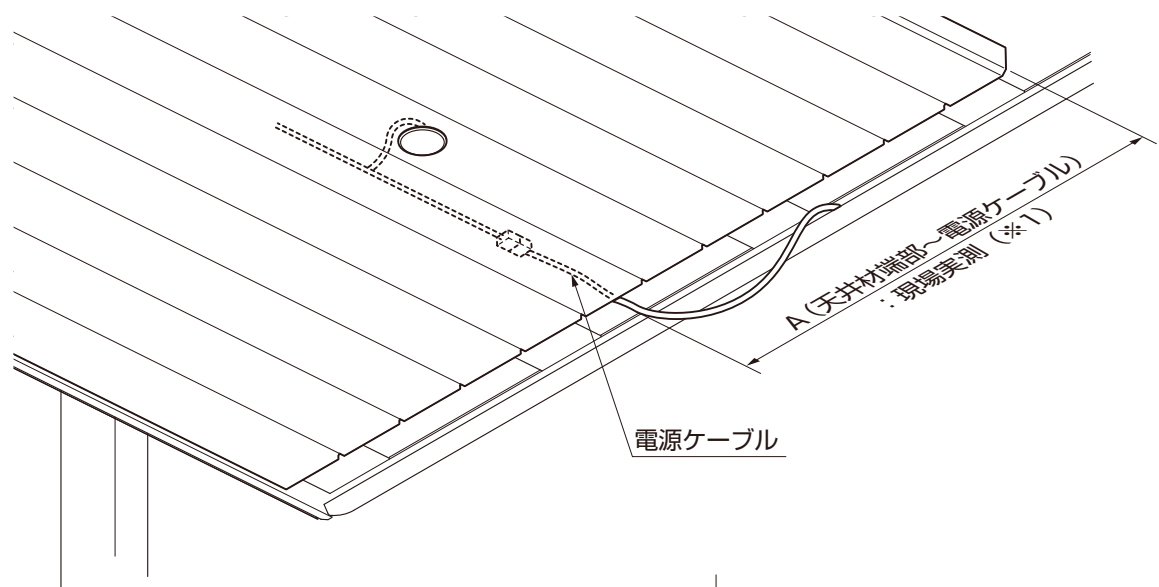
2-6 次列以降 天井材の取付け

ポイント

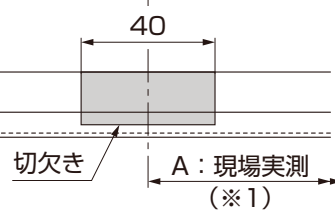
- 以降の天井材の取付けは「アーキフィールド - 本体編 - 取付説明書 (D556)」を参照して行ってください。

3. 後端部カバーの取付け

3-1 後端部カバー受け材の加工



【天井納まり スリット照明と
ダウンライトを併用する場合】

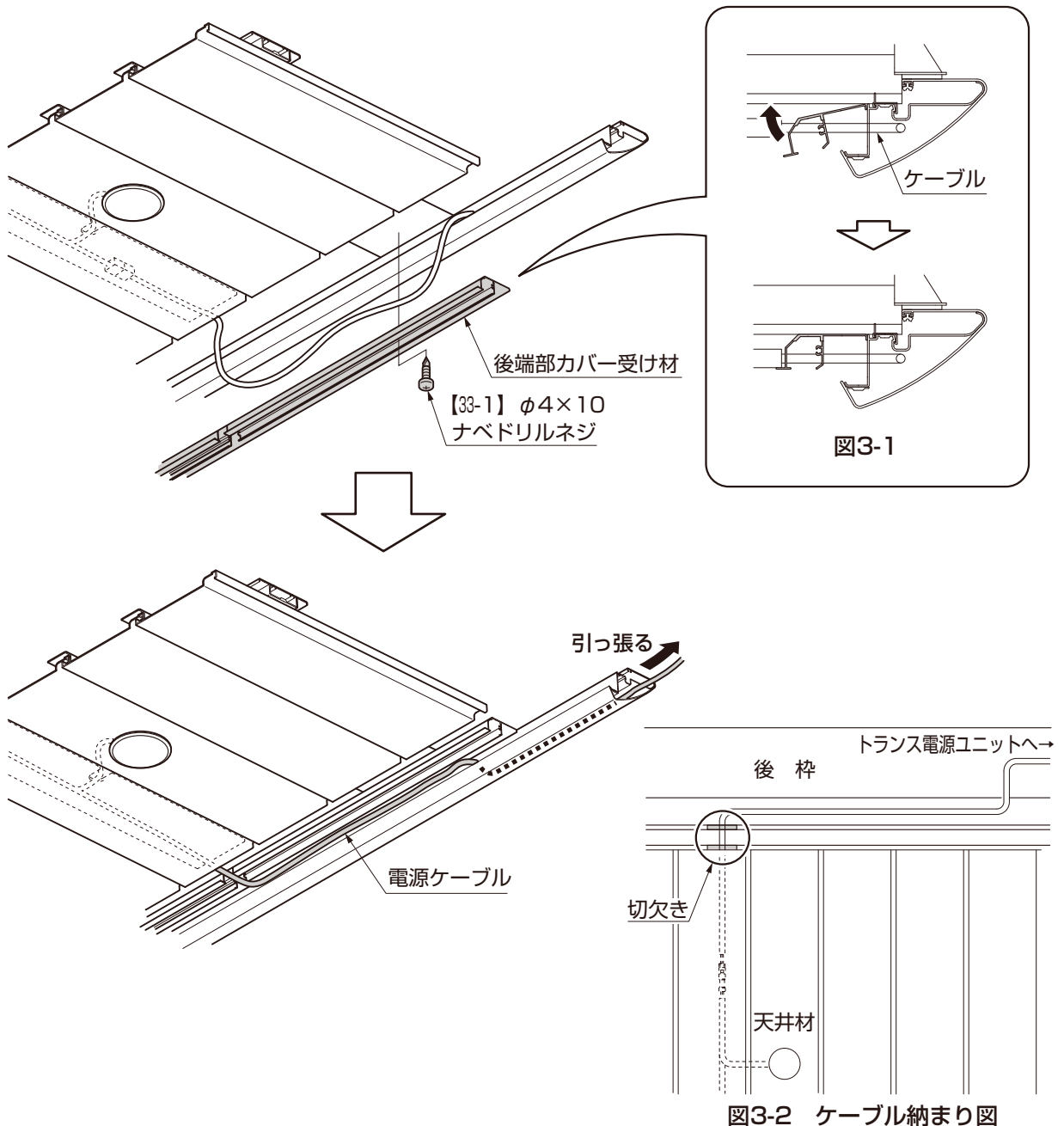


- ①天井材端部～電源ケーブルまでを現場実測 (*1) してください。
- ②電源ケーブルを通す切欠き加工を、後端部カバー受け材にしてください。

3-2 後端部カバー受け材の取付け

ポイント

- 取付ネジは、本体に同梱の「【33】天井部品セット」のネジを使用してください。



- ①後端部カバー受け材をアーチに【33-1】で取付けてください。

ポイント

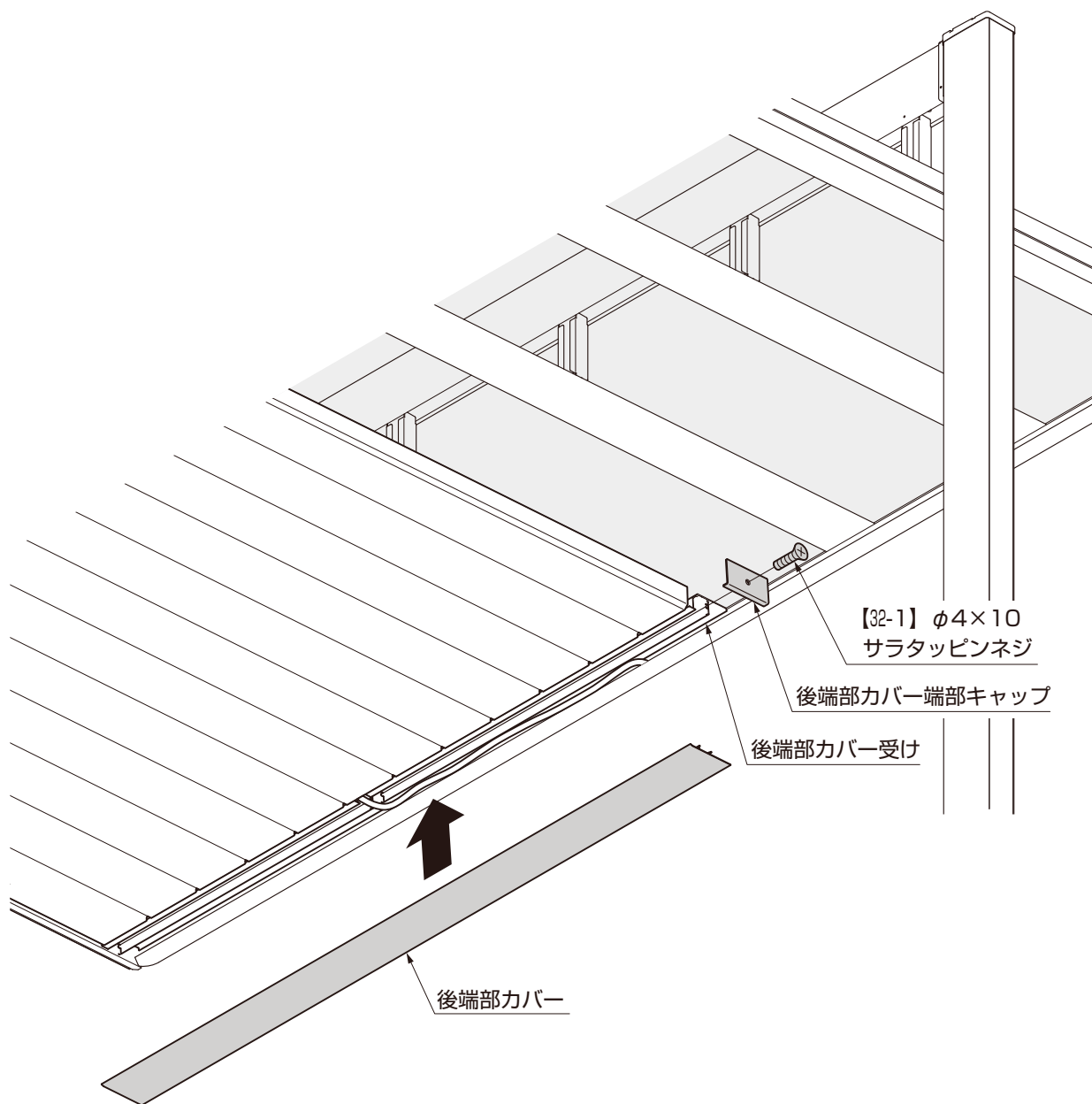
- 後端部カバー受け材の下にケーブルが通るように取付けてください。(図3-1参照)
- ケーブルがたるんでいる場合、後枠コーナー部よりケーブルを引っ張ってください。
- 後枠コーナー部で余ったケーブルは切断・結線してください。(P.32参照)

3. (つづき)

3-3 後端部カバーの取付け

ポイント

- 取付ネジは、本体に同梱の「【32】天井後端材セット」のネジを使用してください。



- ①ケーブルを後端部カバー受けに押し入れ、後端部カバーをはめ込んでください。

ポイント

- ケーブルをはさまないようにはめてください。

- ②後端部カバー端部キャップを後端部カバー受け材に【32-1】で取付けてください。

11 天井納まり スリット照明の施工

1. 部材の加工

ポイント

●照明の取付位置（ライト点灯方向）、スリットの向き（照射方向）を確認してから加工を行なってください。

1-1 スリット照明枠 ※図は水上側照明-右照射と水下側照明-左照射を示します。

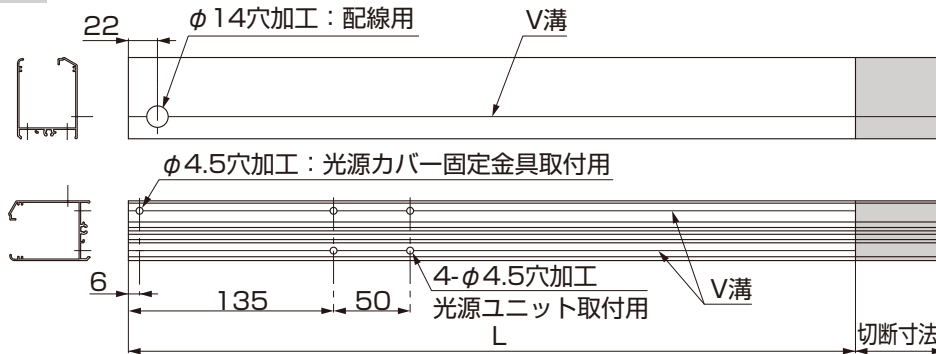


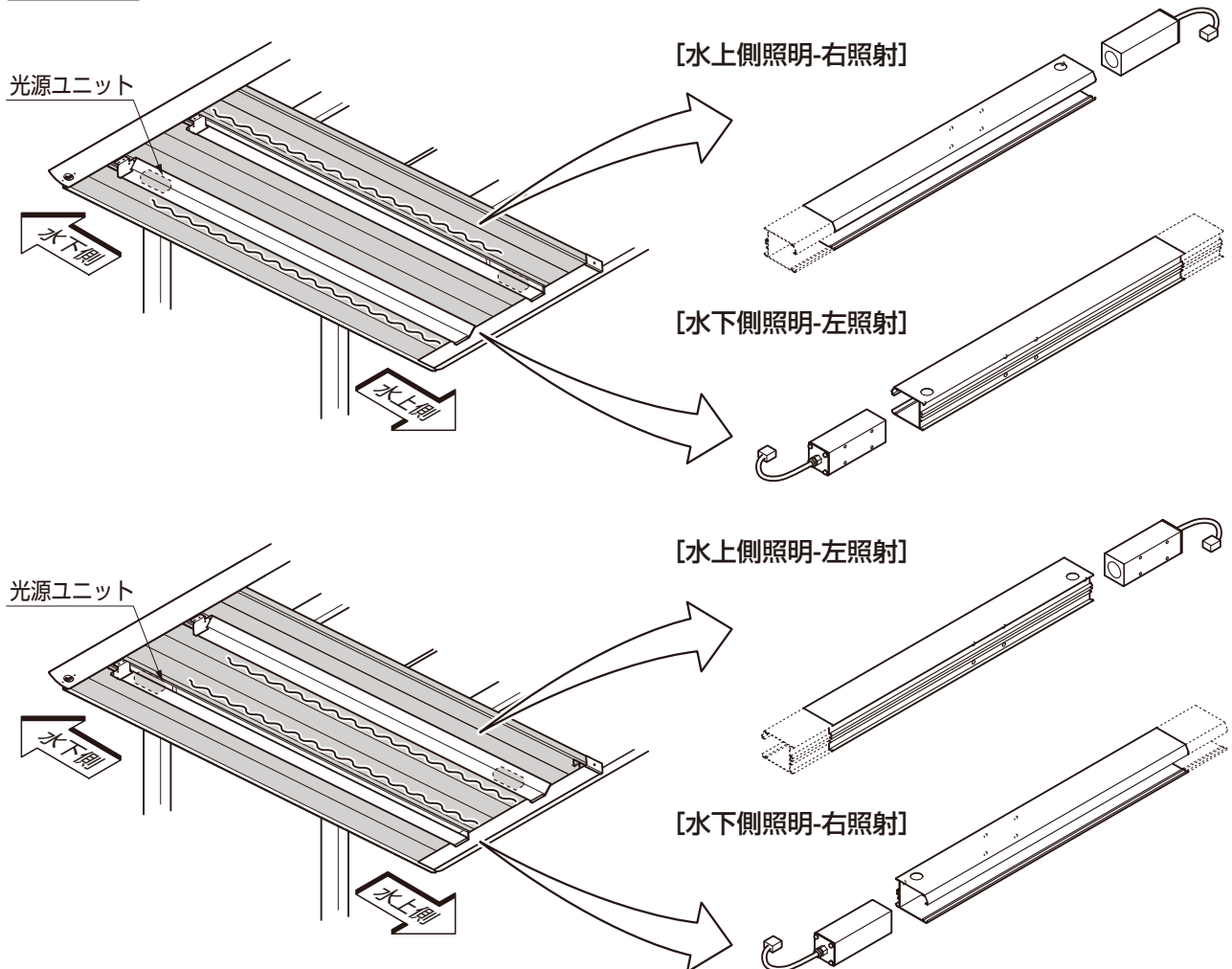
表1-1

	L寸法	切断寸法
L30	2654	30
L50	4660	1033
L60	5663	30

図1-1

①スリット照明枠を加工してください。

ポイント



●水上側照明-左照射と水下側照明-右照射の場合は、図1-1と左右対称加工になります。

1. (つづき)

1-2 スリット照明化粧材

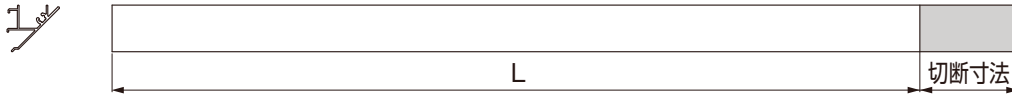


表1-2

	L寸法	切断寸法
L30	2655	30
L50	4661	1033
L60	5664	30

①スリット照明化粧材を加工してください。

1-3 スリット照明取付枠（天井材用） ※図は天井材貼付けパターンA・Bの場合を示します。

(1) L30・L60の場合

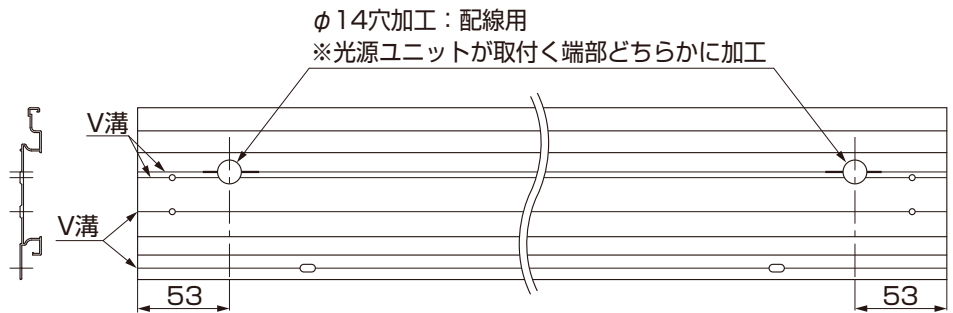
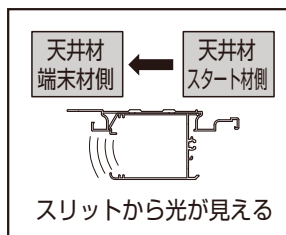


図1-2 スリットの向き（照射方向）：左照射

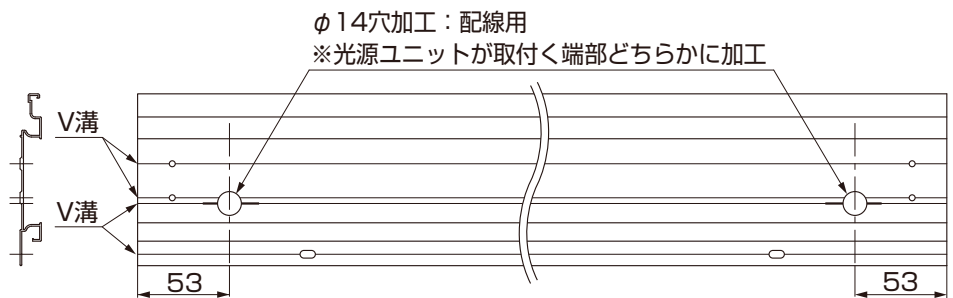
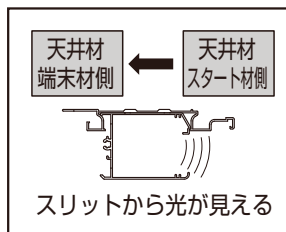


図1-3 スリットの向き（照射方向）：右照射

①スリット照明取付枠（天井材用）を加工してください。

ポイント

- φ14穴加工は「光源ユニットが取付く端部側」への加工となります。
- φ14穴加工はスリットの向き（照射方向）により、加工をするV溝位置が変わります。
- 天井材貼付けパターンCの場合、左右対称加工となります。右照射は図1-2、左照射は図1-3を参照してください。

(2) L50の場合

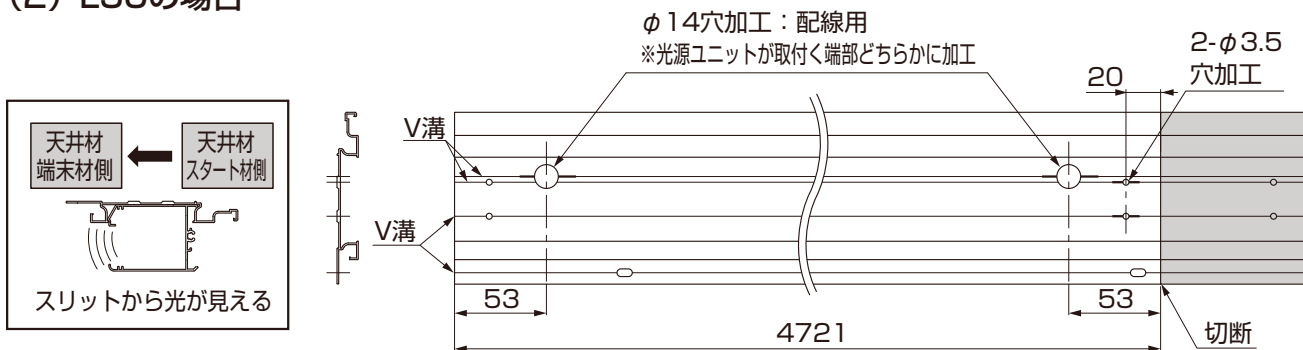


図1-4 スリットの向き(照射方向)：左照射

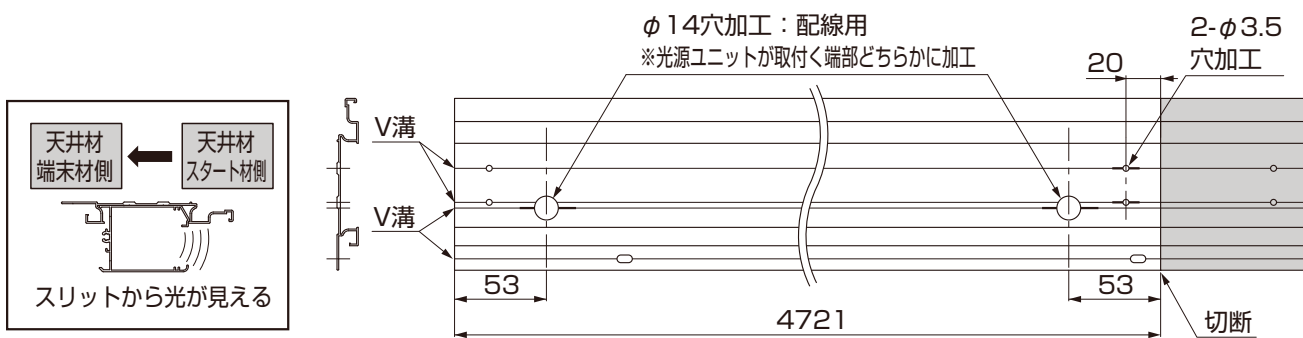


図1-5 スリットの向き(照射方向)：右照射

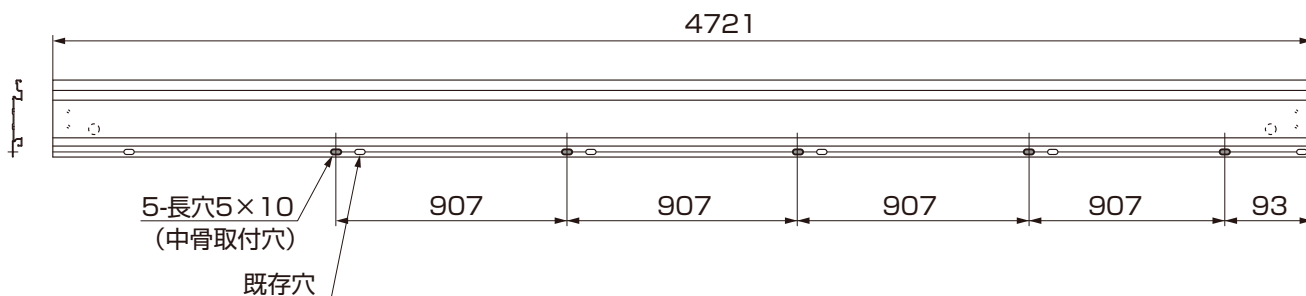


図1-6 長穴5×10(中骨取付穴)の加工

①スリット照明取付枠(天井材用)を加工してください。(図1-4、図1-5参照)

ポイント

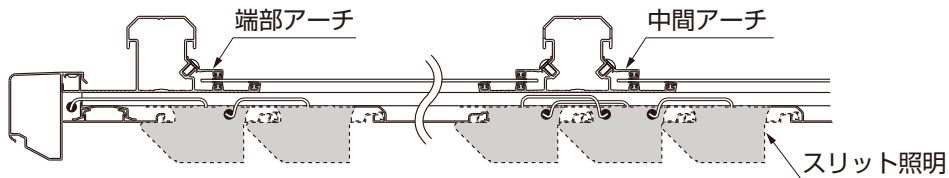
- φ14穴加工は「光源ユニットが取付く端部側」への加工となります。
- φ14穴加工はスリットの向き(照射方向)により、加工をするV溝位置が変わります。
- 天井材貼付けパターンCの場合、左右対称加工となります。右照射は図1-4、左照射は図1-5を参照してください。

②長穴5×10(中骨取付穴)をあけてください。(図1-6参照)

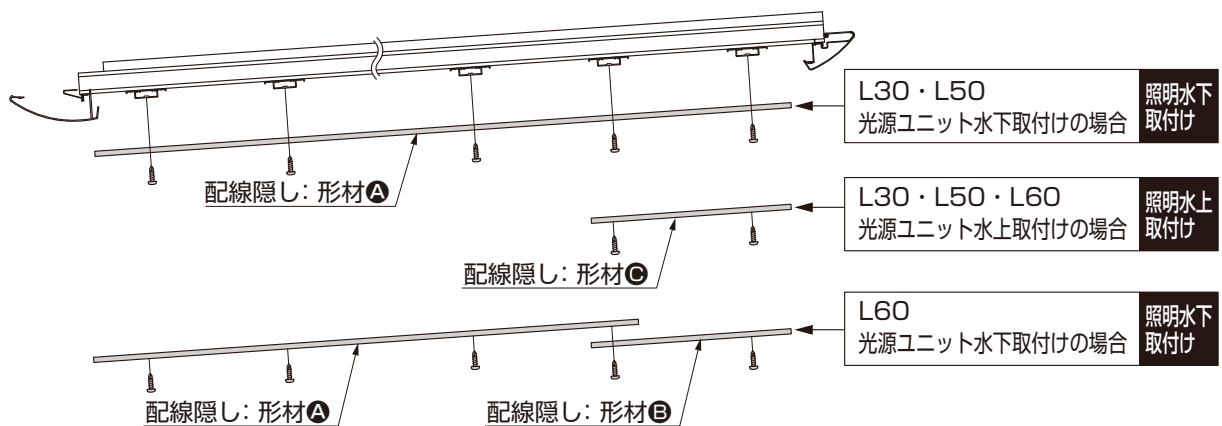
1. (つづき)

1-4 配線隠し (汎用形材・フラットバー) ※配線隠しを取付ける場合のみの作業です。

ポイント



- 上図の天井材箇所にスリット照明を取付ける場合、本部品は取付けしません。配線は左図の「●」位置で沿わせてください。



- 奥行きサイズ、光源ユニット取付け位置により、配線隠しの取付け本数と加工が異なります。

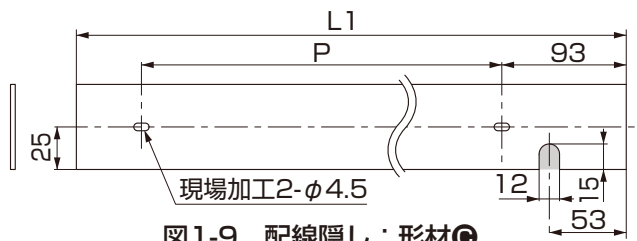
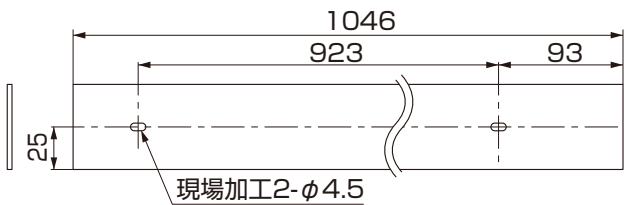
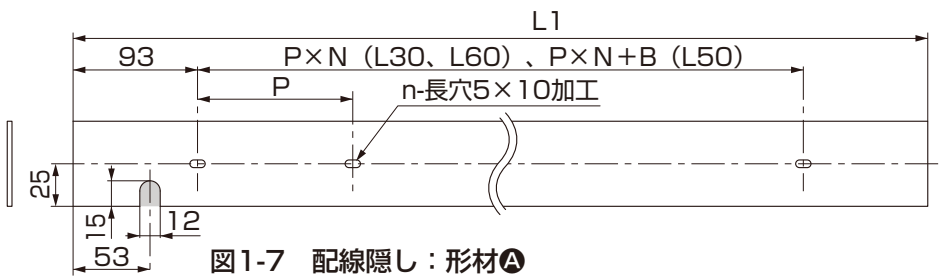


表1-4

	光源ユニット取付け位置	配線隠し取付け本数	呼称	L1	P	N	n
L30	水下	1本	A	2715	843	3	4
	水上	1本	C	966			
L50	水下	1本	A	4721	907	5	6
	水上	1本	C	1030			
L60	水下	2本	A	4738	923	5	6
	水上	1本	C	1046			

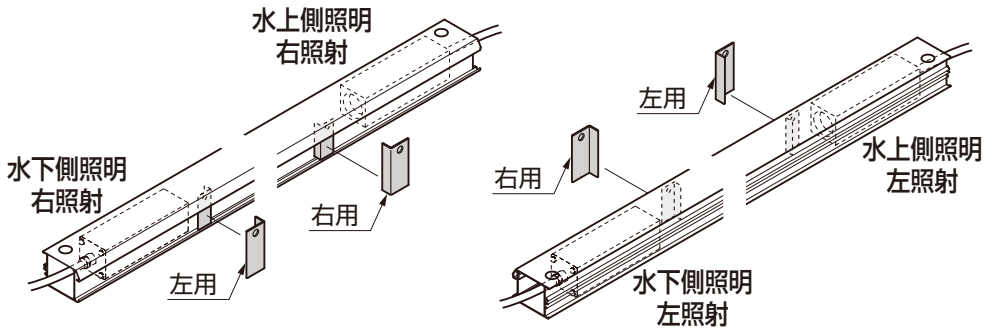
- ①配線隠し (汎用形材・フラットバー) を加工してください。

ポイント

- 切欠き加工は、スリット照明取付け枠のφ14加工穴と同じ位置です。

2. 照明枠の組立て（天井納まり、アーチ納まり共通）

ポイント



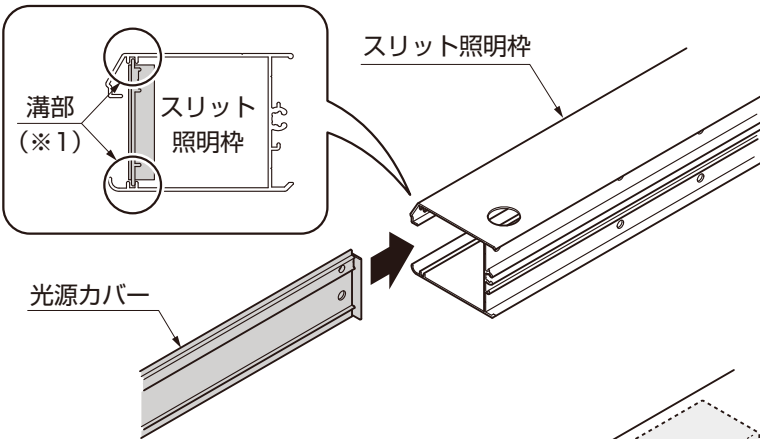
●光源カバー端部材は、照明取付位置、照射方向により取付けの向きが異なります。

【4-1】、【5-1】 $\phi 4 \times 8$
ナベタッピンネジ3種

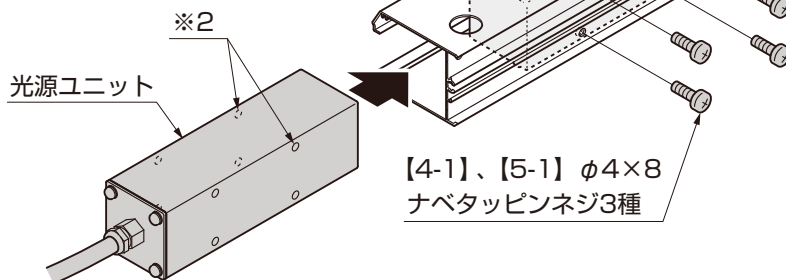
光源カバー端部材

光源カバー

- ① 光源カバー端部材を光源カバーに【4-1】、【5-1】で取付けてください。



- ③ 光源カバーをスリット照明枠の溝部(※1)に挿入してください。

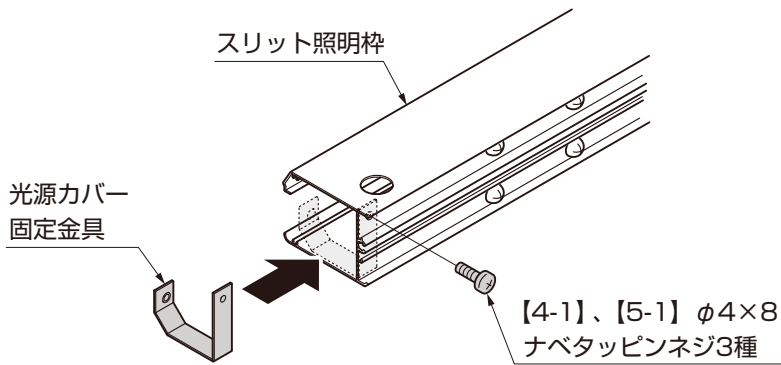


- ④ 光源ユニットをスリット照明枠に挿入し、【4-1】、【5-1】で取付けてください。

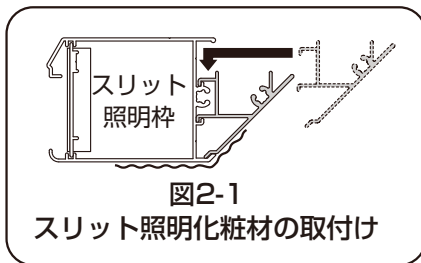
ポイント

●光源ユニットの固定穴(※2)は両側面にあいているので、水上、水下どちらでも取付可能です。

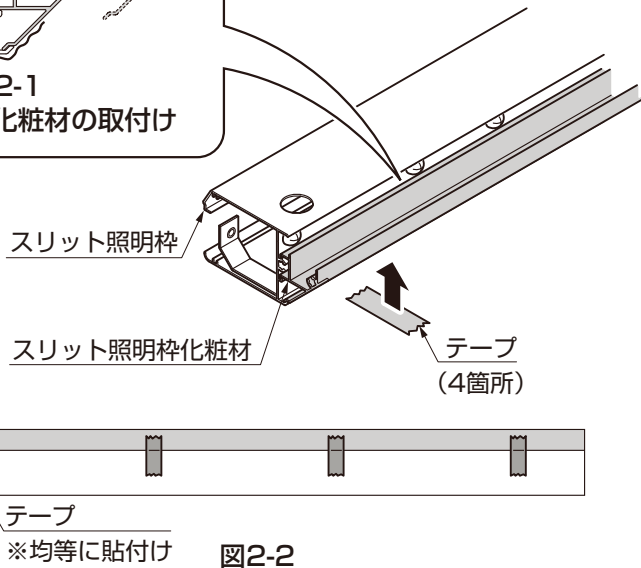
2. (つづき)



⑤光源カバー固定金具をスリット照明枠に【4-1】、【5-1】で取付けてください。



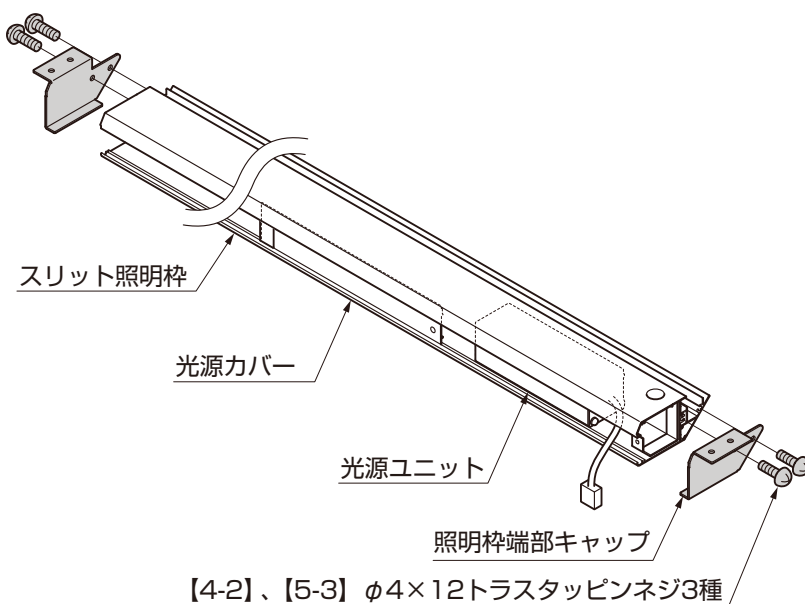
⑥スリット照明化粧材をスリット照明枠にはめ込んでください。



⑦スリット照明枠とスリット照明化粧材を、テープで4箇所仮止めしてください。

補足

●天井材に固定するまでのズレ防止のための仮止めです。天井材に取付け後、テープは剥がしてください。



⑧照明枠端部キャップをスリット照明枠両端に【4-2】、【5-3】で取付けてください。

ポイント

●光源ユニットのコンネクターはスリット側に出しておいてください。

3. スリット照明の取付け

ポイント

●「アーキフィールドー本体編ー 取付説明書 (D556)」を参照して、天井材の取付けと同時に作業を行なってください。

3-1 スリット照明取付枠 (天井材用) の取付け

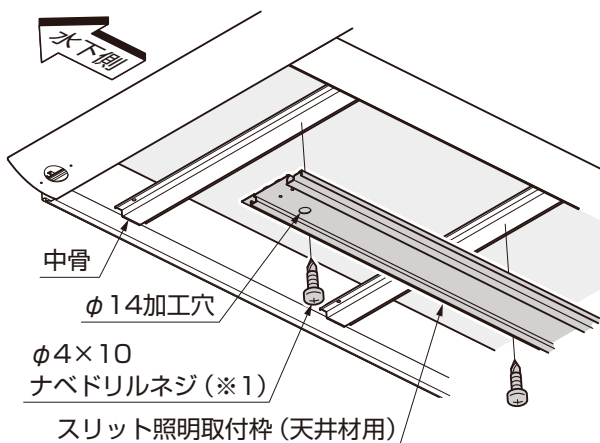
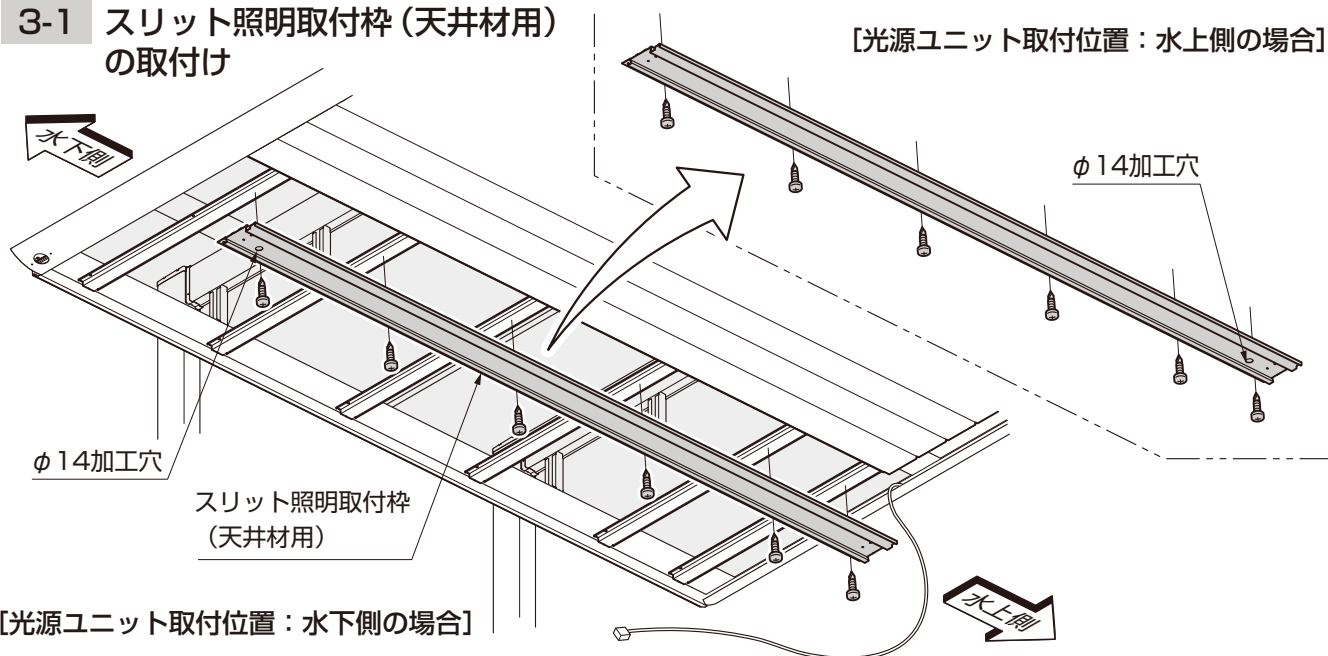


図3-1 光源ユニット取付位置：水下側の場合

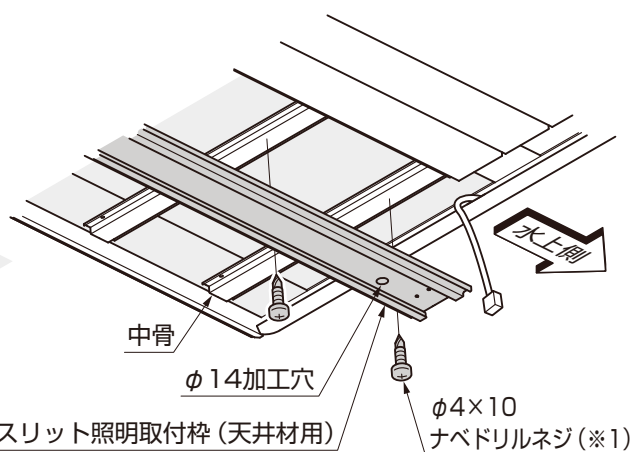


図3-2 光源ユニット取付位置：水上側の場合

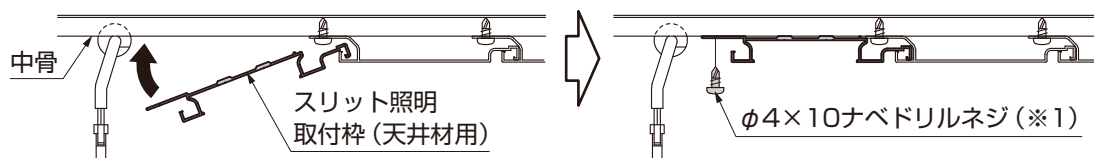


図3-3

①スリット照明取付枠 (天井材用) を回転させて、前枠側にスライドして突き当て、中骨に「φ4×10ナベドリルネジ」で取付けてください。

ポイント

- スリット照明の取付列に天井材のかわりにスリット照明取付枠 (天井材用) を取付けます。
- φ14の穴加工した端部が光源ユニット取付側になります。
- ※1は「アーキフィールドー本体編 (D556)」に記載されている「【33】天井部品セット」のネジを使用してください。

3. (つづき)

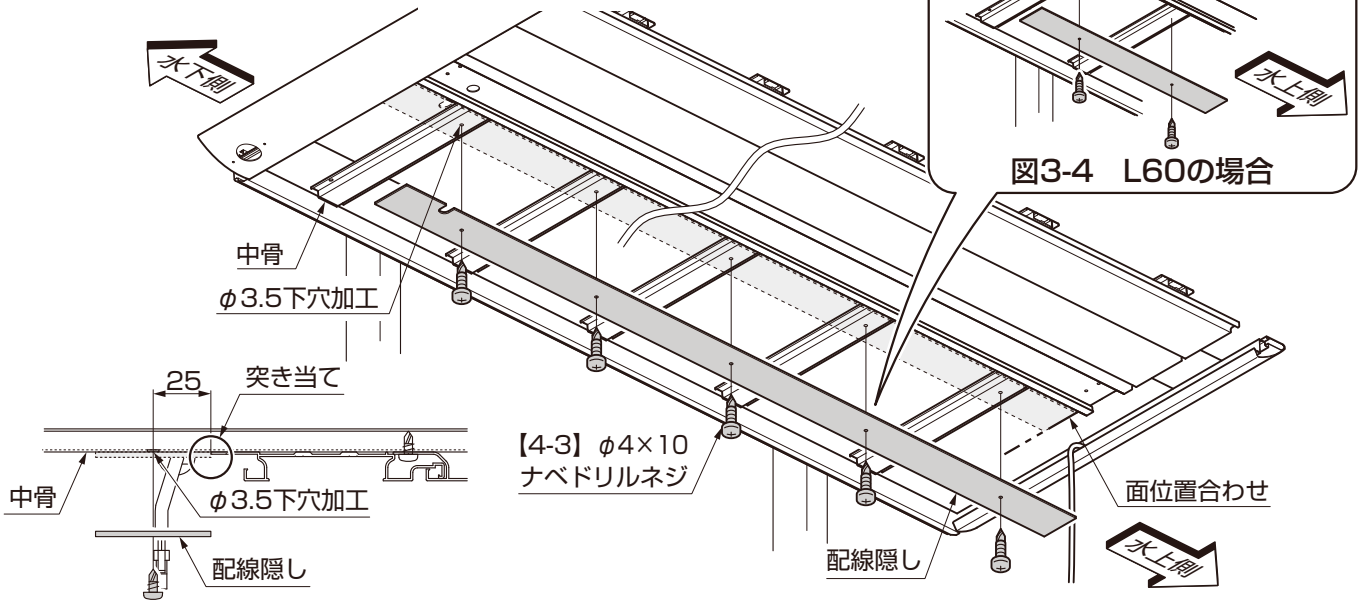
3-2 配線隠し（汎用形材・フラットバー）の取付け

ポイント

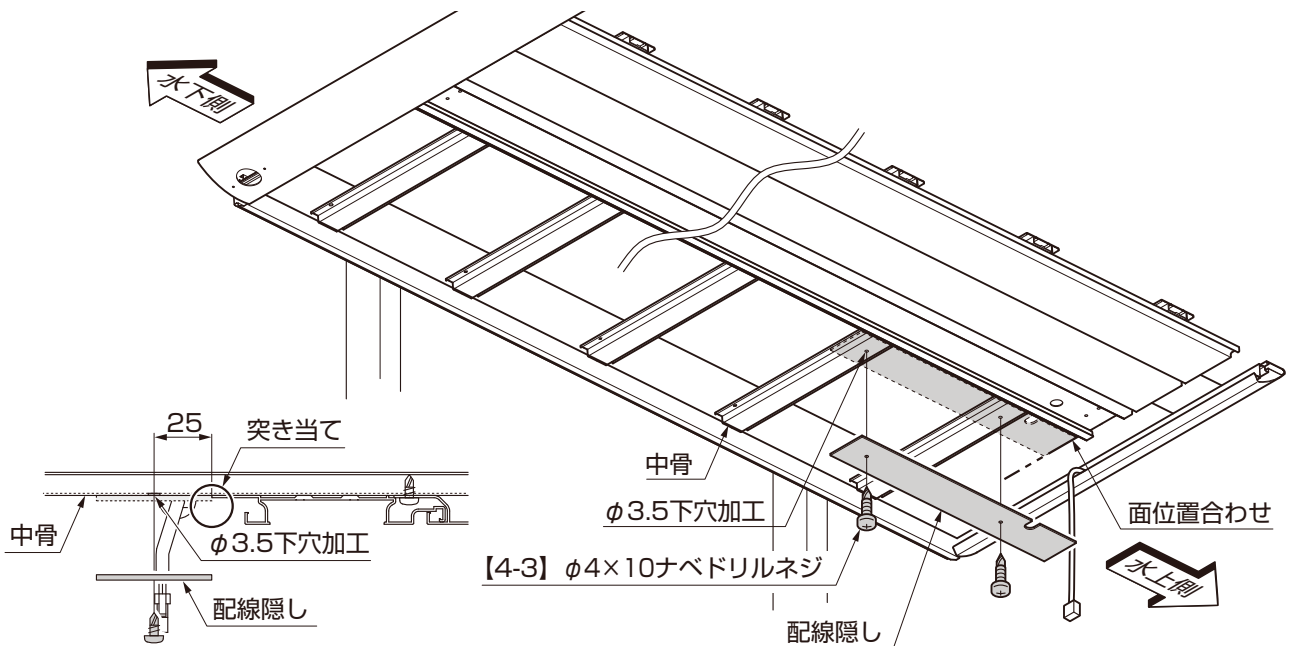
●配線隠し（汎用形材・フラットバー）が不要となる場合はP.10を参照ください。

(1) 配線隠しの取付け

[光源ユニット取付位置：水下側の場合]



[光源ユニット取付位置：水上側の場合]

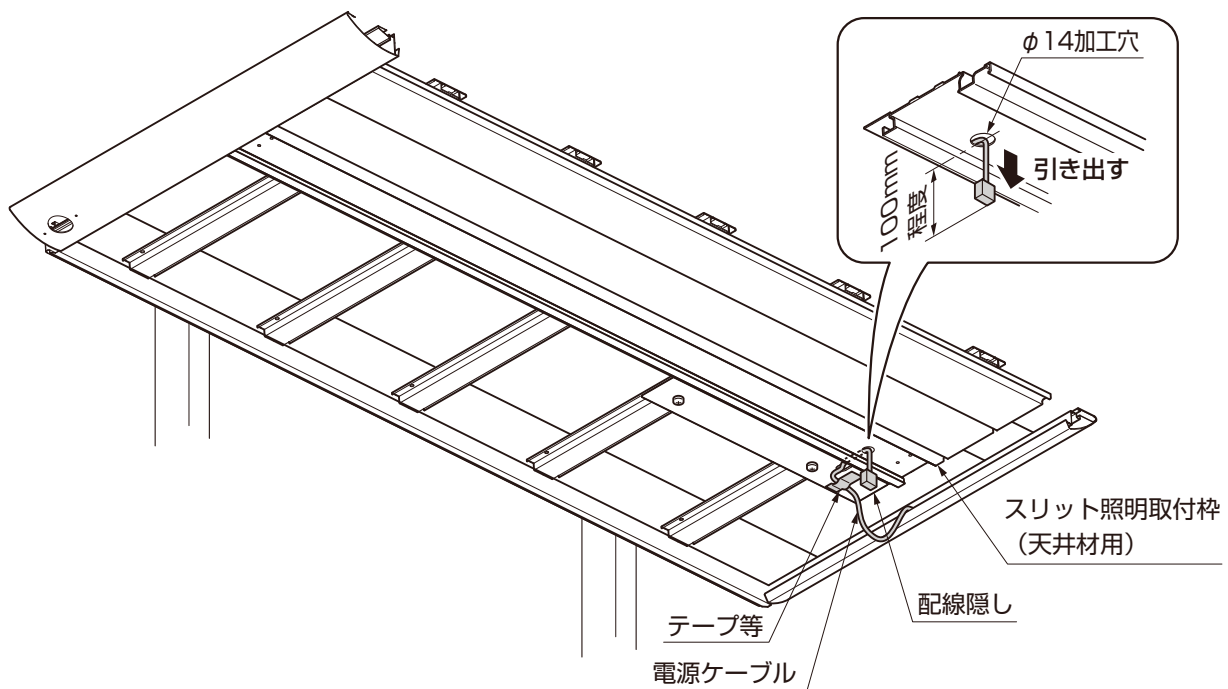
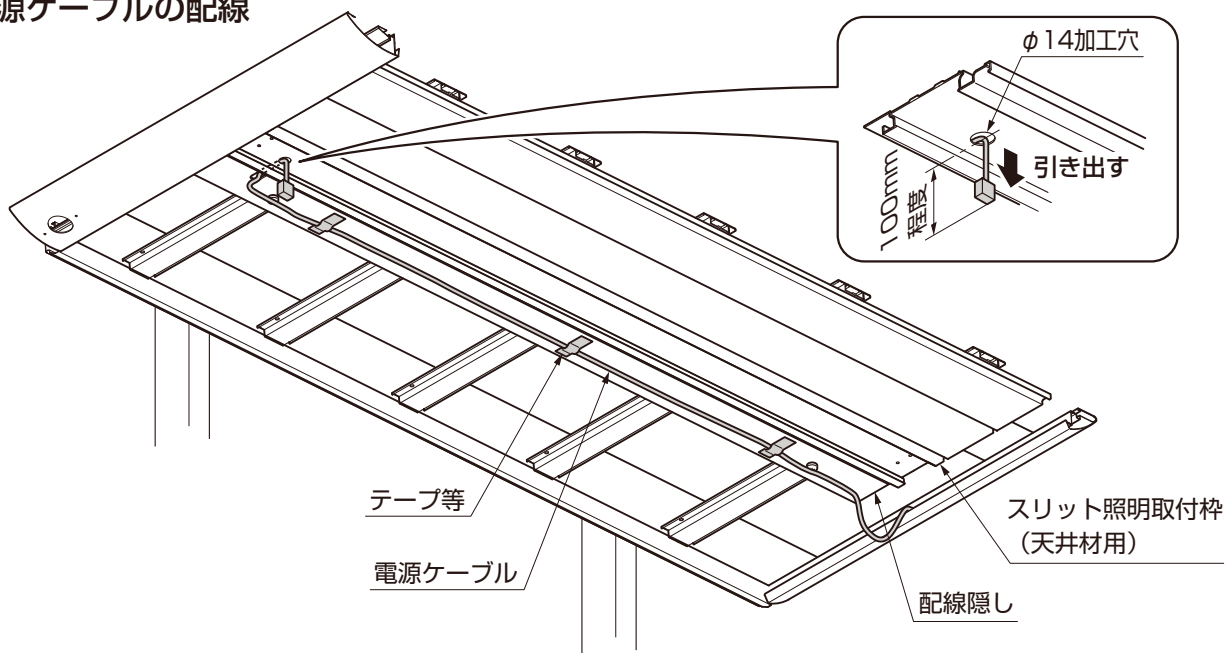


- ①配線隠しを中骨に仮当てし、φ3.5の下穴加工をしてください。
- ②配線隠しを中骨に【4-3】で取付けてください。

ポイント

●後枠側天井材と面位置合わせで取付けてください。

(2) 電源ケーブルの配線



①電源ケーブルを配線隠しの切欠きに通し、照明取付枠のφ14の加工穴から100mm程度引き出してください。

ポイント

●電源ケーブルは、配線隠しまたはアーチ下面にテープなどで固定してください。

3. (つづき)

天井材

3-3 天井材の取付け

【33-1】φ4×10
ナベドリルネジ

【4-2】φ4×12
トラスタッピンネジ3種

光源ユニット

光源カバー

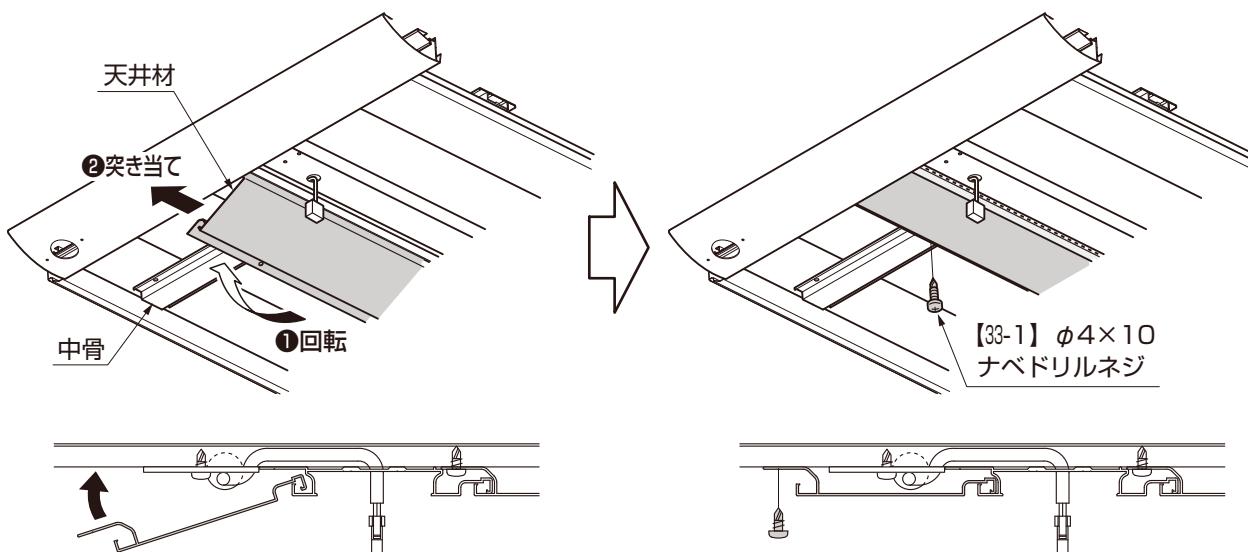
スリット照明枠

3-4 スリット照明枠の取付け

3-3 天井材の取付け

ポイント

●取付ネジは、本体に同梱の「【33】天井部品セット」のネジを使用してください。

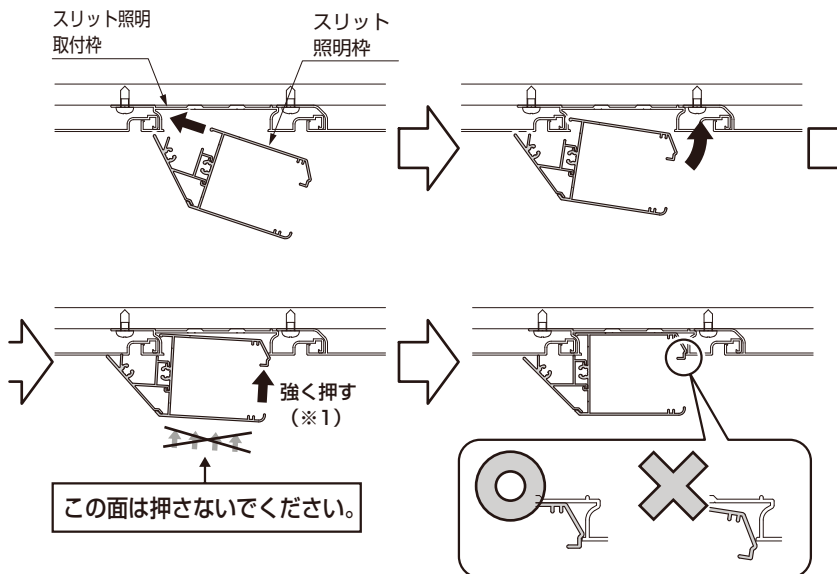
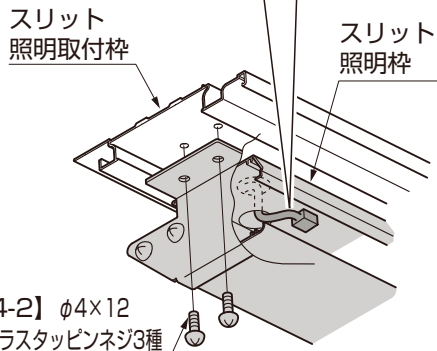


①天井材を中骨に【33-1】で取付けてください。

3-4 スリット照明枠の取付け

ポイント

- 照明枠のφ14の加工穴に電源ケーブルを通してください。

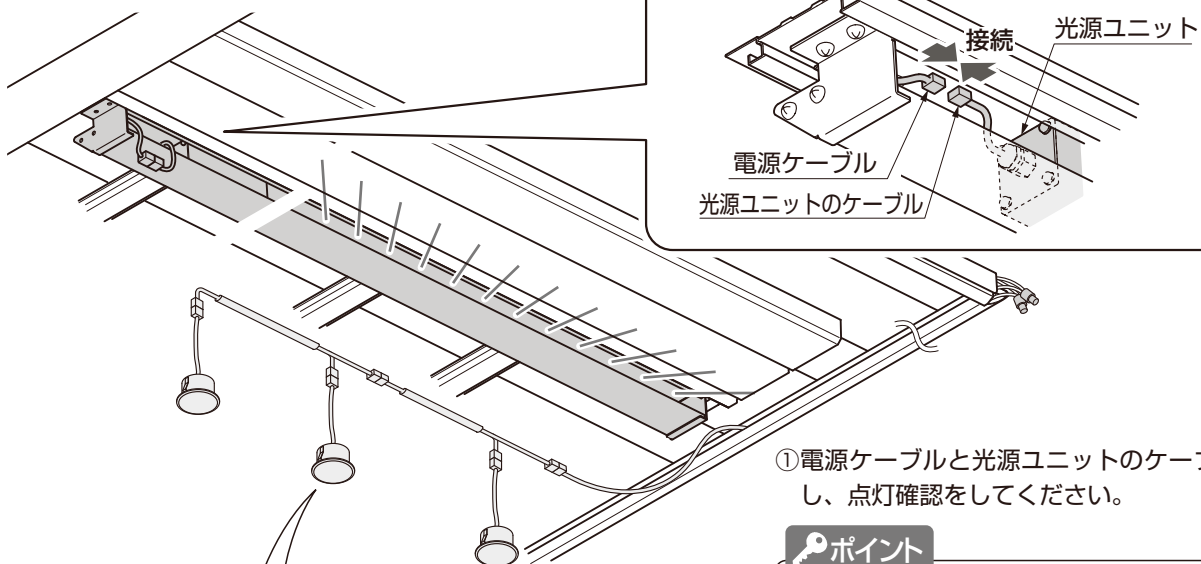


- ①スリット照明枠をスリット照明取付枠に、電源ケーブルを通しながら回転してはめ込んでください。
- ②スリット照明枠をスリット照明取付枠に【4-2】で固定してください。

補足

- スリット照明枠を強く押す際には、かたい板などを添えて押し込むと、組み付けやすくなります。(※1参照)

3-5 スリット照明の点灯確認



- ①電源ケーブルと光源ユニットのケーブルを接続し、点灯確認をしてください。

ポイント

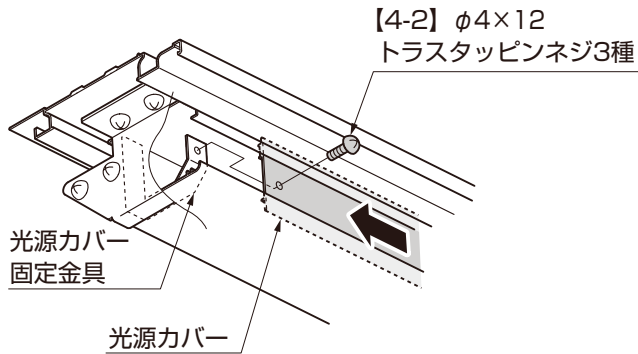
- ここで、点灯確認を行なうと接触不良などの修正作業がしやすくなります。
- 電源ケーブルをスリット照明枠の中まで引出して、ケーブルの長さに余裕をもって配線してください。メンテナンスの際に、接続部が取り出せなくなる場合があります。
- 接続するコネクターは確実に差込んでください。

補足

- ダウンライト照明および他の箇所にスリット照明を併設する場合は、これらも仮接続して点灯確認をおこなう必要があります。

3. (つづき)

3-6 光源カバーの取付け



- ①照明枠へケーブルを納め、光源カバーをスライドさせて光源カバー固定金具に【4-2】で固定してください。

3-7 次列以降 天井材の取付け

ポイント

- 以降の天井材の取付けは「アーキフィールド 本体編 取付説明書 (D556)」を参照して行なってください。

4. 後端部カバーの取付け

4-1 後端部カバー受け材の加工

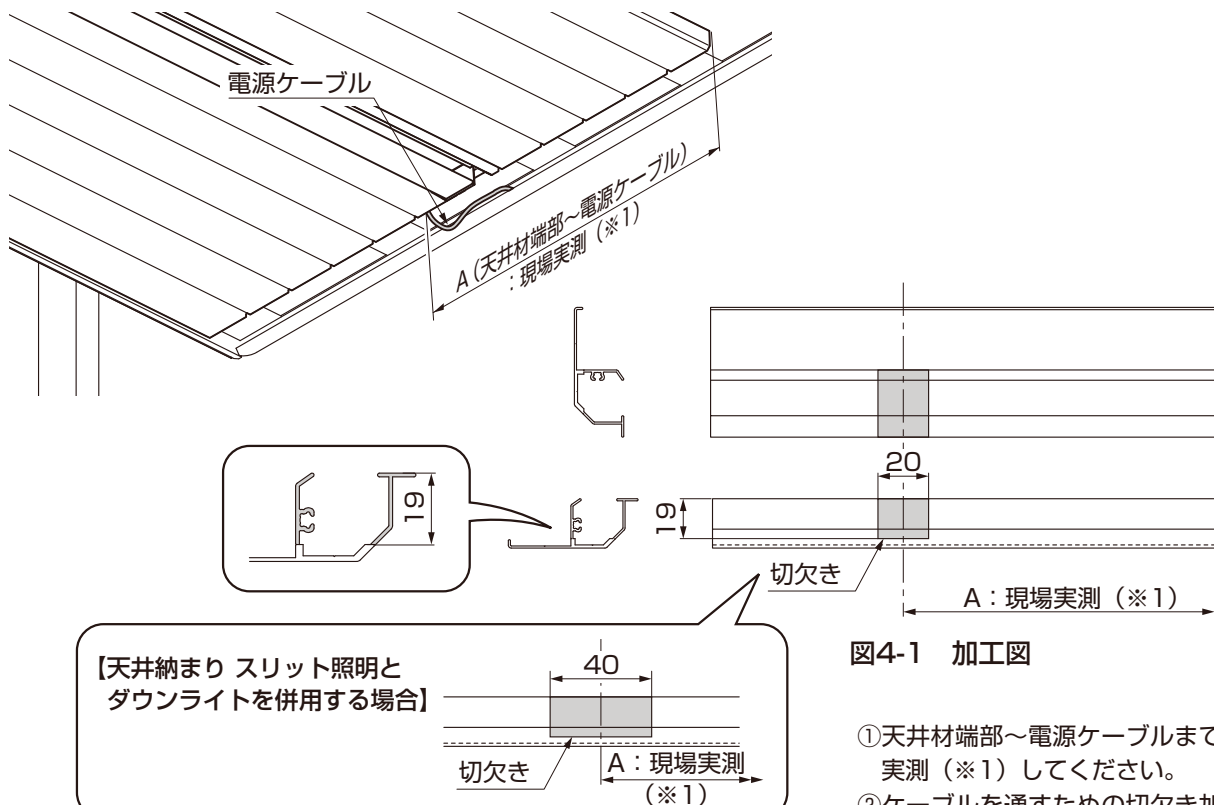


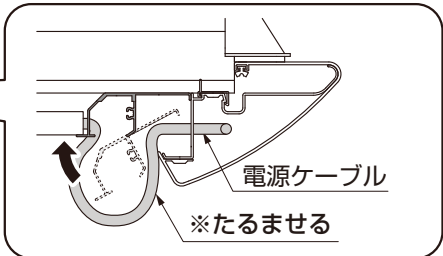
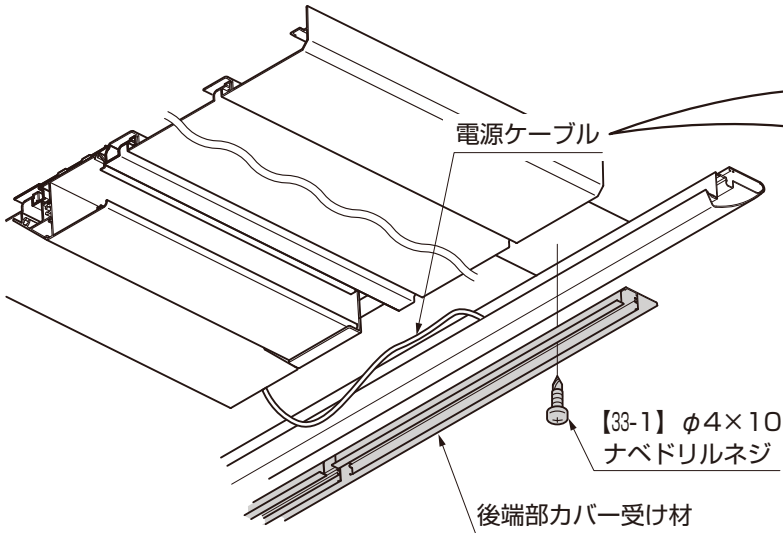
図4-1 加工図

- ①天井材端部～電源ケーブルまでを現場実測 (※1) してください。
②ケーブルを通すための切欠き加工を、後端部カバー受け材にしてください。

4-2 後端部カバー受け材、後端部カバーの取付け

ポイント

●取付ネジは、本体に同梱の「【32】天井後端材セット」「【33】天井部品セット」のネジを使用してください。



①後端部カバー受け材をアーチに【33-1】で取付けてください。

ポイント

●後端部カバー受け材の下に電源ケーブルが通るように取付けてください

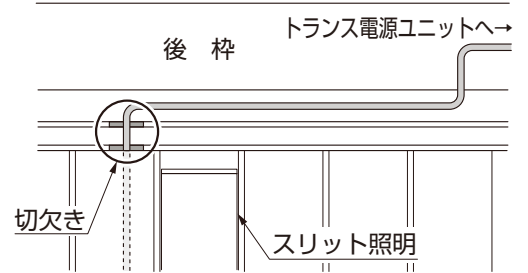
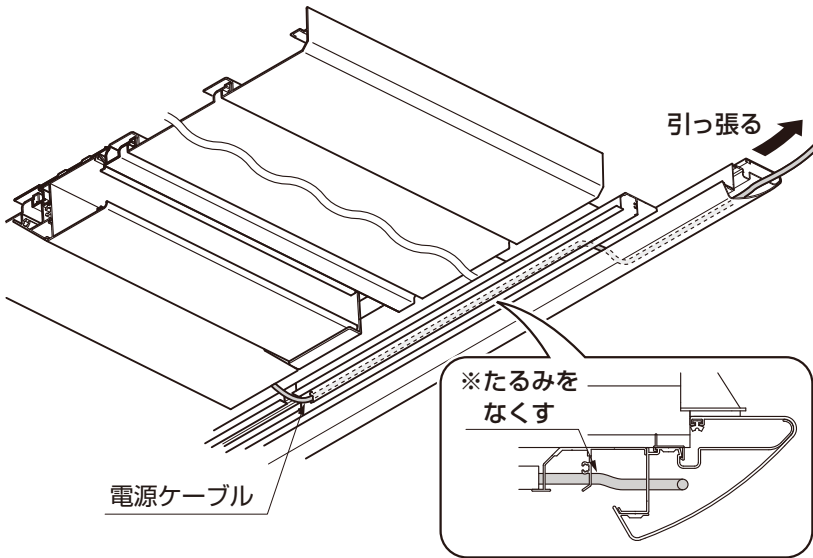
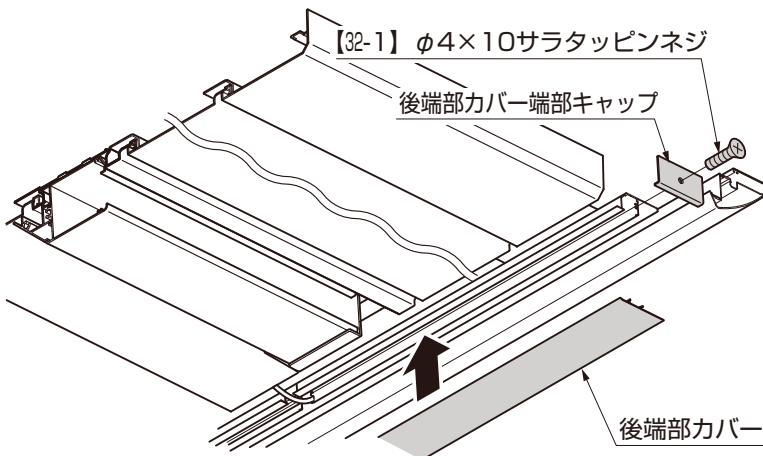


図4-2 ケーブル納まり図

②後枠コーナー部へ電源ケーブルを引っ張り、たるみをなくしてください。

ポイント

●後枠コーナー部で余ったケーブルは切断・結線してください。(P.32参照)



④電源ケーブルを後端部カバー受け材に押し入れ、後端部カバーをはめ込んでください。

ポイント

●ケーブルをはさまないようにはめてください。

⑤後端部カバー端部キャップを後端部カバー受け材に【32-1】で取付けてください。

12 アーチ納まり スリット照明の施工

1. 部材の加工

ポイント

●照明の取付位置（ライト点灯方向）、スリットの向き（照射方向）を確認してから加工を行なってください。

1-1 スリット照明枠 ※図は、水上側照明-右照射と水下側照明-左照射を示します。

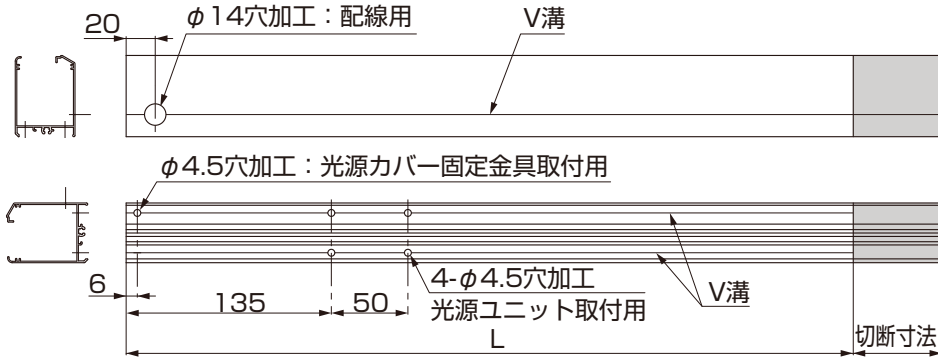


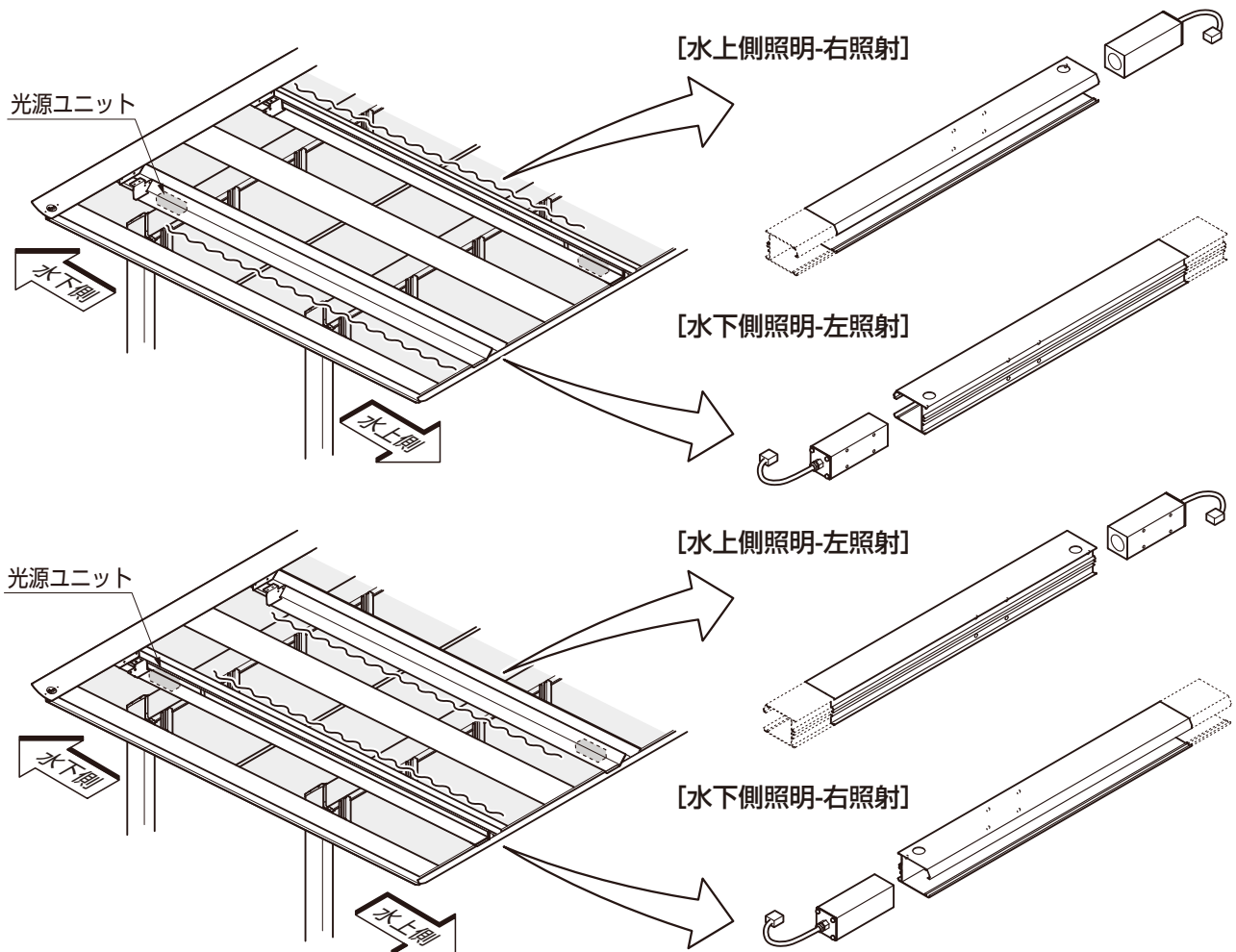
表1-1

	L寸法	切断寸法
L30	2684	切断なし
L50	4690	1003
L60	5693	切断なし

図1-1

①スリット照明枠を加工してください。

ポイント



●水上側照明-左照射と水下側照明-右照射の場合は、図1-1と左右対称加工になります。

1-2 スリット照明化粧材 ※L50の場合のみの作業です。

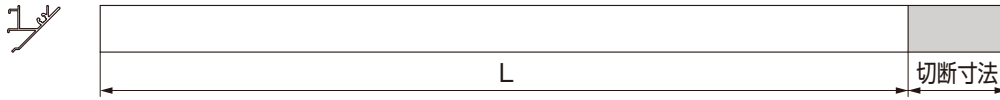


表1-2

	L寸法	切断寸法
L50	4691	1003

①スリット照明化粧材を加工してください。

1-3 スリット照明取付枠（アーチ用）

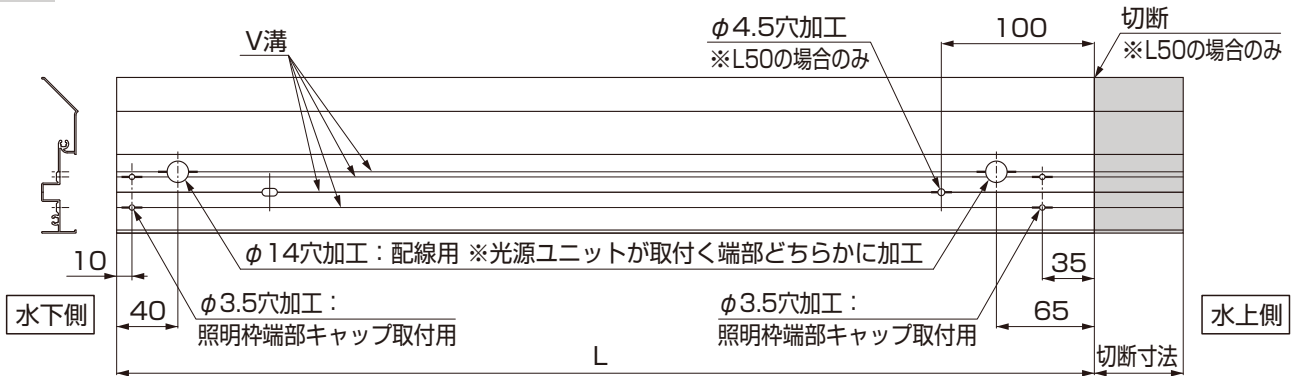


図1-2 スリットの向き（照射方向）：左照射

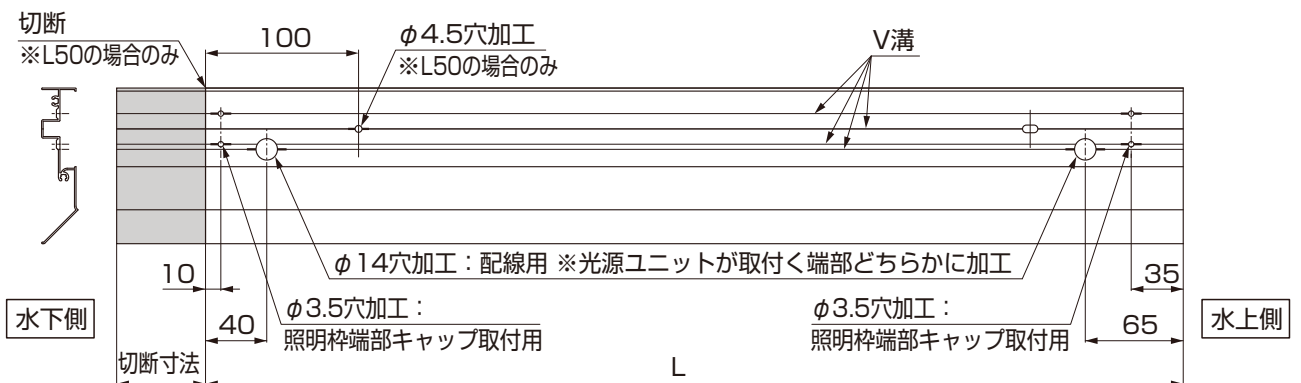


図1-3 スリットの向き（照射方向）：右照射

表1-3

	L寸法	切断寸法
L30	2750	切断なし
L50	4756	1003
L60	5759	切断なし

①上図を参照して、スリット照明取付枠（アーチ用）を加工してください。

ポイント

- φ14穴加工は「光源ユニットが取付く端部側」への加工となります。

2. 照明枠の組立て

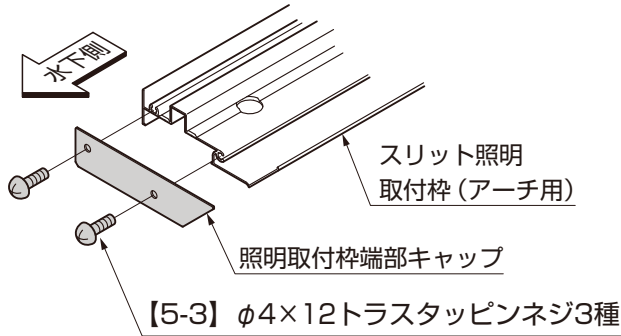
ポイント

- P.45「11 天井納まり スリット照明の施工 2. 照明枠の組立て（天井納まり、アーチ納まり共通）」を参照し、照明枠を組立ててください。

3. スリット照明の取付け

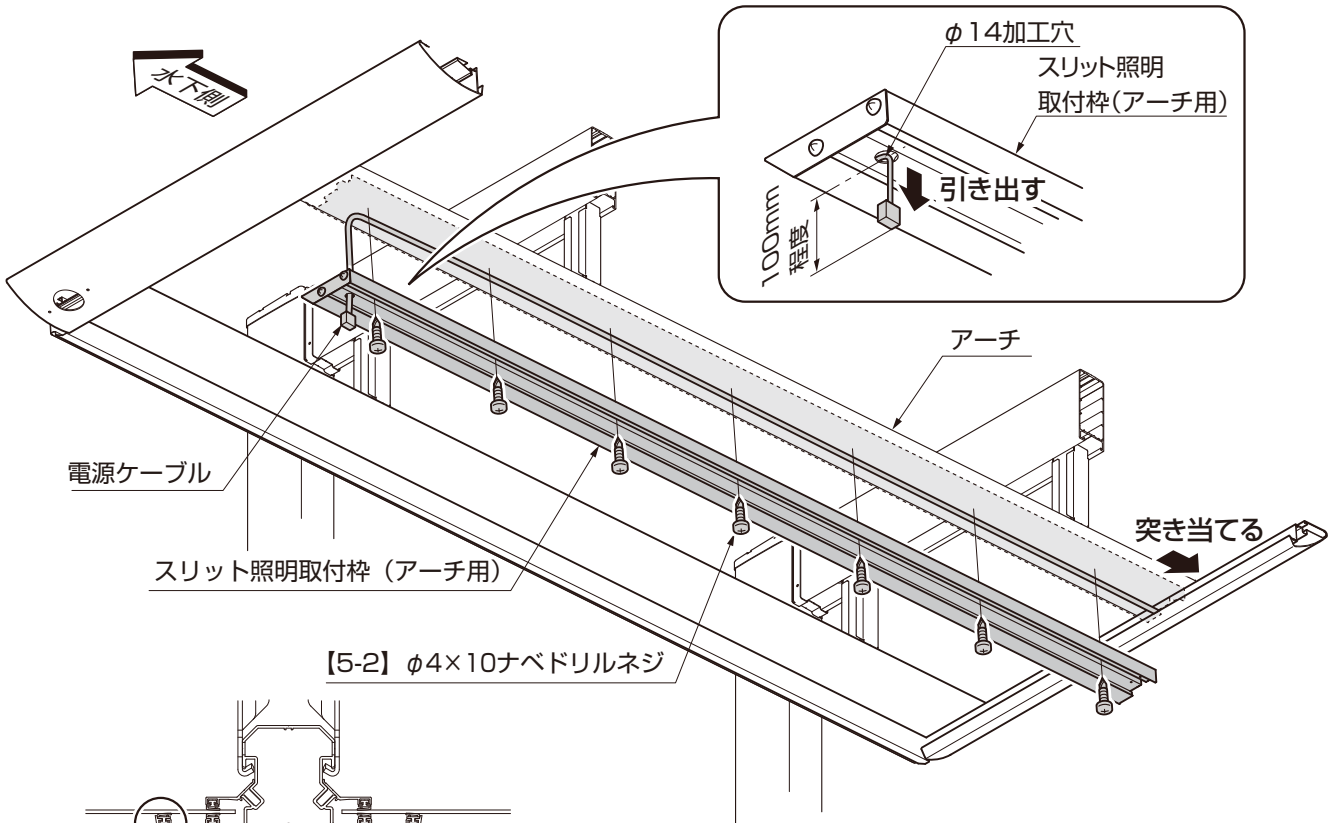
3-1 スリット照明取付枠（アーチ用）の取付け

(1) 照明取付枠端部キャップの取付け

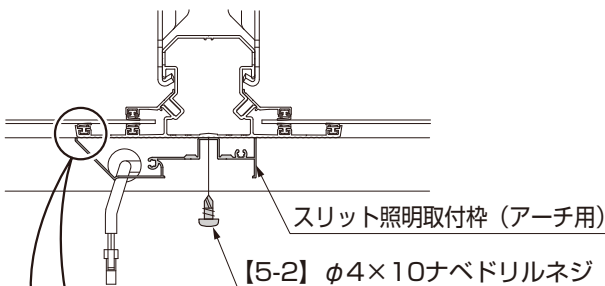


①照明取付枠端部キャップをスリット照明取付枠（アーチ用）の水下側に【5-3】で取付けてください。

(2) スリット照明取付枠（アーチ用）の取付け



【5-2】φ4×10ナベドリルネジ



①スリット照明取付枠（アーチ用）の上側に電源ケーブルを乗せ、φ14の加工穴から電源ケーブルを100mm程度引き出してください。

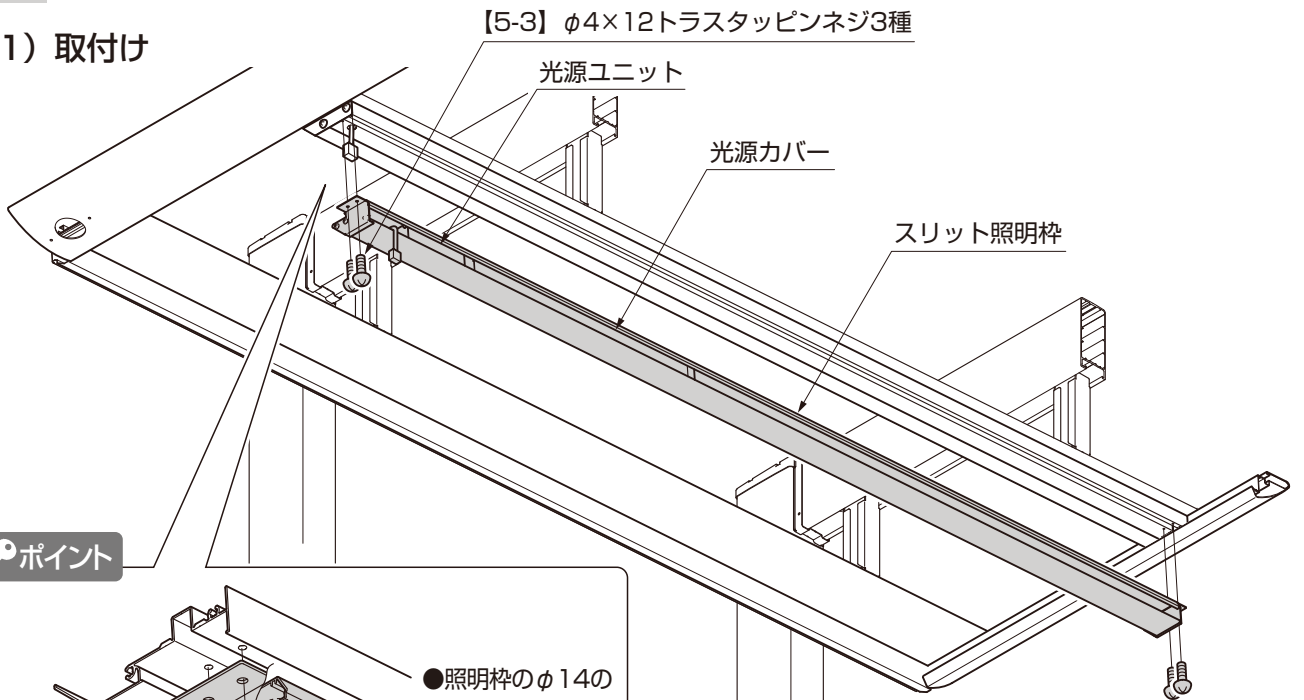
②スリット照明取付枠（アーチ用）をアーチに【5-2】で取付けてください。

ポイント

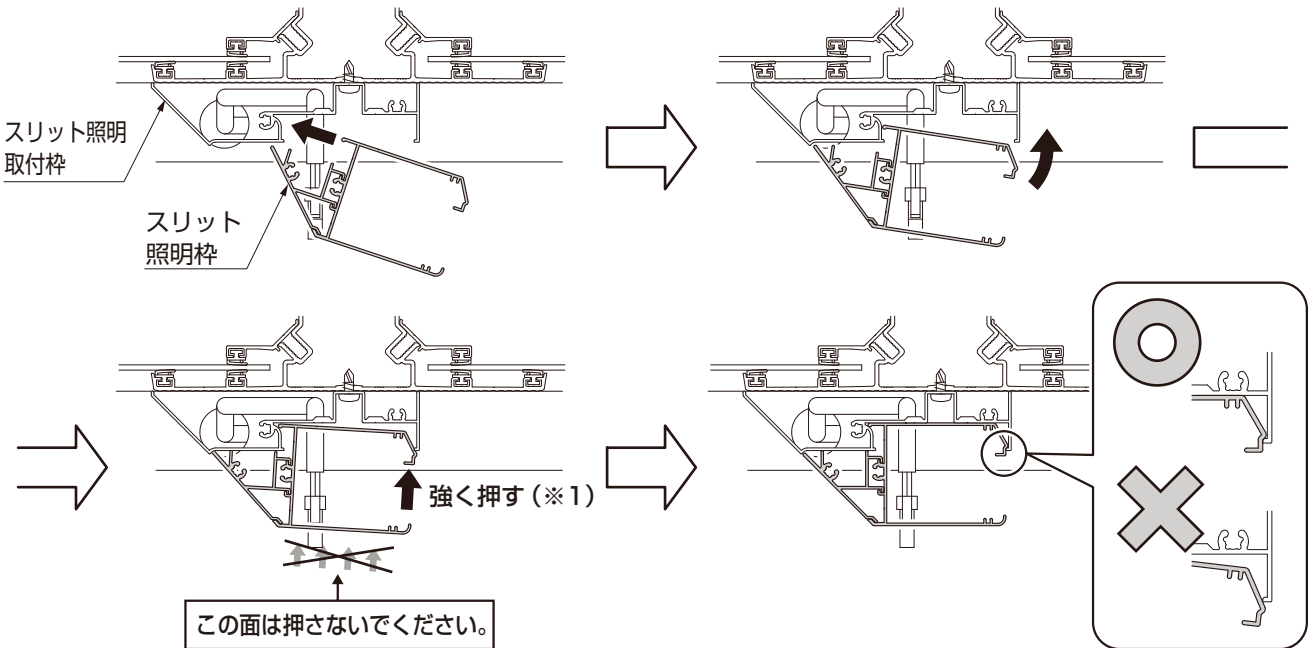
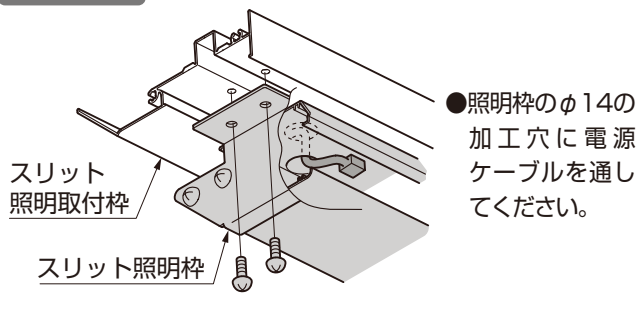
●ケーブルが長すぎる場合、後枠コーナー部よりケーブルを引っ張り、余ったケーブルは切断・結線してください。（P.32参照）

3-2 スリット照明枠の取付け

(1) 取付け



ポイント



補足

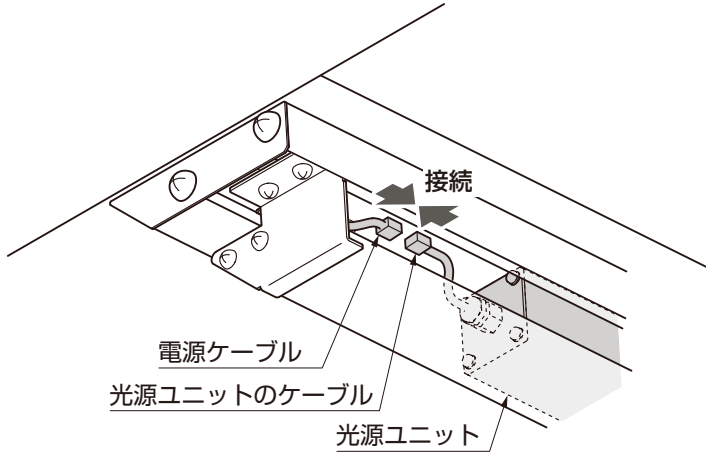
●スリット照明枠を強く押す際には、かたい板などを添えて押し込むと、組み付けやすくなります。(※1参照)

- ①スリット照明枠をスリット照明取付枠に、電源ケーブルを通しながら回転してはめ込んでください。
- ②スリット照明枠をスリット照明取付枠に【5-3】で固定してください。

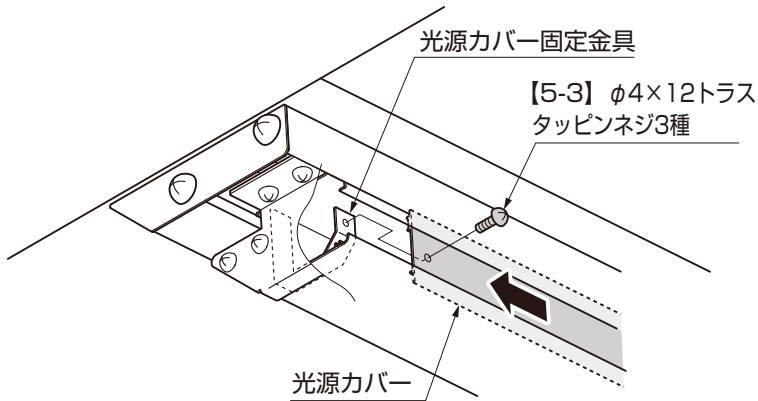
3. (つづき)

3-2 つづき

(2) ケーブルの接続



①電源ケーブルと光源ユニットのケーブルを接続し、照明枠へ配線を納めてください。



②光源カバーをスライドさせて光源カバー固定金具に【5-3】で固定してください。

ポイント

●後枠コーナー部で余った配線は切断・結線してください。(P.32参照)

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

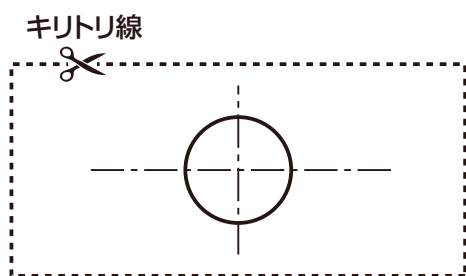
.....

.....

.....

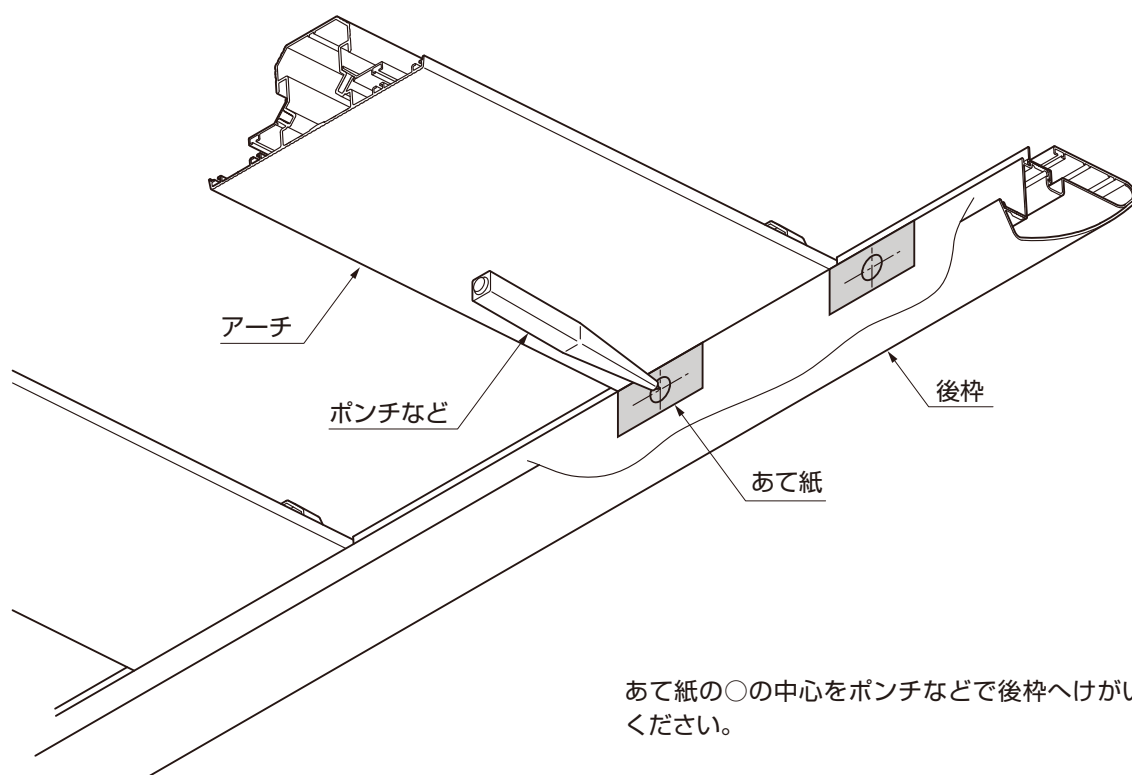
.....

墨出し用あて紙



後枠の配線用穴加工をする際に、切り取ってご使用ください

尺度=1/1



あて紙の○の中心をポンチなどで後枠へけがいてください。

